

366  
100

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



2.7.13

銀行事務

366-100

銀行事務目次

總論  
各論

第一篇 營業部



第一章 割引係

第一節 手形割引

第二節 貸附金

第三節 荷附為替手形

第四節 雜

第二章 預金係

第三章 為替係

第一節 為替ノ受拂

二九 一頁

三一

三一

三五

五七

八四

九〇

九八

一三一

一三六

大正  
7. 6. 18  
内交

第二節	代金取立	一五四
第三節	振込金ノ受拂	一六八
第四節	附替	一八三
第五節	雜	二〇四
第四章	出納係	二三三
第二篇	庶務部	二五〇
第五章	計算係	二五〇
第六章	保管係	二六〇
第七章	代理係	二六八
第八章	庶務係	二七六
第三篇	調査部	二九五

銀行事務目次終

銀行事務

總論

定義

銀行ノ定義ニ關シテハ學問上種々ノ說アルモ現今ノ實情ヨリ觀察シ平タク之カ定義ヲ下セハ

銀行ハ自己ノ信用ニヨリテ資本ヲ得又餘リアル所ヨリハ之ヲ取り不足スル所ニハ之ヲ貸付ケ營業トシテ資本ノ融通ヲ行フモノナリ

即單ニ自己ノ資本ノミニヨリ貸付ヲナス者ハ之ヲ銀行トセスシテ貸金業者トナスモ自己ノ資本ニ他ノ資本ヲ加ヘテ貸付ヲナスモノハ資本ノ過不足ヲ調節シ餘リアル處ヨリ不足セル處ニ融通スルモノナルヲ以テ之ヲ銀行ト稱スヘキ

ナリ又大正五年七月一日ヨリ改正施行セラレタル吾國ノ銀行條例ニ於テハ取締ノ點ヨリ銀行ナルモノヲ左ノ通り定メラレタリ(之ニ關スル條例ノ文言ニ付

テハ明治二十四年一月一日ヨリ初メテ施行セラレタル舊銀行條例ト異ル所ナシ)

公ニ開キタル店舖ニ於テ營業トシテ證券ノ割引ヲナシ又ハ爲替事業ヲ爲シ

又ハ諸預リ及貸付ヲ併セ爲ス者ハ何等ノ名稱ヲ用ヰルニ拘ハラズ總テ銀行トス

而シテ銀行業類似ノモノニ信託業ナルモノアリ信託業ハ他ノ信託ニ依リテ其者ノ財産ノ保全及管理ヲ委託サル、コトヲ目的トスル營業ニシテ信託サル、財産ハ金錢ナルコトアリ或ハ其他ノ財産ナルコトアリ何レノ場合ニ於テモ此等ノ財産ハ委託者ノ利益ヲ害セサル範圍ニ於テ自由ニ運用利殖スルコトヲ妨ケス故ニ其財産カ金錢又ハ之ト同視スヘキモノナル時ハ其業務ノ性質大ニ銀行業ニ類似ス而シテ銀行預金ノ大部分ハ出入常ナク之ヲ他ニ放資スルモ迅速容易ニ回收シ得ヘキモノヲ選擇セサルヘカラザルニ反シ信託業ニヨリ得タル資金ハ委託者カ法律上完全ナル能力ヲ得ルカ或ハ財産相續者ノ確定スルカ若クハ他ニ目的ヲ定ムル迄安シテ之ヲ運轉利用スルヲ得テ資本放下ノ期間長キニ亘ルモノナリ

銀行ノ種類

設立手續ニヨル區別

設立手續ニヨル區別 吾國ニ於テ銀行ヲ設立スルタメ營業地域紙幣又ハ債券ノ發行等ニ關スル特權又ハ制限ヲ定タル特別ノ法律ニ據ルヘキモノト然ラサ

ルモノトニヨリ銀行ヲ特種銀行(又特權銀行)ト普通銀行トノ二種ニ區別ス特種銀行ハ其銀行ノ設立手續營業ノ範圍監督ノ手續特權等ニ付特ニ定メラレタル法律ニヨリ設立セルモノニシテ常ニ政府又ハ地方官憲ノ特別ナル保護及監督ヲ受クル者ナリ普通銀行ハ一般的法律ノ定ムル手續ニヨリ政府ノ許可ヲ得テ任意ニ設立シ得ルモノニシテ政府ノ一般的保護及監督ヲ受クルノ外特別ノ保護監督ヲ受クルニアラサルモノナリ日本銀行橫濱正金銀行日本勸業銀行日本興業銀行臺灣銀行朝鮮銀行北海道拓殖銀行及府縣農工銀行ハ前者ニ屬シ其他ノ銀行ハ後者ニ屬ス

營業ノ目的又ハ性質ニヨル區別

營業ノ目的又ハ性質ニヨル區別 銀行ハ何レモ資金ノ融通ヲ圖ルヘキモノナレトモ融通ヲ與フル方面ハ千差万別一様ナラス故ニ融通ヲ與フル方面ノ異ルニ從ヒ銀行ヲ商業銀行工業銀行農業銀行等ニ區別シ或ハ證券銀行及不動産銀行ニ區別ス又融通資金ノ源泉ニヨリ之ヲ預金銀行特權銀行(即特種銀行)及貯蓄銀行ニ區別シ紙幣發行權ノ有無ニヨリ之ヲ發行銀行及普通銀行ニ區別シ或ハ又金融系統ニヨリ中央銀行ト普通銀行トニ區別スル等觀察ノ点ヲ異ニスルニ從ヒ各種ニ區別セラル、ナリ

動産的證券ニ對スル資金ノ調達融通ヲ主タル目的トスルモノハ證券銀行ニシテ不動産ニ對スル資金ノ調達融通ヲ主タル目的トスルモノハ不動産銀行ナリ

商人又ハ一般社會ヨリ要求拂又ハ短期拂資金ノ預託ヲ受ケ之ヲ迅速回收シ得ヘキ短期證券ニ貸出シ主トシテ商人ノ機關ニ任スルモノハ預金銀行ナリ法律ニヨリ賦與セラレタル特權ニヨリ融通資金ヲ得之ヲ以テ法律ニ定メラレタル方面ニ融通ヲナスモノハ特權銀行(特種銀行)ナリ

特權銀行中日本銀行ハ中央銀行トシテノ特權ヲ有シ横濱正金銀行ハ外國貿易ノ機關銀行トシテ日本銀行ヨリ年二分ノ低利ニテ二千方圓ノ融通ヲ受ケ得ヘク日本勸業銀行ハ不動産及農業ニ關スル金融機關トシテ地方農工銀行ト共ニ長期ニ亘ル不動産抵當貸付ヲ行ヒ之レカ資源トシテ債券發行ノ特權ヲ與ヘラレ日本興業銀行ハ工業ノ金融機關トシテ動産的證券及財團ニ對スル貸付及信託業ヲ營ミ債券發行ノ特權ヲ與ヘラレ臺灣銀行ハ臺灣ノ金融機關トシテ商工業並ニ公共事業ニ資金ヲ融通シ且南洋及南支那地方トノ貿易機關トナリ臺灣ニ於ケル中央銀行トシテ銀行券發行ノ特權ヲ與ヘラレ朝鮮

組織ニヨル區別

銀行ハ朝鮮及滿洲ノ金融機關トシテ商工業並ニ公益事業ニ資金ヲ融通シ朝鮮ニ於ケル中央銀行トシテ朝鮮及滿洲ニ於テ銀行券發行ノ特權ヲ與ヘラレ北海道拓殖銀行ハ北海道拓殖ノタメ長期不動産抵當貸付ノ外一部商工業ノ機關トシテ營業シ債券發行ノ特權ヲ與ヘラレ地方農工銀行ハ所在地方農工業ノタメ主トシテ長期ノ不動産抵當貸付ヲ行ヒ債券發行ノ特權ヲ與ヘラレタルモノナリ

吾國ニ於テ兌換券發行ノ特權ヲ有スルモノハ日本本土ニ於テハ日本銀行アルノミナルモ臺灣ニ於テハ臺灣銀行朝鮮ニ於テハ朝鮮銀行カ何レモ其地方ニ流通スヘキ兌換銀行券ヲ發行スルノ特權ヲ與ヘラレ居レリ是等ハ其地方ニ於ケル發行銀行ニシテ其他ハ普通銀行ナリ

一國ニ於ケル兌換券發行權ヲ獨占スルカ又ハ殆ント之ヲ獨占シ國庫事務ヲ管掌シ且一國金融ノ中心機關タルモノヲ中央銀行トス吾國ニ於テハ日本銀行之ナリ

組織ニヨル區別 一般商人ト同シク出資ノ形式ニヨリ個人ト會社トニ區別セラレ會社ハ又合名會社合資會社株式會社株式合資會社ニ區別セラレ

個人組織トハ一ノ自然人カ自己ノ信用ト資本ト技能トニヨリ獨立シテ銀行ノ經營ニ從ヒ營業上ノ全責任ヲ負擔スル者ナリ故ニ營業ノ成否規模ノ大小ハ直ニ其人ノ信用資本智識及技能ニ依リテ定メラル、ナリ會社組織トハ二人以上ノ自然人相集リテ資本及技能ヲ結合シ營業スルモノニシテ之カ實際ノ經營ハ出資者自ラ行ヒ或ハ出資者ニ依リ特ニ選定セラレタル者ノ行フ所ナリ(吾商法第四十二條及第四十四條ニ依レハ會社トハ商行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ設立シタル社團法人ナリト)

合名會社ハ社員ノ全員カ會社ノ債務ニツキ連帶無限ノ責任ヲ負ヒ且會社ヲ代表シ業務ヲ執行スル權能ヲ有スル會社ナリ合資會社ハ有限責任社員ト無限責任社員トヲ以テ組織シ其性質殆ント合名會社ニ同シク唯有限責任社員ノ加ハル點ニ於テ異ルノミ而シテ無限責任社員ハ其責任大ナルト共ニ會社事務執行ノ權利ヲ有シ有限責任社員ハ此權利ナキト同時ニ其責任亦小ニシテ只僅ニ業務監督權ヲ有スルニ過キス

株式會社ハ會社資本ヲ均一ナル株式ニ分割シ株式ノ所有者ニシテ有限責任ヲ負擔スル株主ヲ以テ組織スル會社ナリ而シテ株式會社ハ一ノ資本團體ナルヲ

以テ此團體カ其意思ヲ決定シ又決定セラレタル意思ニ從ヒ行動センカ爲ニハ株主總會取締役及監査役ノ三機關ヲ要スルコトニ定メラレアリ株式合資會社ハ有限責任ノ株主ト無限責任ノ社員トヨリ成レル會社ニシテ會社ノ業務ハ無限責任社員之ヲ執行シ有限責任ノ株主ハ業務執行ノ權ナク唯業務監督ノ任ニ當ルノミ

#### 銀行員

銀行業ニ従事スル者ヲ以テ銀行員ト稱シ得ヘクンバ銀行員ハ所謂重役ト使用人トニ區別スルコトヲ得ヘシ而シテ茲ニ所謂重役トハ個人組織ニ在リテハ行主會社組織ニ在リテハ社員又ハ取締役及監査役ヲ總稱シ銀行業務執行ノ任ニ當リ又ハ之レカ監査事務ヲ行フ者ニシテ此等ノ機關ニ依リテ使用セラル、事務員以下ヲ使用人トス

重役ト使用人トハ唇齒輔車ノ關係ヲ有シ互ニ離ルヘカラサル者ナルト共ニ進退舉措總テ一致ヲ保タサルヘカラサルナリ重役ノミアリテ使用人ナクンバ體ニ手足ナキト同シク毫モ活動スルコト能ハサルヘク使用人ノミニシテ重役ナクンバ神經中樞ヲ失タル身體ノ如ク手足アレトモ之ヲ動スモノナク單ニ之ヲ



飾付クルニ過キサルヘシ故ニ此兩者ハ互ニ融和シ甲ノ志ス所ハ乙之ヲ心ニ銘シ乙ノ進マントスル所甲之ヲ賛スルニアラサレハ兩者ノ意思乖離シ事業ハ遂ニ支離減裂ノ悲惨ニ陥ルヘシ

各種ノ事業ハ其業態千差万別ナルヲ以テ之ニ從事スル人物ニ要スル資格モ亦一様ナル能ハス而シテ銀行員ニ要スル資格ノ第一ハ品性ノ高潔ナルニアリ何レノ職業何レノ境遇ニ在テモ品性高潔ニシテ毫モ他ノ指彈ヲ受ケス衆人ノ仰慕スルカ如キ人物ヲ要スト雖モ業務ノ種類ニ依テハ強チ品性ノ高尚廉潔ナルコトヲ第一ノ要件トセサルモノアリ力業ニ從事スル者ノ如キ是ナリ然レトモ銀行員ニ在テハ生命ニ次テ各人ノ貴重ナル財産ノ全部又ハ一部ヲ保管シ商工業者營業ノ關鍵ヲ握リ銀行ノ信用ヲ保持スヘキ重大ナル任務ヲ有スル者ナルヲ以テ其品性ハ最高潔ナラサルヘカラス其地位ト職務トヲ濫用シ或ハ投機的事業ニ干與シ或ハ私利ヲ圖リ或ハ取引先ノ秘密ヲ漏洩スルカ如キ事アラハ遂ニハ取引先ニ不安ノ念ヲ與ヘ銀行ノ不信ヲ招クニ至ルヘシ誠實ニ業務ヲ執行シ清廉ニ身ヲ處スルコトハ銀行業ノ如ク關係スル所廣ク誘惑多クシテ危険大ナル營業ニ於テ必要ナルコトトス

品性ノ高潔ナルト共ニ頭腦ノ冷靜ニシテ意思ノ鞏固ナル事ヲ第二ノ必要トス些細ノ事ニモ熱シ易ク情ニ絆サル、カ如キハ初心ノ銀行員ニハ免ルヘカラサル通弊ナレトモ情ニ厚ク事ニ熱シ易キハ往々他ノ詐言ニ乗セラレ危険ニ陥ルモノナレハ何事モ冷靜ニ考慮シタル後事ヲ決シ一旦決シタル事ハ容易ニ其意思ヲ變ヘスカ如キコトナキ人物ナラサルヘカラス

第三ニ要スル資格ハ銀行經營ノ能力ナリ上重役ヨリ下小使ニ至ルマテ銀行經營ノ能力ノ有無ハ或ハ貸スヘカラサル向ニ貸出シ或ハ進テ受入ルヘキ預金ニ故障ヲ唱ハ或ハ吾ニ好意ヲ有スル取引先ヲシテ惡感ヲ懷カシメ或ハ銀行トシテ爲スヘキ事件ノ眼前ニ横ハルニモ拘ハラス之ヲ放擲シテ顧ミサルカ如ク事毎ニ蹉跌ト失敗トヲ重スルカ如キ皆是銀行經營ノ能力乏シキヨリ生スル結果ニシテ經營ノ能力乏シキハ主トシテ思慮綿密ナラサルト優柔不斷ナルトニアルモノトスサレハ品性如何ニ高潔ナリト雖モ銀行ヲ經營スルノ能力ナカラシニハ遂ニ銀行ヲシテ蹉跌ノ淵ニ沈マシムルニ至ルヘシ

最後ニ要スル資格ハ體質ノ強壯ナルニアリ品性美ニシテ冷靜事ヲ處シ銀行經營ノ能力充分ナリトスルモ體質之ニ伴ハサレハ如何銀行業ハ他ノ營業ニ比シ

十  
腦力ヲ使用スルコト多ク且常ニ多忙ニシテ腦力ヲ休養シ且身體ノ運動ヲナス  
機會少キヲ以テ強壯ナル身體モ漸次羸弱トナルヲ免レス況ンヤ初ヨリ羸弱ノ  
身ヲ以テ此業ニ當ラン事ハ甚シキ困難ニシテ中途挫折ノ外ナキナリ  
此他過分ノ負債ニ苦メラル、モノ又ハ素行修ヲサルモノハ世ノ疑惑ヲ招キ易  
ク銀行員トシテハ不適當ノ者ト云フヘシ

### 取引先

銀行ハ金融ヲ營業トスル者ナレハ取引先ナクシテハ營業スル事能ハス資金ヲ  
供給スル者モ取引先ナレハ資金ヲ需要スル者亦取引先ナリ此等ノ取引先多ク  
シテ銀行ハ益繁昌スヘキ筈ナリ然レトモ何レノ取引先モ悉ク銀行ニ利益ヲ與  
フルモノニアラス或者ハ事業ノ失敗ニヨリ累ヲ銀行ニ及ホシ多額ノ債務ヲ辨  
濟スル能ハサル者アリ又或者ハ不正手段ヲ弄シ銀行ヨリ詐取ヲ企ツル者アリ  
又或者ハ現在ノ信用制度ヲ濫用シ之ト取引スル銀行ヲシテ危險ヲ感セシメ之  
カ豫防手段ヲ講セシムル者アリ是等ノ取引先ハ銀行ヲシテ損失ヲ招カシムル  
事アルモ決シテ利益ヲ得セシムルモノニアラスサレハ此等ノ取引先ノ少キ程  
銀行ハ損失ヲ醸ス事少キナリ永年確實ニ多額ノ取引ヲ繼續シ其間曾テ少シノ

### 取引先選擇 ノ標準

危險ヲモ感セシメス且相當ニ銀行ヲシテ利スル所アラシムルカ如キ者ハ銀行  
ノ取引先トシテハ上等ノ者ナリ故ニ銀行ト取引セントスル所ノ多クノ者ノ内  
ヨリ損失ヲ蒙ラシムルカ如キ者ヲ除キ確實ノ取引先ヲ選擇シ之ト親密ノ取引  
ヲ結フニアラサレハ銀行營業ノ基礎ハ薄弱ナルヲ免レサルナリ

然レハ取引先ハ如何ナル標準ニヨリ選擇スヘキカ下ニ其要點ヲ述フヘシ

一、氣質ノ良キ者ヲ選フヘシ 氣質惡シケレハ如何ニ資産豊富ナリト雖モ之  
ト取引スル者ハ常ニ危險ヲ感セサルハナシ故ニ此ル者トノ取引ハ避クル  
ヲ要ス

二、營業相當以上ノ資力ヲ有スル者ヲ擇フヘシ 銀行ハ大商工業者ノミノ金  
融機關ニモアラサレハ又小商工業者ノミノ金融機關ニモアラス事實ニ於  
テモ亦之ヲ限ルコト能ハサルナリ然レモ銀行ト取引セントスル商工業者  
ハ自己ノ資力ヲ以テ充分ニ其業ヲ經營シ得ルモノ若クハ其以上ノ資力ヲ  
有スル者ヲ選擇セサルヘカラス自己ノ資力カ營業ニ比シ小ナル時ハ盛衰  
常ナキ商工業ニ於テハ一朝ノ小打撃ニモ尙其死命ヲ制セラル、事アリテ  
之ト取引スル銀行ノ危險測ルヘカラサルナリ是ヲ以テ稀有ノ大打撃ニア

ラサル限リ克ク之ニ堪ヘ得ル程ノ資力ヲ有スル者ニアラサレハ安全ニ取引シ得ラレサルナリ

三、營業振着實ナル者ヲ選擇スヘシ 營業振着實ナレハ奇利ヲ得ル事難カルヘキモ營業相當ノ利益ハ異常ノ事ノアラサル限リハ概ネ得ラルヘキニ反シ營業振着實ヲ缺キ投機ニ類スルカ如キ事ハ時ニ或ハ奇利ヲ得ル事アラソモ大ナル失敗ヲ招ク事亦屢々ニシテ此ノ如キ者ニ對シテハ銀行ハ安全ニ取引ヲナシ得サルナリ

四、自己ノ業務ヲ親シク管理スル者ヲ擇フヘシ 自己ノ業務ヲ親シク管理セス他人ノ管理ニ委スルカ如キ者ハ往々受任者ノ怠慢若クハ惡意ヨリ營業ニ蹉跌ヲ生シ取引銀行ニ不測ノ迷惑ヲ蒙ラシムル事ナシトセサルナリ

五、固定的預金ヲナス者ヲ擇フヘシ 固定的預金ニ對シテハ支拂準備金ヲ若干程度迄減少スル事ヲ得ルノミナラス預金額マテハ無擔保割引ヲ行フモ毫モ危險ナキヲ以テナリ

#### 資本金

銀行ノ資本金ハ其業務ノ由テ立ツ所ニシテ銀行ノ諸機關運轉ノ根元ナリ即資

本金ハ銀行ノ信用ヲ保持シ世人ヲシテ取引上確實ナリトノ念慮ヲ起サシメ預金吸收ノ基礎ヲナスモノトス故ニ銀行ニ取引極テ緊要ナルモノナル事論ヲ俟タス然レトモ銀行營業資金ノ上ヨリ云フトキハ其大部分ハ預金ニシテ資本金ノ如キハ其一部分ニ過キササルナリ

銀行ノ資本金ハ他ノ商業或ハ工業會社ノ資本金ト異リ其多寡ハ必スシモ事業ノ大小ニ伴ハサルナリ何トナレハ商業會社ハ全ク其資本金ヲ以テ事業ヲ經營スルモノニシテ資本金ナクシハ片時モ成立スル事能ハス資本ノ多寡ヲ以テ直ニ其業務ノ大小ヲトシテ大差ナキモ銀行業ハ大ニ之ト趣ヲ異ニシ主トシテ預金ヲ基礎トシテ業ヲ營ム者ナレハ資本金ハ實ニ信用ヲ得ルノ一方便タルニ過キササルナリ故ニ實際ノ拂込ハ公稱資本額ニ對シテ若干部分ニ止マル者多シ是畢竟銀行事業ハ公衆ノ預金ヲ以テ營業シ預金ヲ吸收スル策トシテ實際所要ノ額ヨリモ公稱資本金額ヲ大ニシ未拂込ノ金額ヲ以テ債務ニ對スル擔保トナセリ即業務ノ性質上資本金ハ必スシモ大ナルヲ要セサルノミナラス却テ可成小ナラシムルヲ以テ銀行ノ爲メ得策ナリト言ヒ得ヘキナリ蓋銀行カ預金若シクハ其他ノ方法ニヨリ負債ヲナシ之ヲ運轉シ之ヨリ生スル利益ヲ配當スルニ當

リ拂込資本大ナル時ハ配當ノ割合少ク拂込資本小ナル時ハ其率大ナルヘケレハナリ然リト雖モ時ニ或ハ拂込額ヲ増加シテ銀行ノ業務ヲ擴張シ之レカダメ従前ヨリ配當ノ割合ヲ増加スル結果ヲ生スル事アルヲ以テ一概ニ之ヲ論スル事能ハサルナリ

#### 積立金

經營上資本金ト同視シ得ヘキモノニシテ積立金又ハ準備金ト稱スルモノアリ損益決算ノ際利益金ノ一部ヲ割キ將來生スル缺損ニ備フルタメ資本金ニモ組入レス又配當ヲモナサス計算上別ニ積立置クモノニシテ他日損失起リタル時ハ之ヲ以テ其補填ヲナスモノナリ即平素順境ノ時ニ於テ其利益ノ一部ヲ蓄積シ一朝悲運ニ遭遇シタル時之ヲ以テ其破綻ヲ免ル、ノ方法ヲ講シ置カサルヘカラス是各種事業ノ經營上積立金ノ必要ナル所以ニシテ畢竟一時ニ巨額ノ損失負擔ヲ避クルタメ自ラ保險ヲ付スルニ外ナラス吾商法ニ依レハ株式會社ハ資本金ノ四分ノ一ニ達スル迄ハ利益配當期ニ利益金ノ二十分ノ一以上ヲ積立ツル事ヲ要スル規定アリ又積立金ハ將來ノ缺損補填ニ對シ準備セラル、ノミナラス財産ノ鞏固ヲ圖ルタメ諸種ノ目的ニ向テ積立ヲナス事アリ家屋什器等

ノ如キハ歲月ヲ經過スルト共ニ減損消耗シテ其價額ヲ減シ公債株式等有價證券ハ諸種ノ原因ニヨリ其價額ノ暴落ヲ來ス事アリ或ハ各種貸出金中缺損ニ歸スル者アリ此等ノ缺損ヲ豫期シ之ヲ補填スル爲メ積立又ハ準備トナスモノ亦一種ノ積立金ナリ

積立金ハ積立ノ目的即補填スヘキ損失ノ種類ニヨリ種々ノ名稱ヲ冠ス例ハ法定積立金別段積立金配當平均準備金所有物減價償却積立金等之ナリ

又利益處分ノ結果生スル後期繰越金モ次期ノ利益金ト合シタル上ニテ共ニ處分スル目的ニテ設ケラレタル一種ノ積立金ニ外ナラサルナリ

積立金及繰越金ハ資本金ト共ニ運用セラレ之ヨリ生セシ利益ハ他ノ資金ニヨリ生セシ利益ト共ニ配當セラル、モノニシテ其率ハ拂込資本金ヲ基トシテ定メラル、ナリ而シテ積立金又ハ繰越金多ケレハ夫レタケ利益多ク從テ配當率モ自然ニ増加シ得ラル、ナリ

#### 營業所

營業所ハ單ニ一個所ナル事アリ又數ヶ所ナル事アリ數ヶ所ニ營業所ヲ有スル時ハ其内ノ主腦タルヘキ營業所ヲ以テ本店トシ爾餘ノ營業所ヲ以テ支店又ハ

出張店トス

銀行ハ餘レル所ノ資金ヲ不足スル所ニ供給スル金融ノ業ニ従事スル者ナレハ  
營業所ノ多少ト其所在地ノ狀況トハ密接ノ關係ヲ有スル者ナリ大都市ニ於テ  
各種ノ商工業盛ニ經營セラレ資金ノ供給ト需要ト間斷ナク行ハル、所ニ於テ  
此等ノ各種商工業者ニ取引スル銀行ニ在テハ一個ノ營業所ノミヲ以テモ銀行  
ハ充分ニ經營シ得ヘシト雖モ資金ノ供給ト需要トハ各其期節ヲ異ニシ金融圓  
滑ナラサル地ニ在テ此等ノ商工業者ヲ相手ニ營業スル銀行ニ在テハ一個ノ營  
業所ノミヲ以テ相當ノ利益ヲ收メシ事困難ナリ是ヲ以テ各地ニ支店又ハ出張  
店ヲ設ケ金融ノ圓滑ヲ圖リ公益ヲ進ムルト共ニ充分ノ利益ヲ得ントスル者ナ  
リ現今ノ支店制度ナルモノ是ナリ此制度ハ資力豊富ニシテ信用充實セル銀行  
ニ於テハ有利ノ方法ナルモ資力乏シク信用未タ充分ナラスシテ動モスレハ預  
金取付ノ厄ニ遇ハントスルカ如キ銀行ニ在テハ得ル所少クシテ失フ所多キナ  
リ

外部關係ノ事項

事務

取引先ハ銀行ニ對シ利益ヲ與フル者ニシテ銀行ハ取引先ナクシテハ營業スル事

取引先好遇ノ道

能ハサルナリ即取引先ハ營業ノ基礎タルモノニシテ取引先ノ良否ハ銀行營業  
ノ基礎ニ強弱ヲ生ス此故ニ取引先ハ最大切ニ遇シ良好ナル取引先ノ益増加セ  
ンコトヲ努力セサルヘカラサルナリ又銀行ニ利益ヲ與ヘサルカ如キ取引先ト  
雖モ其者ヲシテ常ニ銀行ニ對シ好意ヲ保タシムル事ハ營業上最必要ニシテ利  
益ヲ與ヘサルノ故ヲ以テ冷遇スルカ如キ事アラハ自然ニ該取引先ノ感情ヲ害  
シ間接ニ不利ヲ與フルノ媒介トナル事アリ

取引先ヲ好遇スルトハ如何禮容ヲ以テ客ニ接シ謙讓ヲ以テ客ト應對スルコト  
固ヨリ好遇ト稱シ得ヘシ然レトモ銀行ノ取引先ニ對シテハ此他ニ尙客ニ對シ  
テ盡スヘキノ道アリ即下ノ如シ

- 一、取引先ノ秘密ヲ洩サ、ル事 取引先ハ自己ノ財産ノ一部又ハ全部ヲ銀行  
ニ預託シ或ハ銀行ヨリ融通ヲ仰キテ營業スル者ニシテ此等ノ事ハ各自他  
ニ洩ラサ、ルモノナレハ之ヲ取扱フ銀行員亦秘密ヲ守ルニアラサレハ何  
時シカ他ニ漏洩シ取引先ノ迷惑スル事アルヘシ是取引先ヲ好遇スルノ道  
ニアラサルナリ
- 二、迅速ニ事務ヲ處理スル事 取引先ハ何レモ多忙ニシテ取引ハ多クハ急ヲ

要スル者ナレハ取引先ノ要求スル事ハ速ニ處理シ遲キヲ啣ツ事ナカラシメサルヘカラス自己ニ於テ爲スヘキ仕事全部ヲ終了スルニアラサレハ取引先ヲ歸ラシメサルカ如キ或ハ事務ノ緩急ヲ量ラス急ヲ要スル仕事ヲ放擲シ或ハ取引先ノ店頭ニ在ルニ拘ラス悠々喫煙シテ分時ヲ争フ客ヲシテ不快ヲ感セシムルカ如キハ共ニ取引先ヲ遇スルノ道ニアラサルナリ

三、仕事ヲ正確ニ處理スル事 仕事ヲ正確ニ處理シ客ヲシテ精査セシムルノ要ナカラシムルハ多忙ナル實業界ニ於テ最必要ナル事ナリ取引ノ大小ヲ問ハス取引先ヲシテ銀行員ノ爲シタル仕事ノ確否ヲ一々精査セシムル必要ヲ感シムル事アラハ取引先ハ其銀行ト安心シテ取引ヲナスヲ得サルニ至リ且取引先ハ之カ爲貴重ナル時間ト手數トヲ空費セサル可ラサルナリ

四、親切ナル事 秘密迅速正確ノ点ニ於テ取引先ノ満足ヲ得ルモ取扱方不親切ナラハ客ハ不快ヲ感スヘシ取引先ノ内ニハ銀行事務ニ通曉セルモノモアルヘク又全ク了解セサルモノアルヘシ即事務ニ通曉セル取引先ト雖モ取引銀行特別ノ扱方ニ付テハ未知ノ者アリ故ニ銀行員ハ取引先カ如何ナル人ナルヲ問ハス能フタケノ親切ヲ盡シテ取引先ノ満足ヲ買フ事ヲ努メ

### 内部關係事項

サルヘカラサルナリ

特種銀行ノ外普通銀行ハ各地ニ幾個トナク設立セラレ營業ニ付テハ全ク自由競争ニ委ネラル、ヲ以テ同業者間ノ競争ハ益激烈ナラントスル傾向アリ銀行ノ經營者ハ此競争ニ堪ヘ内克ク現状ヲ維持シ外克ク新取引ヲ開拓シ自己ノ營業ヲ益發展シ得ルノ力量ナカルヘカラス若此競争ニ對シ進ンテ營業ヲ發展スル事能ハサルモ退テ現状ヲ維持シ得ルヲ以テ満足セハ遂ニハ現状ヲモ維持スル事能ハサルニ至ルヘシ即競争ニ堪ユルニハ大ナル忍耐ト努力トヲ要シ且不尠費用ヲ免ル、コト能ハサルモノナリ

外部ニ對スル關係ハ良好ノ状態ニ在リト雖モ内部ノ關係ニ於テ懸念スヘキモノアルトキハ取引先ハ如何ニ取引銀行ト親密ノ取引ヲナサントスルモ世間ニテハ此ル銀行ト取引スルノ不可ナルヲ喧傳シ之ト取引ヲ繼續スルハ取引者ノ愚直ナルカ將又取引銀行ト絶縁スル能ハサル深キ事情ノ存スルカ如クニ應測セラレ延テ其人ノ信用ニモ累ヲ及ホスニ至ルヘキヲ以テ取引者ハ不得止該取引銀行ト絶縁セサルヘカラサルニ至ルヘシ即外部關係ノ良好ナルト共ニ内部關係亦良好ナルニアラサレハ取引ハ減退シ營業ノ成績ヲ收ムル事能ハサルナ

リ而シテ良好ナラシメサルヘカラサル内部關係事項ハ概ネ左ノ如シ

一、營利ヲ念トスヘキ事 銀行ハ一ノ營利事業ナレハ營利ヲ念トスヘキ事特ニ茲ニ記スルノ要ナキカ如キモ金融機關ナルノ故ヲ以テ往々美名ノ下ニ巧妙ナル手段ヲ以テ貸出ヲ求メラル、事少カラス而シテ此ル時ニハ名ノ美ナルタケ收益乏シク期ニ迫ンテ強テ返済ヲ迫レハ貸出ス時ノ名ノ美ナ是貸出ノ當初ニ於テ營利ノ念乏シク空名ヲ喜フノ餘リ生シタル惡結果ニ外ナラス而シテ營業ノ利益比較的大ナレハ取引先ハ業務經營法ノ良好ニシテ營業ノ繁盛ナルニ因由スルモノトシ所謂風ヲ望ンテ銀行ト取引セントスルニ至ルヘキモ一旦惡聲ヲ放タレ惡影響ヲ蒙レハ之ヲ回復スル事甚難ク利益亦漸減シ益取引先ノ不信用ヲ招クニ至ルヘキヲ以テ徒ニ空名ヲ得ル事ヲ避ケ實益ヲ得ル事ヲ念トセサルヘカラサルナリ

然レモ大ナル利益ヲ得ンカタメ投機的營業ヲナス事ハ堅ク禁セサルヘカラス元來銀行ハ極メテ着實ノ營業ニシテ預金ト貸出トノ利鞘ヲ以テ收益ノ眼目トナシ此他手數料及所有物ノ收入等ヲ以テ利益ノ一部ヲ補フニ止

マリ急劇ナル金利ノ大變動ヲ生スルニアラサレハ收益亦殆ント一定セルモノナリ然ルニ利益ノ大ナラン事ヲ欲シ投機ヲ試ルカ如キ事アラハ恒定ノ收益ハ常ニ浮動ヲ免レス昨ノ大益ハ今ノ大損トナリ其損失大ナレハ遂ニハ預金支拂ノ資力ヲモ失フニ至リ出資者ノ迷惑ハ勿論之ト取引スル者ハ一日モ安スル能ハサルナリ是レ信用ヲ以テ營業ノ基礎トスル銀行ニ於テハ斷シテ之ヲ避ケサルヘカラサル所以ナリ

二、事務ノ統一ヲ圖ルヘキ事 銀行營業ニ關スル事項ハ勿論銀行内部關係ノ事務即チ庶務計算調査等ノ事務ニ至テモ事務ニ統一スル所ナクンハ甲ノ事務員ト乙ノ事務員トハ互ニ相反スルカ如キ行動ヲ敢テシ或ハ全一銀行ノ事ニ關シ甲ノ述フル所ト乙ノ述フル所ト大ナル逕庭ヲ存スルカ如キ或ハ甲ノ行ヒシ處ヲ乙之ヲ再ヒスルカ如ク内ニ在テハ事務ノ徒勞及澁滯ヲ生シ外ニ在テハ他ノ嘲笑ヲ招キ又ハ内部ノ不統一ニ乘シ不利ノ事ヲ強ラル、カ如キ事ヲ生スヘケレハ店舗ノ數多ク事務多端ニシテ之ニ從フ者亦尠カラスト雖モ克ク統一ヲ保チ一絲亂レサルカ如キ状態ニ在ル事ハ極テ必要ナリ

事務ノ統一ニ伴ヒ自然ニ生スヘキハ各係又ハ各店間ノ連絡ナリ事務ニ統一ヲ缺キ各係任意ニ行動スル場合ニ在テハ割引係ニ在テ款待スル取引先モ預金係ニ於テ冷遇シ或ハ割引係ニ於テ毫モ信用ヲ與ヘス嚴重警戒セル取引先ニ對シ預金係ニテハ多大ノ信用ヲ與フル等銀行内部ニ於テ啻ニ矛盾ノ行爲アルノミナラス取引先ニ於テモ銀行カ自己ヲ信用スルヤ否ヤヲ判斷スルニ苦ミ從來多大ノ信用ヲ得タル者モ故ナクシテ突然少許ノ信用ヲモ與ヘラレス營業上ニ大蹉跌ヲ生シ迷惑スルコト少カラサルナリ又甲係ニ於テ調査セシ事項ヲ乙係ニ於テモ調査シ甲店ノ遺棄セントスル事項ヲ乙店ニ於テ採用セントスルカ如キ何レモ係間又ハ店々ノ間ニ完全ナル連絡ナキヨリ生スル結果ニシテ其不利ナル事前記ノ如シ故ニ此間ノ連絡ヲ充分ニ保チ統一ニ缺クル所ナカラシムヘシ

三、事務ヲ整理スヘキ事 日々生スル事務ハ日々之ヲ處理シ一日ヲ緩スルコト能ハサルハ銀行事務ノ特色トモ稱スヘキナリ隨テ事務ノ整理亦忽ニスル事能ハス知ラント欲シ見ント欲スル事項ハ其時ニ於ケル現状ヲ直ニ知ル事ヲ得ヘク後日ニ於テ取調ヘントスル事項ハ掌ヲ返スカ如ク速ニナシ

得ヘク又次ニ爲スヘキ事務ニ毫モ滯滞ヲ生セス着々事務ヲ執行セシメ得ルハ一ニ整理ノ完キヨリ生スル利益ナリトス

四、不正行爲ヲ防ク事 銀行内部ノ監督嚴密ニシテ不正行爲ヲ行フ寸隙ナシト雖モ時ニ或ハ監督ノ目ヲ掠メ或ハ監督ノ届カサル罅隙ヲ求メ或ハ外部ノ者ト結託シ不正行爲ヲ行フ者ナシトセス而シテ此ル疑アル者ハ之ヲ採用セサル事勿論ナルモ之ヲ行員ニ採用シタル後境遇ノ變化又ハ朋友ノ爲ニ此ル不正行爲ヲ敢テスルニ至ル者ナレハ平素道念ヲ鞏固ニ保チ外部ノ誘惑ヲ避ケシメ又行員ノ素行等ニ付充分ノ注意ヲナシ惡習アル者ハ直ニ充分ノ戒飭ヲ加アル等臨機ノ處置ヲ要スト雖モ凡ソ是等不正行爲ハ何レモ秘密ニ行フモノニシテ外間ヨリ之ヲ窺知スル事能ハサル場合多ケレハ監督ノ任ニ在ル者ハ毫モ油斷スヘカラサルナリ而シテ銀行内部ニ不正行爲ノ行ハル、事ヲ取引先ニ於テ知リタル時ハ立ロニ銀行ノ信用ヲ傷ケ取引上惡影響ヲ蒙ルモノナレハ力ヲ竭クシテ不正行爲ヲ防遏セサルヘカラサルナリ

五、誤謬脫漏ヲ防クヘキ事 多數ノ事務ヲ取扱フ中ニハ誤謬脫漏ハ免ルヘカ



ラサルナリ然レトモ誤謬脱漏ハ多クハ事務ニ未熟ナルカ或ハ事務ノ取扱  
粗漏ニシテ精細ノ注意ヲ缺クニ原因スルモノ多シ而シテ事務ニ未熟ナル  
者ハ日ヲ經テ習熟シ誤謬ヲ減シ又誤謬ノ個所ヲ容易ニ發見スルヲ得ルニ  
至ルヘシ事務ノ取扱疎漏ナルヨリ生スル誤謬ニ至テハ容易ニ矯正スル事  
能ハサルナリ何トナレハ事務取扱ノ疎漏ヨリ生スル誤謬ハ多クハ職務ノ  
際ニ於ケル注意放漫ノ習慣性ヨリ生スルモノニシテ事務多忙ノ時ニ在テ  
ハ他ヲ顧ルノ暇少ク専心其事務ニ従事スルヲ以テ誤謬ハ割合ニ少シ之ニ  
反シ閑散ノ時ニ在テハ注意ハ常ニ事務ノ上ニ專ナラス左顧右顧スル間ニ  
誤謬ヲ重テ脱漏ヲ生スル者ナリ故ニ苟クモ之ヲ矯正セントセハ職務者ヲ  
シテ常ニ現在ノ事務ノミニ精力ヲ集中シ執務中ハ全ク他ヲ顧ル事ナカラ  
シムヘシ

誤謬脱漏ハ往々重大ナル結果ヲ生スル事アリ或ハ極度外ニ融通ヲ與ヘ或  
ハ預金殘高ヲ超ヘテ支拂ヲナシ或ハ口座ヲ違ヘテ預金額ヲ記入シ或ハ預  
ケ金ナキニ拘ラス爲替取引先ニ向ケ多額ノ送金手形ヲ仕向クル等故意ニ  
此等ノ事ヲ行フハ論外トシ誤謬脱漏ノタメ此ル事ヲ行ハ、其結果ハ如何  
單ニ誤謬脱漏ノ金額ノミノ損失ニ止ラス延テ銀行ノ信用ヲ破壊シ將來ノ  
營業ニ蹉跌ヲ生セシムル事ナシトセサルナリ  
誤謬脱漏ノ生スル事屢々ニシテ危險ノ大ナル事前記ノ如シ而シテ職務者  
ノ事務習熟ト注意ノ周到トニヨリ之ヲ防カン事ハ到底不可能ノ事ニ屬ス  
故ニ特ニ精査ノ係ヲ設ケ執務上ノ誤謬脱漏ヲ訂正修補セサルヘカラサル  
ナリ

而シテ精査ノ方法モ亦人爲ニ屬シ誤謬ナシトセス特ニ精査ヲナス者未熟  
ナル時ハ往々記帳ノ事實ニ捉ハレ誤謬ヲ發見セサルコト屢々アリ然レト  
モ反覆精査ヲナスコトハ種々ノ点ニ於テ之ヲ許サ、ル事情アリテ初回精  
査ノ時ニ於ケル誤謬ハ其儘通過セシムル恐アレハ積極的ニ誤謬脱漏ヲ防  
クコト未タ充分トスヘカラス故ニ消極ノ方面ヨリ誤謬脱漏ヲ防キ以テ精  
査ノ誤ヲ幾分ニテモ防クコトヲ得ハ利益尠カラサルナリ

營業場應接室及之ニ接近セル所ニ在テハ事務員ハ一般ニ靜肅ニ執務スヘ  
キハ言テ俟タス執務中難談ヲ交フレハ之カタメ往々誤記脱漏ヲ生シ又傍  
ニ在ル者ヲシテ現ニ執リツ、アル事務ニ集中セル精力ヲ放散セシメ其者

傳票

ヲシテ自己ト全様ノ過失ニ陥ラシムルコトアリ故ニ事務員ハ極テ靜肅ニ執務シ此等ノ過失ヲ減少スルコトヲ心掛ケサルヘカラス即誤謬脱漏豫防ノ消極的方法ナリ

傳票及帳簿

傳票ハ銀行取引ノ仕譯ヲ簡明ニ記載シ該取引ニ關係アル諸係ヲ漸テ逐テ經過シ以テ取引ノ報告及記帳ノ目的ヲ達セシムルタメニ使用スルモノナリ而シテ傳票ハ各取引ニ於テ最初ノ手續ヲナスヘキ係ニ於テ之ヲ作成シ關係諸係及支配人ヲ經各其檢印ヲ得最後ニ計算係ニテ日記帳記入ノ材料トナシ或ハ帳簿代用書類トナスモノナリ而シテ傳票ヲ使用スルコトニヨリテ口頭傳達ヨリ生スル誤謬煩勞及危險ヲ防クモノナリ

傳票記載ノ項目ハ勘定科目姓名金額作成日付等ニシテ必要ノ場合ニハ簡單ナル説明ヲ加フルモノトス而シテ銀行取引ニ於テ荷クモ仕譯ヲ要スルモノアレハ各取引ニ應シテ傳票ヲ作成スヘク現金ノ出入ナルト單ニ科目ノ振替ナルトニ區別アルコトナシ然レトモ時ニ或科目ニ付テハ傳票ヲ作成スル代リニ取引ノ直接關係書類ヲ其儘之ニ代用スルコトアリ例ヘハ當座預金入金票當座小切

帳簿

手定期預金證書小口當座預金受取證預金證書送金小切手等ノ如キ之ナリ又傳票作成ニ付テハ充分ニ注意シ勉メテ誤謬ナキヲ期セサルヘカラスハ勿論ナレトモ之ヲ手ニスル當該係モ亦其記載ノ科目文言金額等ニ注意ヲ拂ヒ誤記ナキヤ否ヤ經由シ來ルヘキ係ヲ經タルヤ否ヤ等ヲ檢セサルヘカラス一片ノ傳票ハ能ク巨額ノ支拂入金又ハ振替ノ證據トナルヘキモノナレハ粗漏ノ取扱アルヘカラサルナリ

傳票ヲ分チテ收納傳票支拂傳票及振替傳票ノ三トス收納傳票ハ現金事務取扱上現金ト見做スヘキモノヲ含ムヲ收入スル取引ニ使用シ支拂傳票ハ現金ノ支拂アル取引ニ用ヒ振替傳票ハ單ニ科目ノ振替又ハ科目ノ振替ニ現金ノ收支ヲ伴フ場合ニ使用スルモノニシテ收納傳票及支拂傳票ヲ連結シタルモノニ外ナラス而シテ一見此三者ヲ見分ケ得ヘキタメ其罫線ノ色彩ヲ異ニシ入金傳票ヲ赤支拂傳票ヲ青振替傳票ヲ黒トスルヲ通例トス

帳簿ハ銀行ノ取引計算及資産負債ノ状態ヲ簡明ニ記シ自己現在ノ營業狀態ヲ知リ將來ノ方針ヲ定メ他日裁判上ノ證據トナスモノニシテ商法ノ規定ヲ俟タス營業上ノ必要事項トシテ作成スヘキモノナリ而シテ帳簿ノ組織又ハ様式ニ

付テハ法律ニ何等ノ規定ナキヲ以テカ―式ル―ずリ―ふ式又ハ在來ノ綴込帳簿ヲ用フルモ任意ナリト雖モ記載事項ヲ定メラレタルモノアルトキハ之ニ適應スル様式ヲ以テ能ク上記ノ目的ヲ達シ得ヘキモノナラサルヘカラス帳簿ノ組織記載及決算ノ方法等ニ付テハ簿記學ニ於テ研究スヘキモノトス

## 各論

### 分課

本論ニ於テ銀行業務ノ細目ニ關シ説明セントス  
 銀行業務ノ性質ニ付テハ前既ニ説明セルカ如キモ此業務ヲ執行スルタメニ銀行内部ノ事務ヲ營業庶務調査ノ三ニ大別シ各ニ部ヲ設ケ各部ニ係ヲ置キ以テ事務ノ分擔ヲ定メ業務ノ執行ニ任セシムルモノトス之ヲ銀行ノ分課ト稱ス  
 銀行ノ分課ハ店舗ノ種類規模ノ大小業務ノ性質等ニヨリ同一ノ銀行ニ於テモ一樣ナルコト能ハス况ンヤ甲銀行ト乙銀行ト又商業銀行ト農業銀行トハ必スシモ同一分課ヲナスモノニアラス其間多少ノ逕庭アルハ止ムヲ得サルトコロナリ  
 營業部ハ直接營業ノ衝ニ當ル係ニシテ割引預金爲替出納ノ各係ハ之ニ屬シ擔保品又ハ有價證券保管ノ係ヲ之ニ屬セシムルモノアリ或ハ之ヲ庶務部ニ屬セシムルモノアリ庶務部ハ營業部ニ屬セサル事務計算及契約ニ關スル事務ヲ取扱ヒ又人事ニ關スル事務ヲ取扱フモノアリ調査部ハ本支店業務上ノ調査又ハ檢査ヲナスモノニシテ現今ニテハ概ネ本店ニノミ設ケラル、分課ナリ

支店ノ分課

銀行内部ヲ營業庶務調査ノ三部ニ分ツハ比較的稍大ナル組織ヲ有スル本店銀行ニ於テ行ハル、分課ニシテ支店ニ在テハ規模ノ大小ニヨリ一ナラサルモ部制度ヲ設ケス直ニ係ヲ設ケ調査部ニ屬スル係ヲ置カサルヲ普通トスルカ如シ

第一篇 營業部

營業部ヲ分テ割引預金爲替出納ノ四係トス此他所有有價證券又ハ擔保品ヲ保管スル係即保管係ヲ營業部ニ屬セシムルモノアルモ茲ニハ之ヲ加ヘス庶務部ノ一分課トナセリ

第一章 割引係

手形割引貸附金ヲ取扱フ係ニシテ此他預ケ金借入金手形及有價證券ノ保證地金銀ノ賣買ニ關スル事務ヲ便宜此係ニテ取扱ヘリ

第一節 手形割引

手形割引トハ未タ満期日ニ達セサル手形ヲ買入ル・コトニシテ買入ノ日ヨリ手形支拂期日マテノ利子即割引料ヲ控除シ其殘額即手形ノ代價ヲ割引依頼人ニ支拂フ事ヲ云フモノナリ而シテ割引料ハ之ヲ嚴格ニ云ハハ手形面ノ金額ヨ

割引ノ意義

## 割引ノ利益

リ割引料ヲ控除シタル殘額ヲ元金トシ其ニ對スル利息ニ外ナラスト雖モ實際  
 上銀行割引料ノ率ハ眞ノ元金ニ對シテ何分ト云フニアラスシテ手形而金額ニ  
 對シテ言フナリ故ニ實際ノ利率ハ手形而金額ニ對スル率ヨリ少シク高率ナリ  
 現今ノ經濟組織ニ於テ商品ハ生産者ヨリ消費者ノ手ニ至ルニハ生産者若クハ  
 各種商人ノ手ヲ經ルヲ通例トス而シテ手形ノ由ラ生スル所以ノモノハ此等ノ  
 人々カ其商品ヲ賣買スルニ方リ現金取引ヲナサザルニ由ルモノトス而シテ現  
 金取引ヲナス代リニ手形ヲ使用シ之カ割引ヲ銀行ニ依頼シ融通ヲ受クルハ之  
 ニ依テ物品ノ生産ヲ圓滑ニシ賣買ヲ容易ニシテ經濟社會ニ甚大ノ利益ヲ與フ  
 ルモノト云フヘキナリ而シテ手形割引ハ其依頼ニ應スル銀行ニ於テモ貸附其  
 他ノ資金運用法ニ比シ遙ニ利益多ク銀行資金運用法中最緊要ナルモノナリ何  
 トナレハ安全ナルコト、容易ニ正金ニ代ヘ得ル事ト利殖ノ大ナル事トハ銀行  
 放資ノ要件ニシテ手形割引ハ最完全ニ此等諸要件ヲ具備スルヲ以テナリ即  
 一、割引ヨリ生スル債權ハ固定セス之ヲ轉々運用スルコト容易ナリ 貸附ヨ  
 リ生スル債權ハ辨濟期日アリ期日前ニ返濟ヲ請求スルコト難シ故ニ有益  
 ナル放資ノ途アルモ急ニ之ヲ回收スルコトヲ得ス機ヲ失スルコトアリ然

ルニ割引ニアリテハ此ル場合ニハ他ノ銀行ニ手形ヲ轉賣即再割引シテ所  
 要ノ資金ヲ得ラルヘキナリ

二、割引ヨリ生スル債權ハ貸附ヨリモ期限短キヲ常トシ且支拂正確ナリ 貸  
 附ハ多クノ場合ニ於テ新事業ヲ起シ若クハ從來ノ事業ヲ擴張シ之ニ依リ  
 テ將來利益ヲ得ンカタメニ融通ノ申込ヲ受クルモノナレハ通常期間長ク  
 且往々辨濟延期ノ依頼ヲ受クルコトアリ然レトモ割引ハ多クハ事業既ニ  
 成リ商品ヲ運轉スルニ方リ要スルモノナレハ期間短ク且期日ニ至リ支拂  
 ヲ受クルコト貸附ヨリモ正確ナリトス故ニ割引ハ貸附ニ比シ銀行カ前途  
 ノ計畫ナスニ便ナリ

三、利率等シクハ割引ノ方貸附ヨリモ利益大ナリ 手形割引ハ割引ノ際利子  
 ヲ差引キ殘額ヲ渡シ期日ニ手形面ノ金額ヲ受取ルモノナレハ利率等シキ  
 時ハ貸附手形貸附ニ於テ利息ノ前拂ヲ受クルモノハ之カ除外タルコト勿  
 論ナリニ比シ銀行ニ取り利益ナルヘキ事勿論ナリ

四、割引ハ銀行資金運用法トシテハ公債ノ賣買ヨリモ確實ナリ 不確實ナル  
 手形ノ割引ハ時トシテ元金ヲモ失フヘキ事アルヲ以テ之ヲ論外トスルモ

確實ナル手形ノ割引ハ期日ニ至リ必ス手形面ノ金額ヲ受取ルモノナルヲ以テ公債ノ買入ニ比シ價格變動ノ虞少ク一層確實ナリ蓋銀行ニ餘力アルトキハ概テ市場ノ金融緩漫ナル時ナレハ公債ノ價騰貴セントスル時ナリ之ニ反シ諸銀行カ其所有公債ヲ賣却シ資金ヲ回收セントスル時ハ通例市場ノ金融逼迫ノ時ナルヲ以テ公債ノ價下落セントスル時ナリ果シテ然ラハ銀行カ其間ニ處シテ公債ノ賣買ヲナシ利益ヲ得ルニハ頗ル機敏ノ働ヲ要シ最困難ナルコトナリ

然レトモ前記ノ利益ハ真正ノ商業手形ヲ買入ル、ニ依テ受クル利益ニシテ銀行ヨリ借入金ヲサントスル者カ借用金證書ヲ差入ル、代リニ手形(擔保附又ハ無擔保)ヲ差入レ割引ノ手續ニヨリ貸附ヲ受クル場合ニ在テハ前記ノ利益全部ヲ得ラル、ニアラス委細ハ第二節ニ説ク所ノ手形貸附ノ處ヲ看ルヘシ銀行ニテ割引スル手形ハ支拂地ノ當所ナルト他所ナルトニヨリ之ヲ當所割引手形他所割引手形ノ二トシ當所割引手形ハ割引セシ銀行ノ所在地ニ於テ支拂ハル、手形ニシテ他所割引手形ハ割引セシ銀行ノ所在地外ノ地ニテ支拂ハル手形ヲイフ

### 割引手形ノ種類

割引スル手形ニ擔保品ノ附屬スルト否トニヨリ之ヲ無擔保手形及擔保附手形ノ二種ニ別ツ無擔保手形ハ前既ニ記セルカ如ク商取引ニヨリ生シタル真正ノ手形ト一時ノ融通ノ爲ニスル手形トニ分チ前者ヲ商業手形ト云ヒ後者ヲ融通手形ト稱ス

擔保附手形ハ其意義ノ廣狹ニヨリ二様ニ區別ス狹義ニ於ケル擔保附手形ハ當所拂手形ノ擔保附ナルモノヲ謂ヒ廣義ニ於ケル擔保附手形ハ當所拂手形ノ外ニ他所拂手形ヲ包括シテ總稱セリ而シテ他所拂擔保附手形ハ日常ノ取扱ニ於テハ荷附爲替手形ニ該當スルモノナリ

擔保附割引手形ハ手形ノ支拂ヲ擔保スルタメニ擔保品ヲ手形ニ附屬シ手形ノ支拂ヲ怠リタル時ハ債權者ニ於テ之ニ附屬セル擔保品ヲ處分シ手形債權ニ充當スルノ權限ヲ與ヘタル割引手形ナリ荷附爲替手形ハ商品ヲ賣渡人ヨリ他所ニ在ル買受人ニ送附スル時ヨリ買受人カ代金ヲ賣渡人ニ交付スルノ期間賣渡人ノ融通ヲ圖ルタメ買受人ニ向ケ送附スル商品ヲ擔保トシテ銀行ニ差入レ此代金ノ一部又ハ全部ノ金額ヲ以テ手形ヲ作り割引ヲ求ムルモノヲ云フ而シテ法規ノ上ニテハ手形割引トハ商業手形ノ割引ヲ謂ヒ融通手形又ハ當所拂擔保

割引ニ要スル注意

附手形ノ割引ハ之ヲ手形貸付ト謂フ(手形貸付ニ就テハ第二節ニ説明ス) 銀行ハ手形割引又ハ貸付ニヨリ利益ノ大部分ヲ得ルモノナルニ銀行カ割引スル手形ニシテ不確實ノモノナランニハ銀行ハ手形割引ニヨリ利益ヲ收ムル能ハサルノミナラス時ニハ甚シキ損失ヲ蒙リ銀行經營上甚シキ困難ヲ招クコトアリ故ニ銀行ハ手形割引ニ付テハ割引スル手形ノ確實ナルト否トヲ判別スルニ充分ノ注意ヲナシ苟クモ不確實ト認ムルモノハ斷然割引ヲ拒絕スヘキナリ而シテ手形割引ニ要スル注意概ネ左ノ如シ

甲、手形ノ性質ニ關スル注意

手形ノ裏書人ハ手形カ不渡トナリタル場合手形ノ正當所持人ニ對シ償還義務ヲ負フ者ナルカ故ニ裏書人ノ數及其支拂能力ハ手形ノ確否ヲ判斷スルニ重要ナル條件ナリ今手形ノ由リテ起ル所ヲ考フルニ手形ハ經濟上ノ取引アリテ後初メテ振出サル、モノニシテ多クハ一方カ貨物ヲ賣渡シタルニ對シ他方カ其代價ヲ即時ニ支拂ハス後ニ至テ支拂フカ爲ニ振出サル、モノナレハ手形ニハ必ス二人以上ノ關係者ナカルヘカラス而シテ此關係者ニシテ實際商品ノ賣買ヲナシ其結果手形ノ取引ヲナシタルモノナランニハ其手形ハ取引シタル商品

確實ナル手形

ノ賣却ニヨリテ支拂ハルヘケレハ此ル手形ハ確實ノモノナリト言ハサルヘカラス

如此正當ナル取引ノ結果トシテ振出サレ且手形關係人ノ支拂能力確實ナル手形ハ亦確實ナリト言フヲ得ヘク手形關係人ノ數殊ニ確實ナル裏書人ノ數多キ程其手形ハ益確實ナリト云フコトヲ得ヘシ

融通手形

然レトモ手形ハ時トシテ實際ノ取引ナキニモ拘ハラス一時資金ノ急需ヲ充スカタメニ振出サル、コトアリ融通手形即是ナリ此ル手形ハ眞實ノ取引ニ由ルニアラス從テ商品ヲ取引ノ基礎トスルモノニアラサルカ故ニ支拂期日至ルモ更ニ他ノ手形ヲ割引シテ一時ヲ彌縫スルニ過キササルモノ多シ銀行ハ充分ノ注意ヲ加ヘ此ル手形ノ割引ヲナサ、ルコトニ努ムヘキナリ此ル手形ノ内ニハ全ク空ノ支拂人ヲ設ケ手形ヲ振出スコトアリ或ハ實際ノ取引ヲナサ、ル者二人共謀シ互ニ一方ヨリ他方ニ宛テ、手形ヲ振出し且裏書ヲナシ互ニ異ル銀行ニ赴キ割引ヲ求メテ一時ノ融通ヲ圖ルモノアレハ精細ニ手形ノ成立ヲ調査シタル後ニアラサレハ買取ルヘカラサルナリ

融通手形鑑

手形カ如此不確實ナル融通手形ナルヤ否ヤ之ヲ鑑別スルコト容易ナラス銀行

ハ其經驗ト智識トニヨリ之ヲ鑑別スルニアラサレハ危險ニ堪ヘラレサルナリ  
今一般ノ標準ヲ示セハ左ノ如シ

一、手形關係者間ノ關係ヲ調査スル事 融通手形ハ多ク信用ノ不確實ナル者  
ニヨリテ振出サル、ヲ常トス而シテ手形關係者ハ多クハ親戚朋友主從若  
クハ取引ノ生スヘカラサル異種ノ業ニ從事スル者又ハ報酬ヲ受ケテ支拂  
人又ハ裏書人タルコトヲ承諾セル者ニシテ商取引ニ直接關係ナキ者ナリ  
二、常ニ同一ノ金額ト同一ノ手形關係人ト有スル手形ノ振出サル、コトナ  
キヤ否ヤヲ調査スル事 實際ノ取引ハ常ニ同一金額ナルコト少ク又常ニ  
同一ノ相手方トノミ取引サル、モノ、アラサンハ同一金額ノ同一關係人  
ヲ有スル手形ヲ全然融通手形ナリト断定スルハ固ヨリ早計ニ失スト雖モ  
時ニ之ヲ怪ミ之ニ注意スルノ要アリ又縱令之ヲ融通手形ニアラストスル  
モ同一手形關係者ヲ有スル手形ヲ多ク割引スル時ハ危險集中シ損失之ヨ  
リ生スル恐ナシトセス而シテ又同種ノ業ニ從事スル者殊ニ同種ノ卸賣業  
ニ從事スル者ノ間ニ於テ實際ノ商取引ヲナサ、ルニモ拘ハラス外見怡モ  
仲間取引ヲナセシカ如ク裝フテ互ニ手形ノ支拂人又ハ裏書人トナリ融通

手形ヲ發行スルコトアリ此ル手形ハ手形關係者カ往々顛倒シ又其金額カ  
略ホ同一ナルニヨリ發見スルコトヲ得ルナリ

三、手形作成順序ノ正當ナルヤ否ヤヲ調査スル事 手形作成ノ正當ナル順序  
トハ爲替手形ナレハ(一)生産者ヨリ卸賣商ニ宛タルモノ(二)卸賣商ヨリ小賣  
商ニ宛タルモノ(三)小賣商ヨリ消費者ニ宛タルモノニシテ約束手形ナレハ  
之ト反對ニ(一)卸賣商ヨリ生産者ニ宛タルモノ(二)小賣商ヨリ卸賣商ニ宛タ  
ルモノ及(三)消費者ヨリ小賣商ニ宛タルモノナリ然レハ右ノ順序ニヨラサ  
ル手形ハ決シテ正當ナル商業手形ニアラスシテ(同業者間ノ取引モアルヲ  
以テ融通手形ニ見ユルモノ、内ニ真正ノ商業手形ナルコトアリ)融通手形  
タルコト多シ又縱令正當ノ順序ニヨリテ作成セラレタル商業手形ト雖モ  
小賣商ヨリ消費者ニ宛タル爲替手形又ハ之ニ類スル手形ハ消費者ニ浪費  
ヲ獎勵スルノ恐アルノミニシテ常ニ確實ナリト云フ事能ハス且商人以外  
ノ者ニヨリテ振出又ハ引受サレタル手形ハ地代家賃ノ滯納單純ナル貸借  
關係等ニヨリテ振出サレ支拂ノ基礎薄弱ナルモノ多ク或ハ又振出人又ハ  
支拂人カ手形行爲ニ慣レサル等ノタメ期日満足ナル支拂ヲ受クルコト能



融通手形ノ防遏

ハサル事アレハ特ニ注意ヲ加フヘキモノトス

四、振出後直ニ割引ヲ依頼セラル、コト

五、手形面金額ニ端數少キコト

融通手形ノ割引依頼人ハ一銀行ニノミ割引ヲ依頼スレハ忽チ觀破セラル、恐アルヲ以テ故ラニ數銀行ト取引ヲナシ觀破セラレサランコトニ努ムルコトアリ故ニ銀行ハ完全ナル同業者ノ組合ヲ作り相互防衛ヲナスニアラサレハ到底之ヲ防遏スルコト能ハサルナリ然レトモ一商店ヲシテ一銀行トノミ取引セシムレハ融通手形ノ發行ハ自ラ之ヲ防キ且該商店ニ於ケル資金繁閑ノ狀況及其時期ヲモ知ルコトヲ得テ之ト取引スル銀行ノ便益少カラサルナリ

融通手形ハ支拂不確實ニシテ危險ナルモノ、ミナルカ如シト雖モ悉ク然ルニアラスシテ或ハ安全ナルモノモアリ確實ナル商人ノ一時融通ノ爲ニ持來ル所ノ手形ノ如キハ必ス之ヲ避クルニ及ハス次節ニ記スル所ノ手形貸附ノ手續ニヨリ割引シテ可ナリ

乙、割引ノ金高ニ關スル注意

手形、割引ハ假令其手形關係人ノ信用ニシテ確實ナリトスルモ無制限ニ時期

割引期間長短ノ優劣

ヲ選ハス其依頼ニ應スル時ハ其金高手形關係人ノ支拂能力ヲ超過シ危險少カラサルト投機ヲ獎勵スル恐アレハ割引ニハ時機ニヨリ各相當ノ限度ヲ定メ安リニ無制限ナル割引ヲナスヘカラサルナリ而シテ銀行カ割引ノ限度ヲ定ムルニハ同一人ニ對シテ割引シタル金高ノミヲ標準トスルコトナク其人カ他ノ手形ノ手形關係人トナリ居ルヤ否ヤ當座貸越貸附金其他資金ヲ借入レ居ルヤ否ヤ預金ノ平均殘高ノ何程ナルヤ等ヲ調査シ其金高ノ多寡ヲ參酌セサルヘカラス

丙、割引ノ期限ニ關スル注意

資金ヲ安全有利ニ間斷ナク使用シ且手元ノ甚シク逼迫ヲナサ、ルト共ニ多クノ遊金ヲ生セシメサル様手形期限ノ長短ニ依リ其優劣ヲ比較シ取捨ヲ決スヘキコトヲ必要ナリ今手形期限ノ長短ニ關シ優劣ヲ比較セハ左ノ如シ

短期手形ノ長期手形ニ優ル點

一、短期手形ノ割引ハ長期手形ノ割引ヨリモ安全ナリ何トナレハ手形期日マテニ其關係人ノ支拂能力ヲ減失スヘキ危險ノ多少ハ其期間ノ長短ニ正比例ヲナスモノナレハナリ

二、短期手形ノ割引ニアリテハ長期手形ノ割引ヨリモ資金回轉ノ度數多ク從テ有利ノ方面ニ放資スヘキ機會ニ富メリ

三、一定ノ金額ヲ一定ノ歩合ニテ手形割引ニ使用スル時ハ短期割引ノ方長期割引ヨリモ利得一層大ナリ

四、短期割引ハ長期割引ニ比シ資金固定ノ憂少ク必要ニ際シ之ヲ他ニ賣渡スコト亦割合ニ容易ナレハ急激ナル預金ノ取付等ニ備フルニ便ナリ

五、投機熱盛ナルトキハ長期割引ハ之ヲ助長スル傾向ヲ有スレトモ短期割引ニ在リテハ支拂ノ期日近キカ故ニ所謂思惑取引ヲナスノ暇ナク之ヲ減少スルノ效アリ

長期手形ノ短期手割ニ優ル點

一、長期手形ハ前記ノ如キ不利ノ點アルヲ以テ其割引料ハ短期手形ノ割引料ヨリモ高率ナリ

二、同一期間ニ同額ノ割引ヲナストキハ長期割引ノ方短期割引ニ比シ遙ニ多額ノ金ヲ運轉スルコトヲ得ヘシ(即積數多シ)

三、長期手形ノ割引ハ永ク資金ノ融通ヲ許スモノナレハ其間安シテ資金ヲ利用スルコトヲ得セシメ自然經濟ノ發達ニ資スル所大ナルヘシ短期割引ニ在リテハ此ル利益ハ之ヲ望ムヘカラス

四、長期割引ヲナシタルタメ其地方ノ經濟發達スル時ハ其結果トシテ銀行ノ業務愈隆盛トナルヘシ

割引期間

割引ヲナス手形ノ期間ハ普通三ヶ月ヲ最長限度トシ取引先及金融ノ狀況ニヨリ多少ノ延長ヲナスコトアルモ長期ニ互ルモノハ金融圓滑何等警戒ノ要ナク且手形關係者ノ信用充實シ特ニ安全ナルモノ、ミニ限レリ

丁、手形ノ形式ニ關スル注意

手形債務ハ證券的債務ニシテ證券ノ善意ノ取得者ニ對シテハ手形ノ文言カ獨リ債務ノ範圍ヲ決定スルモノナリ加之手形ハ流通性ノ證券ナルヲ以テ自然ニ其形式モ嚴格ニ規定セラレ苟クモ形式ニ違フアレハ手形ノ効用ヲ失フヘキヲ以テ形式ニ關シテハ充分ノ注意ヲ要スルナリ左ニ其要點ヲ記スヘシ

一、法律ニ規定サレタル事項ヲ完全ニ遵守シ欠缺ナキヤ否ヤ 例ハ爲替手形ノ振出ニ在テハ爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字一定ノ金額支拂人及受取人ノ氏名又ハ商號振出人ノ署名單純ナル支拂ノ委託振出年月日一定

ノ満期日支拂地ノ記載ヲ要シ約束手形ノ振出ニ在テハ約束手形タルコトヲ示スヘキ文字一定ノ金額受取人ノ氏名又ハ商號振出人ノ署名單純ナル支拂ノ約束振出ノ年月日一定ノ満期日振出地ノ記載ヲ要シ裏書ハ連續スルヲ要スルカ如キヲ云フ

二、爲替手形ヲ割引スル場合ニハ支拂人ノ引受アルヤ否ヤヲ調査スル事 爲替手形ヲ割引スル場合ニハ支拂人ノ引受アルヲ原則トスルモ振出人ノ信用如何ニヨリテハ引受ナキ手形ト雖モ割引ニ應スルコトアリ

三、會社取締役ニシテ個人ノ資格ヲ以テ其會社ト取引ヲナス時(會社ノ爲ニ保證ヲナス場合モ之ニ含ム)ハ必ス監査役ノ承認ヲ求ムルコト

四、取引者中何商店何商會等ノ名義ヲ以テ取引スル者ニ對シテハ商號登記ヲナシ居ルヤ否ヤヲ取調ヘ常ニ其責任者ト取引スルコト

五、代理人ニシテ本人ニ代リ手形行爲ヲナサントスル者アルトキハ豫シメ本人ヨリ其行爲ヲ委任スル旨ヲ明記スル書面ヲ求ムル事

六、法人又ハ支店ト取引スル場合ニ代表權アル取締役又ハ支配人ノ名ヲ以テスルトキハ格別ナルモ然ラサルトキハ資格證明書ヲ求置クヘシ

七、未丁年者妻又ハ後見人付ノモノト取引チナス場合ニハ夫々法定ノ手續ヲ履行スル事

八、印影ノ正否ヲ檢スル事

九、誤記脱漏等ニ對スル訂正加除ノ正否ヲ檢スル事

### 割引歩合

吾國普通銀行ニ於テ利息割合ノ稱呼ハ元金百圓ニ對スル一日ノ利息割合ヲ日歩ト稱シ割引ノ場合ニ在テハ之ヲ割引歩合又ハ割引日歩ト稱シ割引料計算ノ基礎トナセリ

### 割引歩合ノ高低

割引歩合ノ高低ハ一時的資金ニ對スル需要供給ノ關係ニ依テ定ルモノナリ而シテ此一時的資金ニ對スル需要ト供給トハ手形ノ賣買トナリテ現ハレ手形ヲ賣ルモノハ資金ヲ得ントスル者ニシテ手形ヲ買フ者ハ資金ヲ之ニ放下セントスル者ナリ故ニ割引歩合ノ高低ハ手形ヲ賣ル者ト買フ者トノ多寡ニ依リテ定ルト云フ事ヲ得ヘシ即手形ヲ買フ者多クシテ賣ル者少キ時ハ割引歩合低ク之ニ反シ手形ヲ買フ者少ク手形ヲ賣ル者多ケレハ割引歩合高シ即割引歩合ハ金融緊縮割引ヲ求ムル者多キ時ニ高シ而シテ手形ヲ提供シ資金ヲ得ント欲スル者ノ多寡ハ一般經濟界ノ景況如何ニヨリ手形ニ資金ヲ放下セントスル者ノ多

寡ハ金融市場ノ狀況如何ニ由ルモノトス  
 貨幣用貴金屬ノ產出増加ハ貨幣ノ供給ヲ増加シ、外債ノ募集商品ノ輸出超過等  
 ハ外資ノ流入ヲ促シ、經濟界沈衰セハ資金ノ需要減退シ、其ニ金融ヲ緩漫ナラシ  
 メ之ニ反シ外國債券ノ應募、商品ノ輸入超過等ハ內資ノ流出ヲ促シ、經濟界ノ活  
 況、金融季節、年二回ノ決算期、農產物出廻期、夏物冬物ノ出廻期等ハ資金ノ需要増  
 加シ金融ヲ緊縮セシムルモノナリ、之ヲ要スルニ金融市場緊縮シテ割引歩合大  
 ニ引上ケラルレハ茲ニ資金ノ需要ヲ抑制シテ漸次ニ金融市場ヲ緩漫ナラシメ  
 割引歩合ハ再ヒ低下スルニ至ルヘク割引歩合低下スレハ茲ニ資金ノ需要ヲ喚  
 起シ金融市場緊縮シ割引歩合ハ再ヒ上騰スルニ至ルヘシ固ヨリ其高低ハ種々  
 ナル事情ニヨリ其期間ニ長短ヲ生シ規則的ナルコト能ハサルヘシト雖モ一般  
 經濟上ノ原則ト同シク一張一弛恰モ端ナキ環ノ如ク循環シテ底止スル所ナキ  
 モノナリ  
 割引手形ハ又手形關係者ノ信用即手形ノ信用如何ニヨリ割引歩合ヲ異ニシ信  
 用アル手形ハ割引歩合低シ、而シテ又支拂地ノ異ルニヨル概テ其歩合ヲ異ニセ  
 リ即左ノ如シ

一、當所拂割引手形ハ手許資金ノ必要ニ際シ之ヲ他ニ再割引ヲ求ムルコトヲ  
 得且手形金ノ取立ヲナスニモ之ヲ他ニ委託スルコトナク概テ自行ノ當座  
 勘定ニテ振替決濟シ得ルカ若クハ交換所ヲ經由シテ取立ヲナスコトヲ得  
 テ特ニ取立ノ危險ト費用トヲ要セサルニヨリ此手形ノ割引歩合ハ最低キ  
 ヲ常トス融通手形又ハ支拂場所ヲ交換所組合銀行ニ指定セサル商業手形  
 ニ在テハ再割引ノ便ナク或ハ交換所ヲ經由シテ取立ツルコト能ハス一々  
 支拂場所ニ就キ取立ヲ要スル不便ト危險ト失費トヲ要スルヲ以テ普通商  
 業手形ヨリ若干高率ナルヲ普通トス殊ニ融通手形ニ在テハ右ノ不便ノ外  
 期日ニ回收スルコト能ハサルカ如キ恐アルヲ以テ割引歩合ハ他ノ割引手  
 形ニ對スルヨリモ高率ナルヘキ事論ヲ俟タス  
 二、他所拂割引手形ハ手許資金ノ必要ニ際シ或ハ之ヲ他ニ再割引スルコトヲ  
 得ヘキモノアルハシト雖モ多クハ再割引困難ナルノミナラス之ヲ取立ツ  
 ルニハ其都度支拂地ニ在ル爲替取引銀行ニ送附シ取立濟ノ後ト雖モ爲替  
 ノ方法ニヨリ其資金ヲ回收スルニアラサレハ更ニ之ヲ貸出資金トシテ運  
 用スル能ハス且取立ニ關シ或ハ文書ニテ或ハ電話電報ニテ往復照會ヲ要

シ或ハ取立ノ爲ニ取立料ヲ資金回收ノ爲ニ付替料ノ支拂ヲ要スル事アリ  
テ當所割引手形ニ比シ失費ト手數ト危險トハ甚シク増加スルヲ以テ割引  
歩合ハ當所割引歩合ニ比シ高率ナルヲ普通トス殊ニ取立又ハ資金回收ニ  
多クノ費用ト日數トヲ要スルモノニ在テハ其率甚高ク時トシテハ普通割  
引料ノ外ニ此等ノ費用ヲ特ニ割引依頼人ヨリ求ムルコトアリ

割引歩合ハ又金額ノ大小期間ノ長短ニヨリ差違ヲ設クルコトアリ一途ノ手形  
ヲ割引スル手數ト費用トハ手形金額ノ大小ニ拘ハラズ同一ナルヲ以テ金額小  
ナルモノニハ歩合高ク大ナルモノニハ歩合ヲ低クスルコトアリ殊ニ池所割引  
手形ニ於テ郵税又ハ手數料ヲ割引依頼人ヨリ特ニ受クルコトナカラズニハ割  
引料ヲ以テ郵税ヲ支辨セサルヘカラサルナリ如此場合ニ在テハ小額ノ手形割  
引ハ自ラ其率高キナリ

新ナル者ヨリ商業手形割引ノ依頼アル時ハ其人カ當行ト當座取引アルヤ否ヤ  
又當座取引ナキ人ニ對シテハ手形ノ支拂人カ當行ノ取引先ナルヤ否ヤ又其取  
引振ノ如何ヲ調査シ手形關係人カ當座取引先ニシテ且警戒ヲ加フルニアラス  
又新ナル割引依頼人ト將來取引ヲ繼續セントスル時ハ手許資金ニ差支ヲ生セ

## 割引ノ手續

ナル限度ニ於テ概テ手形割引ノ依頼ニ應スルモノトス然レトモ總テ無擔保手  
形ノ割引ハ商業手形タルト融通手形タルト問ハズ手形關係人ノ信用ヲ基礎  
トシテ割引ヲナシ何等ノ擔保ヲ添附セサルモノナレハ一朝手形關係人ノ信用  
ニ異動ヲ生シ手形支拂ニ差支ヲ生スルニ至レハ手形債權ハ甚不安ノモノトナ  
ルヘシ是ヲ以テ營業ノ任ニ當ル者ハ割引取引ノ當初ニ於テ割引依頼人ノ營業  
狀態、資産、信用、性行、當行及他行トノ取引狀況等ヲ綿密ニ調査シ重役ノ承認ヲ得  
テ割引ノ限度ヲ定メ然ル後取引ヲ開始スルモノトス而シテ該限度迄ハ或期間  
連續シテ割引ヲ行フモノト一回限リ行フモノトアレハ之ヲ區別スルコト必要  
ナリ

新ニ割引ノ取引ヲ開始スル時ハ手形關係人ヨリ署名鑑及印鑑ヲ徴シ且割引ニ  
關スル約定書アラハ之ヲ差入レシムルモノトス署名鑑及印鑑ハ割引ノ取引ニ  
先チ差入レシムルヲ可トスルモ取引先ニ依リテハ割引取引後ニアラサレハ差  
入レシメ難キモノアリ是等ハ依頼人ノ信用又ハ他ノ取引狀況ニヨリ加減ヲ要  
スヘキナリ而シテ印鑑ニ押捺セル印章カ實印ニアラサル時ハ印鑑届出ノ書面  
ニ實印ヲ押捺セシメ之ニ印鑑證明書ヲ添付セシムルカ若クハ市町村役場ニ就

キ印鑑照合ヲナスヘシ

割引取引開始ノ手續ヲ了レハ割引依頼人ノ提出スル手形ヲ前記注意事項ニ就キ調査シテ部長ニ提出シ手許資金ノ都合ヲ計リ買取得ヘキモノハ受附ニ於テ直ニ手形買取ノ手續ヲナスモノトス手形買取ノ手續ハ手形ニ讓渡ノ裏書ヲナサシメ又拒絶證書作成免除ノ記入ヲナサシメ（此作成免除ハ絶對ニ強要スルモノニアラサルモ之アルヲ便利トス）手形及手形割引取組報告票ニ一通毎ニ取組番號ヲ順次ニ記入シ手形ニヨリ割引料ノ計算ヲナシ手形金額及割引料ヲ合計シテ振替傳票ヲ作り割引殘金ハ格別ノ依頼アルモノ、外全部之ヲ當座勘定ニ振替フルモノトス而シテ簿記方ニ於テハ手形ニヨリ割引料一口毎ノ金額及其合計額手形金額並ニ其差額ヲ受付ヨリ廻付セシ振替傳票ニ照合シ相違ナキ時ハ手形ニ傳票ヲ添ヘテ部長ニ提出シ認印ヲ受ケ手形ハ割引係主任ノ手許ニ止メ傳票ヲ關係ノ係即割引殘金ノ受入ヲナス係ニ廻付シ然ル後手形ニヨリ記帳シ又取組報告票ニ要項ヲ記入シ其後取組ノ分モ右ニ準シ取扱ヒ當日ノ終ニ於テ手形ハ當所他所各別ニ期日順ニ整理シ此内期日切迫セル他所割引手形ハ爲替係ニ廻付シテ取立ノ手續ヲ連ハシメ其他ノモノヲ手形貸附及證書貸附

ノ手形及證書ト共ニナシ之ニ貸出金出入合計票ヲ添へ營業部長ノ許ニ提出スレハ部長ハ出入合計表ニ照シテ取組枚數等ヲ調査シ然ル後以前取組ノ分ニ差加ヘテ期日順ニ整理保管スルモノトス

割引殘金ハ取引先ヨリ特別ノ依頼アルモノ、外ハ全部之ヲ當座勘定ニ振替フルヲ原則トスヘシ然レトモ多クノ取引中支拂人トハ親密ノ取引アリテ其者ノ支拂又ハ依頼ノ手形ヲ割引スルコトアルモ割引依頼人トハ何等ノ取引ナキモノアリ而シテ此ル向ヨリハ往々割引殘金ノ現金支拂ヲ要求スルコトアリ又割引手形ノ期日ニ於テ新手形ヲ割引シ前手形ヲ繼續スル事アリテ割引殘金ヲ當座勘定ニ振替フル能ハサルモノ若クハ振替ヲ欲セサルモノアリ此等ニ對シテハ概ネ左ノ如ク取計フヲ可トス

一 割引依頼人ト何等ノ取引ナキモ支拂人ノ指圖ニヨリ割引ヲ求ムル者アルトキハ割引殘金ハ支拂人ノ當座勘定ニ振替ヘ依頼人ニ對シテハ支拂人ヨリ小切手又ハ現金ヲ以テ決済セシムルコト

二 舊手形ヲ新手形ニ繼續書替ヲナストキハ新手形ヲ以テ舊手形ニ振替ヘ割引料其他ヲ現金又ハ振替ノ方法ニヨリ受拂シテ可ナルカ如キモ可成ハ舊

手形ヲ小切手ニテ支拂ハシメ新手形ノ割引殘金ヲ當座勘定ニ振替フルヲ可トス

貸付金ヲ割引手形ニテ決済スル場合爲替取引先ヨリ取立ヲ託サレタル代金取立手形ヲ割引手形ニテ決済スル場合等ハ皆之ニ準ス

三、他地方ノ人ニシテ當行ニ當座取引ナキ者ヨリ割引依頼ヲ受ケ之ニ應スル時割引殘金ハ爲シ得レハ其者ノ平素取引スル銀行ニシテ當行ト爲替取引アル銀行ノ爲替尻ニ振込ムヲ可トスルモ斯ル便ナキ依頼者ニ對シテハ當行ノ取引銀行ニ宛テ送金取組ノ手續ニ依ルノ外ナカルヘシ然レトモ送金取組ノ方法ハ充分ノ注意ヲ加フルニアラサンハ郵送途中紛失ノ恐アルヲ以テ可成之ヲ避クルヲ可トス况ンヤ他行ニ依頼シテ送金取組ヲナスカ如キハ避ケ得ラル、タケ之ヲ避クルヲ可トス

四、割引殘金ヲ當座預金以外ノ預金勘定ニ振替ノ場合ニハ直接該勘定ニ振替フルモ可ナリ

五、右ノ外割引殘金ヲ現金ニテ支拂フ時ハ豫シメ部長ノ承認ヲ求ムル事

他所手形

他所拂手形ノ割引依頼ヲ受タル時ハ當所拂手形ノ割引ヲナス時ノ注意ノ外尙

該手形ノ支拂地カ割引ヲナス銀行ト爲替取引アル地ナルヤ或ハ該銀行ノ爲替取引先ヲ經由シテ該支拂地ニ轉送取立ヲナシ得ルヤ否ヤヲ取調ヘ手形金ノ取立ヲナシ得ル地ヲ支拂地トスル手形ノミヲ選擇シテ割引スヘシ割引手續前ニ同シ

他所割引手形ノ保管

割引シタル手形ハ當所割引手形ト他所割引手形トニ分チ各チ期日順ニ分チ期日ノ近キモノヲ上部ニ遠キモノヲ下部ニナシテ日々取組タル割引手形ヲ整理シ之ヲ箱又ハ之ニ代ルヘキモノニ納メテ火災盜難等ノ危険ナキ場所又ハ金庫内ニ保管スヘシ

割引係ニ在テハ日々取組タル割引手形ノ枚數及金額ヲ當所他所ニ區分シテ之ヲ割引手形受拂帳ノ當所割引手形他所割引手形ノ各口座ニ記入シ尙次ニ記スル所ノ割引手形ノ回收即取立濟ノモノ、枚數及金額ヲモ受拂帳ニ記入シ此等ヲ前日ノ殘高ニ差引シテ當日ノ現在殘高トシ此殘高ヲ自己ノ現在保管セル割引手形ノ枚數及金額ニ時々照合シ割引手形現在高相違ノ有無ヲ檢シ符合セシ時ハ該數字ノ冒頭ニ合印ヲ押シ後日調査ノ便ニ供スヘシ

當所割引手

當所割引手形ハ期日營業開始ノ時ニ於テ手形保管ノ箱ヨリ取出シ直ニ期日帳

ニ突合ン當日限リノ手形カ他ノ期日ノ手形中ニ混シテ存在スルコトナキヤ記帳ト實物トカ符合スルヤ否ヤヲ檢シ萬一不符合ノ事アラハ直ニ他ノ手形ニ付取調ヘ誤謬ヲ發見シタル後左ノ手續ニヨリ割引手形金ノ回收ヲナスモノトス

- 一、自行チ支拂場所ニ指定シタル手形ニシテ支拂資金アルモノハ支拂人トノ約定ニ基キ當座勘定ヨリ引落スヘキモノハ當座勘定ト其他ノ勘定ヨリ引落スヘキモノハ該勘定ト割引手形勘定トヲ振替決濟シ支拂資金ナキモノハ支拂人ノ來行ヲ待チ(時トシテハ支拂人ニ代リ依頼人ノ來行スルコトアリ)或ハ支拂人自宅拂ノ手形ト同一ノ方法ニテ取立ツル事アリ
- 二、交換所組合ニ加入セル他ノ銀行ヲ支拂場所ニ指定セル手形ニ在テハ期日入金票ヲ作り手形ト共ニ出納係ニ交付シ同係ヨリ手形交換所ニ持出サシメ決濟スルモノトス
- 三、交換所組合銀行以外ノ場所ヲ支拂場所ニ指定セルモノハ豫シメ入金票ヲ作り且取立票手形金ノ取立ヲナス者ノ手控トナスモノニシテ支拂人番號及手形金額等ヲ記スル小紙片ニ記入ヲナシ割引手形ニ手形金額領收ノ印ヲ押シテ取立係員ニ交付シ支拂場所ニ就キ一々現金ノ取立ヲナサシムルモノトス

ノトス

他所割引手形ハ取組當日又ハ期日若干日前ニ手形支拂地ニ在ル爲替取引先(手形支拂地ニ爲替取引先ナキ時ハ其地ニ爲替取引先ヲ有スル他ノ爲替取引先又ハ他ノ銀行)ニ送付シテ手形金ノ取立ヲ託セサルヘカラス之カヲ割引係ハ期日若干日前ノ他所割引手形ヲ手形保管ノ箱ヨリ取出シ(取組當日發送スルモノハ當日ノ終ニ於テ)之ヲ期日帳ニ一通毎ニ照合シテ帳簿ト現物トノ符合ヲ確メ然ル後手形ヲ爲替係ニ廻附シテ(此時ニ於テ係間手形授受ノ形式ヲ明ニナスヲ要ス)期日取立ヲナサシムルモノトス爲替係ニ於テノ取立手續ハ第三章ニ於テ記スヘシ

他所割引手形ヲ取立ノタメ爲替係ニ廻付シタル時ハ割引係ニテ保管スル割引手形受拂帳ノ他所發送手形口座ニ發送セシ枚數及金額ヲ相當欄ニ記入シ取立濟又ハ不渡返却ノアリシ時ハ各其枚數金額ヲ是亦相當欄ニ記入シ尙其差引殘高ヲ記シ之ヲ爲替係ノ帳簿ニ照合シ取立ノ爲メ現ニ爲替取引先ニ廻付中ノモノ幾何アルヤヲ確メ之ヲ割引手形受拂帳他所割引手形口座ノ殘高ヨリ減シテ他所割引手形ノ手元現在高ヲ算出シ之ニヨリ手元現在高ノ正否ヲ實物ニ就キ



## 手形ノ不渡

調査シ符合セシ時ハ他所發送手形ノ殘高ニ相違ナキモノトシテ當該數字ノ冒頭ニ合印ヲ捺捺スヘシ

割引セシ手形不渡トナリ支拂場所ニ指定セラレタル銀行ヨリ返却セラレ或ハ取立ノ係員ヨリ返却サル、カ若クハ取立ノ爲メ送附セシ爲替取引先ヨリ不渡ノ通知ヲ受ケ或ハ返却セラル、事アラハ直ニ割引依頼人ニ通知シ手形金延滞利子及不渡ノ爲ニ生シタル費用ノ償還ヲ求ムヘキモノトス此場合割引依頼人ニ於テ直ニ此請求ニ應スル者ニ在テハ煩雜ナル手數ヲ要セサルモ萬一割引依頼人カ速ニ此請求ニ應セサル見込アルカ若クハ土地距リタル時ハ法定期間内ニ拒絕證書作成ノ手續ヲナシ(拒絕證書作成免除ノモノハ之ヲ要セス)爲替取引先ニ送附セル他所割引手形ニ付テハ直ニ其手續ヲ依頼シ且法定ノ手續ニ依リ償還請求ノ通知ヲ發スヘキモノトス即償還請求書ニハ不渡トナリタル手形ノ要項ヲ記シ該手形ノ支拂ヲ求ムルタメ呈示シタルモノ不渡トナリタルニ依リ手形ノ金額幾何手形満期日ヨリ償還ヲ受クル日マテノ法定利子並ニ不渡ニヨリ生シタル費用幾何ノ償還ヲ求ムル旨ノ書面ヲ作成シ之ヲ内容證明郵便ニヨリ法定期間内ニ最後ノ裏書人ニ宛テ發送スルモノトス而シテ不渡トナリタル手

形ニハ補箋ニ(小切手ハ小切手面ニ)不渡ノ事由及呈示ノ日ヲ明瞭ニ記載セシメ正當期間内ニ適法ニ呈示セシ事ヲ證明シ得ル様ニスヘシ

割引依頼人ヨリ不渡手形ノ償還ヲナス時ハ請求セシ償還金額ヲ受取り割引依頼人ニ裏書讓渡ヲナシ且手形上ノ責任ヲ負擔セサル旨裏書ニ附記スルヲ要ス而シテ法定手續ニヨリ最後ノ裏書人即割引依頼人ニ對シ償還請求ノ通知ヲ發セシニモ拘ハラズ償還ヲ受ケサルニ於テハ不得止専門家ノ手ヲ煩ハシ法律上ノ手續ニヨリ手形上ノ債權ヲ保護シ且之ヲ實行スルノ外途ナキナリ

## 第二節 貸 附 金

貸附金ハ將來ノ生産ヲ圖ルタメニ新ニ資金ヲ投シ又ハ從來投セラレタル資金ノ効用ヲ増加セントシテ更ニ投セラル、カ爲ニ融通スル資金ナリ即既ニ投セラレタル資金ノ回收ヲ圖ルタメニ融通スル手形割引トハ根本ノ性質ニ於テ相違セリ然レトモ之ヲ經濟社會ノ實際ニ照セハ資金ノ融通ヲ求ムル者モ又資金ヲ融通スル者モ如此判然區別シテ取引ヲ行フモノニアラス或時ハ既ニ投シタル資本ヲ以テ生産シタル商品ヲ商人ニ賣捌キ早晚其代金ニ對シ數十通ノ爲替

割引ト貸附  
トノ區別

手形ヲ振出シ之ヲ以テ割引ヲ受ケ資金ノ回轉ヲ圖ルヘキニ此手數ヲ省略シ自  
己ノ所要金額ヲ一通ノ手形又ハ證書ニ認メ貸附金ノ形式ニヨリ融通ヲ受クル  
事アリ又或時ハ事業擴張ノ資金ヲ求ムルヲ融通手形ヲ作り割引ヲ求ムルコ  
トアリテ畢竟現ニ要スル所ノ金額ト之ニ對シ支拂フヘキ利息トノ關係ニ於テ  
或ハ割引ノ形式ヲ採リ或ハ貸附金ノ形式ヲ履ムニ過キサルナリ  
然ラハ割引ト貸附トハ形式ニ於テ幾何ノ相違アリヤ單ニ之ヲ學問上ヨリ觀レ  
ハ割引ハ既ニ投セラレタル資金ノ回轉ヲ圖ル爲ニ融通スルモノニシテ例ヘハ  
商品ノ代金ニ手形ヲ受取リタル時ハ此手形金額ハ既ニ投セラレタル資本即商  
品ノ原價ト投資ニ依テ生シタル果實即利潤トヨリ成ルモノナレハ此手形ニ對  
シ融通ヲナスニハ融通資金ノ利息ヲ此手形金額ノ内ヨリ受取ルモ何等ノ差支  
ナク寧ロ當然ナリ然ルニ貸附ニ在テハ將來ノ生産ニ供スル爲メ資金ヲ融通セ  
シモノニシテ該資金ノ果實ハ投資ノ當初ニ於テハ之ヲ得ル能ハス必ス或期間  
ノ後ナラサルヘカラサルモノナレハ貸附金ノ利息ハ融通期間ノ終ニ於テ受取  
ルヘキモノナリ即融通資金ノ利息ヲ融通ノ當初ニ於テ受取ルモノ割引ニシテ  
融通ノ終ニ於テ受取ルモノ貸附金ナリ

## 貸附ノ種類

如此割引ト貸附トハ形式ニ於テ判然區別シ得ルカ如シト雖モ現行法ニ於テハ  
此區別ヲ明ニスル事能ハサルモノアリ何トナレハ貸附ノ内ニ手形貸附ナルモ  
ノアリテ手形割引ト手續及形式ニ於テ何等ノ異ル所ナク唯手形作成上ノ見地  
ヨリ兩者ヲ區別スルニ過キサルモノアリ即手形割引ハ割引ノ商談成立前ニ手  
形ノ振出行爲完結セルモノナルニ手形貸附ハ先ツ資金融通ノ商談成立シ然ル  
後債務證書ノ代リニ手形ヲ振出シ割引ト同様融通資金ニ對スル利息ヲ融通ノ  
時ニ於テ手形金額ヨリ引去ルモノナリ  
貸附金ニ證書貸附ト手形貸附トアリ債務者ヲシテ借入金證書ヲ作ラシメ之ニ  
對シ融通スルモノハ證書貸附ニシテ利息ハ貸附後一定ノ期日又ハ回收ノ時ニ  
受取ルヘキモノナリ手形貸附ハ前既ニ説ケルカ如ク債務者ヲシテ手形ヲ作ラ  
シメ之ニ對シ融通スルモノニシテ融通ノ時ニ於テ期日迄ノ利息ヲ受取ルモノ  
ナリ而シテ證書貸附ト手形貸附トノ得失ニ付テハ恰モ貸附ト割引トノ得失ニ  
於ケルカ如シ

## 貸附ノ期間

貸附金ハ之ヲ純理ノ上ヨリ觀レハ將來ノ生産ヲ圖ルタメニ新ニ投資シ又ハ從  
來ノ事業ヲ擴張シ或ハ從來投セラレタル資本ノ効用ヲ増加センカタメニ更ニ

## 保 證 人

投資セラル、モノナルヲ以テ豫期ノ生産ヲナシ相當ノ利潤ヲ得タル後最初投  
 セラレタル資金ヲ要セサルニ至リ初メテ回收ノ途ニ就クヘキモノナリ從テ貸  
 附ノ期間ハ長キヲ普通トス而シテ證書貸附ハ最此性質ヲ備ヘ長期ノ貸附ハ證  
 書貸附ニヨルニアラサレハ債務者ハ安シテ新事業ニ投資スル事能ハサルナリ  
 故ニ證書貸附ノ多クハ短クモ二三ヶ月普通ハ半年乃至一年ニシテ長キハ數年  
 ニ及ヒ且期日ニ於テ更ニ延期スルモノアリ然ルニ手形貸附ニ在テハ手形ノ性  
 質上其期間ハ概シテ短ク假令期日ニ於テ繼續融通スト雖モ一回ノ期限ハ概ネ  
 二三ヶ月以内ニシテ短キハ數日ニ止マル事アリ

貸附ニハ概テ信用アル保證人ヲ設ケシムルモノトス是貸附ノ方法ニ依テ融通  
 シタル資金ハ其性質上主トシテ新規ノ投資ニ用ヒラレ其成否ハ直ニ債務者ノ  
 興廢ニ關スルヲ以テナリ保證人ハ證書貸附ニ在テハ證書面ニ主債務者ト連署  
 シ手形貸附ニ在テハ手形面ニ保證人ト記シテ支拂人ト連署スル者アリ或ハ割  
 引依頼人約束手形ニ在テハ裏書人爲替手形ニ在テハ振出人若クハ裏書人トナ  
 リテ保證ノ形ヲ採ルモノアリ又別ニ保證書ヲ差入レシメ手形面ニテハ無保證  
 人ノ形式ヲ採ルモノアリ而シテ保證人ヲ設ケサルモノハ證書貸附ニ在テハ保

證人ノ連署ヲ缺キ手形貸附ニ在テハ或ハ保證人ノ連署ヲ缺キ或ハ債務者自己  
 宛ノ爲替手形ニ銀行ヲ受取人トシテ記スルモノアリ或ハ債務者振出銀行宛約  
 束手形ナル事アリ

## 手形貸附

手形貸附ハ物上擔保ノ有無ニヨリ之ヲ無擔保手形貸附ト擔保附手形貸附トニ  
 分ツ無擔保手形貸附ハ手形關係人ノ信用ニ依リ割引ノ方法ニヨリ融通スルモ  
 ノニシテ此ニ用フル手形ハ外見上普通ノ商業手形ト同シキカ如シト雖モ自己  
 (銀行)以外ノ手形關係人ノ間ニハ商取引關係ナク單ニ保證關係アルニ過キサル  
 モノ若クハ手形面ニ第三者ヲ手形關係人ニ加ヘサルモノナリ擔保附手形貸附  
 ハ融通チナス場合自衛上其他ノ必要ニヨリ手形ニ擔保品ヲ添ヘシメ單ニ手形  
 ノ信用ノミニ依ラス其擔保品ニモ重キヲ置キ割引融通スルモノヲ云フ

銀行取引ニ於ケル擔保ノ性質ハ債務不履行ノ場合ニ擔保品ヲ賣却シテ債權ニ  
 充當シ尙不足スル時ハ不足額ヲ債務者ニ請求シ得ヘク反之剩餘ヲ生スレハ之  
 ヲ擔保差入人ニ返還スヘキモノナリ而シテ擔保品ハ左ノ點ヲ顧慮シテ選擇ス  
 ヘキモノトス

擔保品選擇  
ノ要點

一、價格變動少ク特ニ下落ノ恐少キモノナル事  
 二、何時ニテモ賣却スル事ヲ得且之カタメニ手數ヲ要スル事少キモノナル事  
 三、保存ニ便利且容易ノモノナル事  
 四、専門ノ智識ヲ要スル事ナクシテ識別判斷シ得ルモノナル事  
 右ノ四要件ニ全然適合スルモノハ今日ノ社會ニ於テ甚少キモ擔保品ヲ選擇スルニ際シテハ此四要件ヲ標準トシナルヘク之ニ近キ物ヲ選擇スヘシ  
 今前記ノ要點ニ照シテ貸附金ノ擔保タルモノヲ個々ニ就テ觀察スレハ左ノ如シ

一、貴金屬 地金銀ハ價格ノ動搖少ク賣却スルニ容易ニシテ何時ニテモ自國貨幣ニ鑄造スル事ヲ得ヘク又保存ニ便利且容易ナルモ識別ニハ専門ノ智識ヲ要スルモノアリ又外國貨幣又ハ舊貨幣ノ如ク其品位既ニ明ニシテ識別困難ナラサルモノアリ而シテ識別容易ノモノハ之ヲ擔保トナスニ適當ナルモ識別困難ノモノニ在テハ不適當ナリトス又貴金屬ノ加工品ハ技術上ノ價值ニ重キヲ置カス其實質タル地金ノ價格ヲ標準トスヘキ事ハ勿論ナルモ此ル加工品ハ製造業者又ハ商人ノ手ニ存セスシテ多クハ需要者若

クハ之ニ類スル者ノ手中ニ存スルモノナレハ此ル擔保品ニ對シテ貸出ヲナスハ銀行本來ノ業務ニアラスシテ質屋ノ營業ニ屬スヘキモノナリ又金貨本位國ニ在テハ銀ハ價格動搖シ易ク自由鑄造ヲ許サレサルヲ以テ何時ニテモ之ヲ自國貨幣ニ鑄造スルコト能ハス從テ割引ノ擔保トシテハ遙ニ金ニ劣ルモノナリ

二、公債證書 國債ト地方債トアリ又外國債アリ地方債ハ國債ニ比シ其信用薄ク需要供給ノ一致セサル事アリテ之ヲ賣却スルニ稍困難ナリ外國債ハ之ヲ募集スル國ノ經濟財政上ノ狀況如何ニヨリ信用ニ厚薄アリ又需給ノ關係モ異ルニヨリ一概ニ之ヲ言フ事能ハス然レトモ公債證書ハ其利率一定シ發行者カ其債務ヲ履行セサルカ如キ事ハ殆ント想像シ難ク從テ他ニ比シ信用厚ク價格ノ變動比較的少ク且賣却スルニ容易ナレハ擔保品トシテハ大ニ適當ナルモノナリ然レトモ無記名式ノモノハ時ニ贓品或ハ紛失品ナルコトアリ又既ニ償還サル、コトニナリタルモノアリ漫然之ヲ擔保ニ取レハ後ニ至リ複雑ナル手數ヲ要スヘシ殊ニ國債ハ償還期後ノ利子ヲ受取レル時ハ償還ヲ受クヘキ元金中ヨリ其利子額ヲ控除サル、ヲ以テ即

償還期後ノ利子ハ支拂ハレサルヲ以テ既ニ償還期ニ入りタル公債ニ付テハ常ニ償還番號表ヲ調査シ且所有者ノ確實ナル者ニ限り擔保トナスヘシ  
 三、大藏省證券 後日國家ニ納附セラルヘキ歳入ヲ引當ニ一時國庫ノ不足ヲ補填センカ爲ニ發行セラル、モノニシテ其償還期限短キヲ以テ公債ト同シク確實ナル上ニ價格ノ變動スル事殆ントナク銀行ニ於テ資金ヲ要スレハ何時ニテモ日本銀行ニ買戻ヲ求メ得ヘケレハ資金ヲ固定スルノ恐ナク擔保トシテハ公債ニ優リ最適當ナルモノナリ

四、株券 動産擔保品中最廣ク且最普通ナルモノハ株券ナリ株券ハ大藏省證券又ハ國債證券ニ比シ之ヲ賣却スルニ多少困難ナルモノアルト之ヲ發行セシ會社自身ノ盛衰ト一般金融市場ノ狀況ト投機者ノ手心等ニヨリ價格ノ變動比較的多ク且株券ヲ擔保トナシ濫リニ貸出ヲナス時ハ泡沫會社ノ濫設ヲ助長シ投機ヲ獎勵スル恐アリ又一會社ノ株券ニ對シ多額ノ貸出ヲナサハ其會社事業ノ盛衰ノ銀行ノ死活ヲ制シ甚シキニ至リテハ終ニ銀行破綻ノ不幸ヲ招ク事アレハ確實ナル會社ノ株券ニシテ市場ニ廣ク賣買セラレ(從テ市價モ知リ易ク)價格ノ變動少ク且成ルヘクハ拂込義務ノ附帶セ

サルモノヲ選ミ擔保トスヘキナリ尤モ確實ナル會社ノ株券ニ於テ拂込義務ヲ有スルモノハ概シテ拂込ニヨリ其市價ヲ拂込タル金額以上ニ高メ擔保價格ノ割合ヲ低カラシムルモノナレハ如此會社ノ株券ヲ擔保トナスニ於テハ危險少キモ一時ノ市況ニヨリ好勢ヲ持シタル株券又ハ稍不確實ノ株券ニ在テハ拂込ノ爲ニ却テ其市價ヲ減シ甚シキニ至リテハ拂込ムヘキ株金ヲ銀行ヨリ融通スルニアラサレハ該株券ハ失權ニ歸シ貸出金額ヲ回收スル事能ハサル事アリ故ニ如何ハシキ會社ノ株券ニシテ未拂込額ヲ存スルモノニ對シテハ之ヲ擔保トセザルヲ可トス况ンヤ權利株ヲ擔保トスルハ尙多クノ危險ヲ増スモノナリ

五、社債券 株券ト同シク株式會社ノ發行スル所ナリト雖モ社債ハ初ヨリ其利率一定シ時價ノ高低少ク且社債券所有者ハ株主ニ先シテ會社ノ財産ニ對シ優先權ヲ有スルモノナルカ故ニ之ヲ發行スル會社ニシテ確實ナルモノナランニハ株券ニ優ルモノナリ

六、手形 之ヲ擔保トシテ銀行ヨリ融通ヲ受ケントスル者固ヨリ多カラスト雖モ之ヲ擔保ニ供セントスル者アラハ之ヲ割引スルト同一ノ注意ヲ以テ

該手形ヲ擔保トセハ確實ナルモノナリ

七、商品 市價ノ變動少カラス之カ處分ヲ要スル場合ニハ多クハ市價下落シ容易ニ賣却スル事能ハス又保存ノタメ費用ヲ要シ且滅失毀損ノ恐アリ又常ニ之ヲ取扱フ者ニアラサレハ其品質ヲ識別スル事難ク擔保トシテ適當ノモノニアラサルナリ然レトモ取引先トノ關係上之ヲ擔保トスル事ヲ謝絶スル能ハサルコトアリ又經濟上ノ便益發達ヲ圖ルタメニモ之ヲ排スルコト能ハサルコトアリ故ニ之ヲ擔保トスル場合ニハ成ルヘク市場廣ク需要ニ期節ナク價格ノ變動少ク滅失毀損ノ患少ク且製造業者若クハ商人ノ手ニ在ルモノニシテ加工品ヨリハ原料品ヲ選ミ贅澤品又ハ一時的流行性ノ品ヲ避ケ又農産物(歲月ヲ經過スルニ從ヒ變質又ハ品傷ミヲ生スル加工品亦之ニ同シ)ノ如ク產出年次ニヨリ品質ニ甚シキ相違ヲ生シ賣行ノ善惡ヲ生スルモノニ在テハ特別ノ場合ヲ除キテハ產出年次ノ古キモノヲ避ケ倉庫券ニヨリ銘柄品質產出年次等ヲ容易ニ知り得ルモノ、外ハ見本ヲ徵シ當業者ノ鑑定ヲ經ルヲ可トス單ニ火災保險金額ヲ標準ニナシテ貸出額ヲ決定スルハ信用アルモノニ對スル外爲サ、ルヲ可トス又擔保トセシ商

品ニハ火災保險ヲ附セシムルヲ要シ之ヲ擔保ニ受入タル時ハ之ヲ保管スル倉庫營業者ニ對シ質權設定ノ通知ヲナシ第三者ニ對抗シ得ル様ナシ置クヘシ

八、不動産 家屋ハ確實ノ點ニ於テ遙ニ土地ニ及ハサルモ土地ニ至リテハ天災地變ノ如キ異常ナル出來事アルニアラサレハ其價格ヲ全滅スル事ナク却テ人口増加シ社會進步スルニ從ツテ其價格騰貴スヘク此ル不動産ヲ擔保トスル貸出ハ他ノ物件ヲ擔保トスルヨリモ遙ニ安全確實ナルモノナリ然レトモ不動産ハ正確ニ其價格ヲ知ル事難キト之ヲ管理スル事容易ナラス一旦之ヲ擔保トシテ資金ヲ融通シ其返済ヲ受クルコト能ハサル時急速ニ之ヲ處分セントセハ著ルシク其價ヲ低下スルニアラサレハ其目的ヲ達スル事能ハス從テ資金ヲ固定セシムル恐アリ又不動産ヲ擔保トシテ融通スル資金ハ短期資金ノ必要ニ基ク事少ク多クハ長期ニ亘ルモノナレハ縱令如何ニ確實ナリト雖モ自己所有ノ資金又ハ速ニ返済スルヲ要セサル資金ヲ以テスルニアラサレハ妄リニ不動産ニ其資金ヲ融通スヘキニアラサルナリ

九預金證書 自行發行ノ預金證書ニシテ定メラレタル期日又ハ一定ノ豫告  
 期間後若クハ預金證書呈示ノ時ニ於テ預金證書面金額ノ全部ヲ一時ニ拂  
 戻サル、モノナルヲ要ス通帳ニヨリ受拂スルモノ又ハ日々殘高ノ異動ス  
 ルモノニ在テハ貸附ノ金額常ニ現存スルニアラス時トシテ貸附ノ金額ヨ  
 リ少額ナル事アリ又現存金額常ニ貸附金額ヨリ多キモノト雖モ預金者ノ  
 任意ニテ何時ニテモ金額ヲ減少スルコトヲ得ルモノニ在テハ擔保トシテ  
 ハ何等ノ價值ナキナリ又預金證書ハ概テ質入ヲ禁スルヲ以テ他銀行發行  
 ノ預金證書ヲ擔保トスルモ質權ヲ實行スルニ由ナシ之ニ反シ自行發行ノ  
 モノヲ擔保トスルニ於テハ債權ノ回收ヲ要スル時該預金ト相殺シ得ヘキ  
 證書ヲ預金者ヨリ差入レシメ置ケハ之ニヨリ自行ノ有スル債權ニシテ期  
 日到來セルモノハ何時ニテモ相殺シ得ヘク即之レカ處分ニ手數ヲ要セス  
 保存亦容易ニシテ且専門ノ智識ヲ要セサレハ擔保トシテハ是亦最適當ナ  
 ルモノナリ

擔保付手形  
 貸附ニ關ス  
 ル注意

擔保付手形貸附ハ決シテ擔保品ノミニ重キヲ置カス債務者ノ資産信用ヲ考慮  
 シ寧ロ擔保品ヲ處分セスシテ手形金ノ返済ヲ得ンコトニ注意スヘキナリ特ニ  
 商品擔保ノ場合ニ於テ然リトス是擔保品ハ萬一ノ場合ニ備フヘキモノニシテ  
 債務者カ債務ノ履行ヲナサマレハトテ直ニ其擔保品ヲ處分シ手形金ノ支拂ニ  
 充テシムルカ如キ事アラハ債務者ハ先ツ之カタノニ感情ヲ害シ且種々ナル苦  
 情ト手數トヲ要シ結局銀行ノ利益トナル所少キヲ以テナリ又銀行ハ如何ナル  
 場合ニ於テモ擔保品市價ノ全部ニ達スル貸附ヲナスヘキモノニアラス貸附金  
 額ト擔保品市價トノ割合即擔保價格ノ割合ハ擔保品ノ種類ニ依リテ同一ナリ  
 トイフ事能ハサルモ常ニ一定ノ開キ(二割三割等ノ)ヲ保チ置キ擔保品ノ處分ニ  
 依リテ手形金ノ全部及之ニ對スル利子並ニ擔保品ノ處分ヨリ生スル種々ノ費  
 用ヲ償フニ足ルモノナラサルヘカラス殊ニ擔保品ハ社會又ハ市場ノ狀況如何  
 ニヨリ其價格動搖スルノミナラス擔保品ノ處分ヲ要スル時ハ多クハ擔保品ノ  
 處分困難ニシテ其價下落セル時ナルヘク強テ賣却セントセハ一層其價ヲ低落  
 セシムルモノナレハ充分ノ餘裕ヲ見込ミ融通セサルヘカラス若又擔保品ノ市  
 價下落ノ場合ニ銀行ハ他ノ擔保品ヲ追加差入レシムルノ權利ヲ豫シメ留保シ  
 置クヘキコトハ勿論市價ノ變動等ヨリ生スル危險ヲ減スルタメ一ノ取引ニ對  
 シ差入レシムル擔保品ハ成ルヘク其種類ヲ多クスル事肝要ナリ而シテ擔保價

格ノ割合宜シキヲ得サレハ時ニ過當ノ貸出ヲナシ回收スヘカラサルニ至ルハク之ニ反シ低キニ過キンカ取引先ノ意ヲ滿スコト難ク爲ニ取引ノ成立セサル事アリ然リト雖モ擔保トスヘキ品種ヲ取扱者ノ意見ノマヽニ取捨セシムレハ自然ニ品種ノ統一ヲ缺キ危險ナルモノモ之ヲ確實ナルモノトシテ擔保トスルコトアルヘク又確實ナル物モ甲ナル取扱者ハ之ヲ可トスルニ乙ナル取扱者ハ之ヲ否トシ或ハ同一品種ニ對スル擔保價格ノ割合ヲ異ニスル事アラハ内部ノ整理ハ行ヒ難ク取引先モ迷惑少カラサルヲ以テ凡ソ擔保トシテ受入ルヘキ品種ヲ豫シメ指定シ又其擔保價格ノ割合ヲモ定メ置カハ前記ノ不統一ヲ除キ取扱者並ニ取引先共少カラサル利便ヲ得ヘシ而シテ如此擔保品ノ品種及其擔保價格ノ割合ヲ定ムト雖モ如何ナル場合ニモ之ヲ墨守シテ貸附ヲ行フモノニアラス債務者ノ信用ト擔保品ノ種類トニヨリテハ此指定ヲ超越シテ貸附ヲナスコトナキニアラス此場合ニハ貸附ノ任ニ當ルモノハ其許サレタル權限ニ於テ處理シ其以上ハ重役ノ承認ヲ求ムヘキモノトス

尙又銀行カ擔保品ヲ差入レシムルニ方リテハ法律上ノ關係ニ注意スル事亦必要ニシテ擔保品ヲ授受スル場合ニハ民法並ニ商法等ノ規定ヲ充分研究スヘキ

ナリ例ヘハ普通擔保品トスルモノ、内公債證書又ハ株券ニシテ無記名式ノモノハ之ヲ授受スルニ特別ノ手續ヲ要セスト雖モ記名式ノモノハ處分ヲナス場合ニ名義付替ヲ要スルヲ以テ之カ委任狀ヲ添付セサルヘカラス又此委任狀ハ特定ノ人又ハ其他ノ者ヲシテ使用セシムルノ必要アルヲ以テ受任者ノ姓名ヲ記入セサル白地委任狀トナスヲ普通トシ親權者又ハ後見人ノ名アル委任狀ニハ親族會ノ同意書ヲ要シ妻名義ノ委任狀ニハ夫ノ承認ヲ付記スル事ヲ要ス又債務者ノタメ擔保品ヲ提供シタル擔保品所有者ハ勿論時ニハ債務者自身カ擔保品ヲ提供スル場合ニ於テモ承諾證書ヲ差入レシムルヲ普通トス元來承諾證書ハ第三者カ債務者ノタメ自己所有ノ物件ヲ擔保ニ提供スル事ヲ承諾セル證書ニシテ如何ナル者カ擔保品ヲ所持スルモ其擔保品ヲ自由ニ他ニ質入スル事ヲ得セシメ債務者ヨリ提供シタル擔保品ヲ以テ銀行カ更ニ擔保トシテ他ニ提供スルトモ所有者ニ於テ毫モ異議ナキ様ニナシ置クヲ普通トス又記名國債證券ヲ擔保トスル場合ニハ其質權ヲ確實ナラシムルタメ日本銀行ノ帳簿ニ登錄ヲ求メ記名社債券ヲ擔保トスル場合ニハ會社ノ帳簿ニ質權設定ノ記入ヲ請求スルヲ要ス又倉庫券ニ對シ貸附ヲナシタル時ハ倉庫券發行者ニ對シ質權設定



ノ通知ヲナスヲ要ス尙又不動産ヲ擔保トスル場合ニハ第三者ニ對抗スルタメ  
 抵當權ノ設定登記ヲナスカ如キ其他擔保品ヲ差入レシムル時擔保品差入證ヲ  
 共ニ必ス差入レシムルカ如キ孰レモ必要ナル事ナリ

### 手形貸附割 引歩合

手形貸附ハ擔保ノ有無ニ關セス融通手形ナルヲ以テ當所拂商業手形ノ割引歩  
 合ヨリ若干高率ナルヘキ事前既ニ記セルカ如シ而シテ擔保ノ有無又ハ擔保品  
 ノ種類ニ依リ或ハ債務者ノ信用ニヨリ又其歩合ヲ異ニスル事勿論ナリ概シテ  
 信用比較的乏シキ者ニ無擔保ニテ融通スル場合ニハ割引歩合甚高ク信用充分  
 ナル者へ第一流ノ擔保品ヲ以テ融通スル場合ニハ割引歩合甚低キナリ即擔保  
 付手形貸附ハ商業手形ノ如ク轉帳流通スヘキ手形ニアラサルヲ以テ擔保品ヲ  
 添付シ支拂ノ確實ヲ保證スルモノナレハ之ヲ他ニ再割引スルコト能ハサルハ  
 論ナシ且其性質融通ヲ目的トシ商業手形ノ如ク期日回收確實ナラス若一回收  
 困難ナルニ方テハ擔保品ヲ處分セサルヘカラサルモ之ヲ處分スルニハ種々ノ  
 困難ト相當ノ時日トヲ要シ又擔保品價格下落ノ虞アリ加之擔保品ノ授受及保  
 管ニハ手數ト費用トヲ要シ又大ナル危険ヲ伴フモノナレハ商業手形ノ割引歩  
 合ヨリモ高率ナルヲ普通トス而シテ擔保付手形貸付ハ擔保品ヲ有スルヲ以テ

### 貸付ノ手續

融通手形ヨリモ安全ナルト擔保品ハ其種類ニ依リ之ヲ他ニ轉賣シ得ルノ便ア  
 ルヲ以テ擔保品ノ種類ニ依リテハ普通商業手形ノ割引歩合ト軒輊ナキモノア  
 リ  
 無擔保ノ手形貸付ノ手續ハ手形割引ノ手續ニ異ルコトナク唯手形カ商業手形  
 ノ形式ヲ具ヘスシテ融通ナルト手形ノ支拂場所ヲ多クハ貸附ヲナス銀行ニ指  
 定セシメ然ラサルモ貸附ヲナス銀行所在地ノ或場所ヲ指定シタル當所拂手形  
 ナルトノ相違アルノミ擔保付ノ手形貸付ハ割引ノ手續ニ於テ無擔保ノ手形貸  
 附ニ異ルコトナキモ手形ニ擔保品ヲ添フルヲ以テ手形ト擔保品トノ關係及擔  
 保品ノ受拂ニ就テ無擔保ノ手形貸付ト其手續ヲ異ニセリ  
 擔保付手形貸付ノ方法ニヨリ貸附クヘキ金額ハ前既ニ記セルカ如ク擔保品ノ  
 市價ヨリ若干少額ナルヘキモノニシテ其差ハ擔保品ノ不良ナルニ從ヒ益大キ  
 ク普通ハ市價ヨリ二三割少ク如何ニ多ク貸出スト雖モ擔保品ノ市價ヲ超ユヘ  
 カラサルナリ若此額ヲ超ヘ貸出テナス場合ニハ該超過額ハ別ニ無擔保手形貸  
 附ノ方法ニヨリ融通スヘキモノナリ而シテ擔保付手形貸付ヲナスニハ先ツ擔  
 保品カ指定品ナルヤ將タ指定外ナルヤヲ調ヘ次ニ其市價ヲ調査シ之ニ對スル

手形及附屬  
書類ノ整理  
保管

貸出要求額ノ當否及之ニ應シ得ルヤ否ヤヲ調査シ然ル後貸出額ヲ決定シ無擔保手形貸附ノ如ク手形ヲ作成セシメ支拂場所ヲ貸附ヲナス銀行ニ指定セシメ之ニ擔保品差入證ト擔保品トヲ添ヘテ差出サシメ尙擔保品中記名ノ物件ニ付テハ各記名者ノ委任狀及承諾證之ヲ要スルモノハヲ求メ單ニ引渡ノミニ依リテ讓渡セラル、物件ニ付テハ或ハ附屬利札ノ數ヲ調ヘテ其儘引渡ヲ受ケ割引ノ手續ヲナシ割引殘金ハ手形割引ノ手續ニヨリ支拂フモノトス

手形貸附ノ手形ハ無擔保ト擔保付トニ分チ各ヲ割引手形同様期日順ニナシ期日ノ近キモノヲ上部ニ遠キモノヲ下部ニナシ日々取組タル手形ヲ整理シ割引手形トモ區別ヲ設ケテ成ルヘクハ一ノ箱ニ納メテ保管スヘシ而シテ日々取組タル手形貸附ノ口數及金額ハ無擔保ト擔保付トニ區分シ之ヲ貸附金受拂帳ノ無擔保手形貸附擔保付手形貸附ノ各口座ニ記入シ此等ヲ回收シタル時亦之ヲ記入シ日々ノ終ニ於ケル現在殘高ヲ求メ之ニヨリ手許ニ保管セル手形ノ現在高ニ照合スル等ノ事ハ總テ割引手形ニ同シ

債務者ヨリ擔保品ニ添ヘ差入タル擔保品差入證又ハ預金相殺承諾證ハ手形一通毎ニ差入ル、モノハ貸附番號順ニ然ラサルモノハ差入人ノいろは順ニ整理

## 回收手續

保管スヘシ又之ト共ニ差入タル擔保品ニ附屬ノ委任狀承諾證ハ擔保品ニ照合ノ上之ヲ擔保品ヨリ分離シ貸附ノ係ニ於テ貸附番號順ニ整理保管スヘシ此他保證書親族會同意書等手形貸附ニ伴フ必要ナル證書ハ是亦差入人ノいろは順ニ整理シテ別ニ保管スヘシ

手形貸附金回收ノ手續ハ當所割引手形回收ノ手續ニ準シ取扱フモノトス即無擔保手形貸附ニ在テハ當所割引手形回收ノ手續ニ準シテ取扱ヒ擔保付手形貸附ニ在テハ假令支拂場所ヲ貸附ヲナス銀行ニ指定セシメアルト雖モ之ヲ本人ノ當座勘定ヨリ引落シ決済スヘキ事ハ無擔保手形ト異リ擔保品ノ附屬スルタメ却テ混亂ヲ生スルノ恐アルヲ以テ之ヲ爲サズ本人ノ來行ヲ俟テ手續ヲナスヲ可トス尤モ擔保品ノ價格急激ニ低落シ債權ニ不安ヲ感シ數日間徒ニ本人ノ來行ヲ待難ク且他方ニ本人ノ當座勘定ヲ引出サル、恐アル場合ニ於テハ豫シメ本人ト契約セル條項ニヨリ之ヲ本人ノ當座勘定ト振替決済スヘキ事ハ論ナキ所ナリ

手形貸附ニ於テハ債務者手許ノ都合ニヨリ貸附タル金ノ一部又ハ全部ヲ期日前返済セラル、事アリ元來一旦割引シタル手形ハ其手形ヲ買取リシモノナレ

## 期內返金

ハ證書貸付ト異リ期日迄一部又ハ全部ノ返金ヲ拒ムコトヲ得ヘシト雖モ金融ヲ業トスル銀行ニ於テ餘リニ之ヲ窮屈ニナス時ハ却テ金融ノ疏通ヲ缺キ營業上面白カラサルヲ以テ特殊ノ事情アルモノ、外ハ概テ之ニ應スト雖モ無擔保ノ手形貸付ニ於テ一部ノ返金ヲ受クル事ニナセハ屢々之レカ依頼ヲ受ケ手形整理上好マシカラサルヲ以テ多クハ之ヲ拒絶シ單ニ全部ノ返金ハ之ヲ受クル事ニナセリ又擔保付手形貸付ニ於テハ擔保品ノ一部移動又ハ市價ノ變動ニ伴ヒ一部ノ返金ハ免レ難キヲ以テ該返金ヲ預金手形又ハ別段預金ニテ整理シ全部返金ノ時又ハ期日ニ於テ該預金手形又ハ別段預金ヲ拂出シ手形金ヲ決済スルモノトス而シテ期日前一部又ハ全部ノ返金ヲ受クレハ之ニ對シ相當ノ利息ヲ拂戻スヲ普通トス其額ハ割引シタル時ノ歩合ヨリ若干低キ歩合ニテ返金ノ翌日ヨリ期日迄ヲ計算シタル利息トス又之ニ反シ期日ヨリ若干日遅クレテ返金ヲ受クル事アリ此場合ニハ期日ノ翌日ヨリ返金ヲ受クル日迄割引當時ノ歩合又ハ現時ノ歩合若クハ其以上ノ歩合ヲ以テ利息ヲ計算シ手形金ノ返金ヲ受クルト共ニ延滞利息ノ支拂ヲモ受クヘキモノトス元來割引ノ方策トシテハ期日確實ニ返金セシムルカ然ラサレハ假令短日月ト雖モ繼續ノ手續ヲナサシメ

期日延滞

期內返金ノ時裏書ノ形式

繼續

在再支拂ヲ遷延セシメサルハ何レノ方面ヨリ觀察スルモ必要ナル事トス是故ニ延滞利息ハ普通ノ割引歩合ヨリ大ニ高率ニスヘキモノナリト雖モ之ヲ營業ノ上ヨリ觀レハ回收シタル資金ハ再ヒ之ヲ貸出シ收利ヲ圖ルヘキモノナレハ延滞ノ爲ニ大ナル損害ヲ破ムルニアラサル限リ延滞ニ對シ殊ニ重キ利率ヲ債務者ニ課スルノ要ナク結局現時ノ利率ヲ下ラサル限度ヲ於テ延滞利息ヲ收受スル事ヲ得レハ可ナルナリ而シテ無擔保ナルト擔保付トヲ問ハス期日前手形貸付金ノ返金ヲ受クルトキハ手形金受取ノ裏書ヲナサス必ス讓渡裏書ヲナシ尙手形上ノ責任ヲ負擔セサル旨ヲ附記スヘシ是債務者カ其後ニ於テ破産セシ場合ニ期限前ノ辨濟ヲ無効トセラル、ヲ防クカ爲ナリ  
割引手形ハ其性質上期日必ス回收サルヘキモノナリト雖モ手形貸付ハ形式上手形ヲ用フルモ其實質ハ普通ノ證書貸付ト異ル所ナキヲ以テ期日回收シ得ヘキヤ否ヤハ假令豫シメ期日ヲ定ムト雖モ其時ニ至ラサレハ之ヲ知ル事難ク又多クハ期日ニ於テ一二回繼續スルヲ普通トス而シテ手形貸付ノ繼續ハ期日若クハ期日ノ前後ニ於テ新手形ヲ發行セシメテ之ヲ割引シ此資金ヲ以テ舊手形ヲ決済シ新手形ノ割引料ハ現金ヲ以テ納メシムルカ又ハ他ノ勘定ト振替スヘ

キモノトスルモ或銀行ニ於テハ整理上ノ都合ニ依リ新手形ヲ割引シテ之ヲ本人ノ當座勘定ニ振替入金シ舊手形ニ就テハ別ニ現金又ハ小切手ヲ以テ決済ヒシムル事ニナセルモノアリ而シテ又期日前ニ於テ繼續ノ手續ヲナス時ハ舊手形ニ對シテハ期日前返金ノ手續ヲナシ(割戻歩合ハ新手形ノ割引歩合ニヨルヲ可トス)期日後ニ於テ繼續ノ手續ヲナス時ハ舊手形ニ付テハ延滞ノ手續ヲナスヘキモノトス

擔保品ノ受拂

擔保品ヲ受入ル、ニハ擔保品ノ眞偽ヲ鑑定シ効力ノ有無品質ノ良否ヲ調ヘ其數量ヲ檢スヘキハ勿論債券又ハ無記名株券ニ在テハ受入ノ時以後ニ於テ拂渡ヲ受クヘキ利賦札又ハ配當券ノ完全ニ附屬スルヤ否ヤ償還當籤債券ニアラサルヤ否ヤ記名ノ債券又ハ株券ニ在テハ右ノ外委任狀及承諾證ノ有無並ニ其正否無能力者名義ノ債券又ハ株券ニ在テハ之ヲ擔保トシテ他ニ提供スルニ付夫々法定ノ手續ヲ履行セルヤ否ヤ倉庫券ニ在テハ質入又ハ讓渡ノ手續ヲナセルヤ否ヤ不動産ニ在テハ抵當權設定ニ要スル書類ノ完備セルヤ否ヤ預金證書ニ在テハ相殺承諾證其他書類ノ添附ノ有無ヲ調査シ然ル後之ヲ受入レ速ニ保管品傳票ヲ作り係員及支配人捺印ノ上之ニ擔保品ヲ添ヘ保管係ニ廻附シ同傳票

ニ同係員ノ受取印ヲ受ケテ之ヲ貸附ノ係ニ於テ貸附番號順ニ整理保管スヘキモノトス

差入ヲ受タル擔保品ノ一部又ハ全部ノ拂出請求ヲ受タル時ハ該擔保品ノ擔保價格ニ相當スル金額若クハ其以上ノ金額ヲ提供セシメ受入濟ノ後保管品傳票ニ部長ノ拂出承認ノ印ヲ得テ保管係ニ廻附シ同係ヨリ擔保品ノ拂出ヲ受ケ(擔保品ニ添ヘテ返戻セラレタル保管品傳票ハ別ニ整理保存スル事)貸附ノ係ニ保管セル返戻擔保品、附屬書類ト共ニ差入人ニ返附スルモノトス手形金全部ノ辨濟ヲ受ケ擔保品ヲ拂出ス場合亦之ニ準ス又差入ヲ受タル擔保品ノ一部又ハ全部ノ交換請求ヲ受タル時ハ交換スヘキ擔保品ノ擔保價格ト交換受入ルヘキ擔保品カ指定品ナルヤ否ヤヲ調査シ新擔保品カ指定品ニシテ且其擔保價格カ手形金額以上ナル時ハ之ヲ承諾シ交換拂出ノ擔保品ハ拂出ノ手續ヲナシ交換受入ノ擔保品ハ受入ノ手續ヲナスモノトス而シテ擔保品ノ交換又ハ一部返戻ノ時ニ擔保品交換請求書ヲ作ラシムルハ正當ナル手續トス

擔保品ヲ受入タル時ハ普通ハ擔保品受取證ヲ作り之ヲ差入人ニ交附シ爾後擔保品ノ返戻又ハ交換ノ都度之ヲ差出サシメ擔保品ノ殘レルモノアル時ハ受取

證ニ裏書スルカ若クハ更ニ證書ヲ書替ヘ差入人ニ交付スルモノトス而シテ擔保品ノ出入頻繁ナルカ或ハ口數多キモノハ證書ノ代リニ通帳ヲ發行シ之ニ受拂ヲ記載スル事アリ

#### 證書貸附

手形以外ノ證書ニヨリ資金ヲ貸附ケ後日利息ヲ受取ルヘキ貸附金ナリ手形貸附ハ手形成立ノ事情ニ於テ割引手形ト異ルモ資金融通ノ方法及之レカ回收ノ手續ニ於テハ割引手形ト異ラス即從來手續上又ハ外觀上ノ區分ニ從ヒテ融通手形又ハ擔保付手形ノ割引ト稱セシモノヲ法令ニヨリ資金ノ性質上ヨリ觀察シ此種ノ貸出ヲ手形割引ヨリ分離シ同性質手續上又ハ外觀上ノ相違アリト雖モナル貸附金ニ加ヘ從來ノ貸附金ヲ證書貸附ト稱シ新ニ加ヘタル割引ノ變形ハ手形貸附ト稱スルニ至リタルモノナリ

#### 證書貸附ハ漸減ノ傾向

貸附金ハ前既ニ記セシカ如ク其性質上將來ノ生産ニ投セララル、モノナルヲ以テ新開地又ハ新事業勃興ノ際ニハ貸附金殊ニ證書貸附多カルヘキナリ然ルニ印紙税ノ關係ヨリ此種貸附金ハ都鄙ヲ通シ年々口數ト金額トヲ減シ現今ニ於テハ交通不便ノ地ナルカ又ハ事業ノ成否全ク豫見シ難ク長期貸附ヲ要スルカ

如キ場合ニアラサレハ之ヲ行ハス又之ニヨリ借入レントスル者ナキニ至リ新開地タルト否ト新事業勃興ノ際ナルト否トニ關セス何レモ手形貸附ニヨリ資金ノ需要供給ヲナシツ、アリテ當分此趨勢ハ變化セサルモノ、如シ倉庫券ニ對シ貸出ヲナスニハ倉庫券ニ質權事項ヲ記入シ之ヲ質權者ニ提供セシメ證書貸附ノ手續ニ依リ資金ノ供給ヲナシ得ヘシト雖モ質權設定者ハ多クハ此方法ヲ採ルヲ好マサルカ如シ是質權事項ヲ倉庫證券ニ記入スレハ後日券面ノ貨物ヲ賣渡スニ不利ヲ蒙ル事多キヲ以テ質權者ノ強制アルニアラサレハ此記載ヲ省キ質權設定ノ表面上ノ手續ヲナサスシテ其儘之ヲ質權者ニ提供シ之ヲ見返リトシテ別ニ手形ヲ振出し手形貸附ニヨリ融通ヲ受ケントスルト又金利下落ノ際ニ於テ質權設定中同一歩合ニテ利息ヲ支拂フノ不利ヲ避ケ短期手形ニヨリ融通ヲ受ケ金利下落ノ利益ヲ享ケントスルヲ以テナリ是故ニ將來商業ノ發達ニ伴ヒ商品擔保ノ貸出ヲ増加スヘキ趨勢アリト雖モ之カタメニ證書貸付ノ口數又ハ金額ヲ増加スルニアラスシテ寧ロ手形貸附ノ口數及金額ヲ増加スルニ至ルヘキナリ

不動産擔保ノ貸出ハ多クハ其回收ニ長日月ヲ要スルモノナレハ債務者ハ努メ

テ長期借入ノ契約ヲ希望スルモ商業銀行トシテハ之ヲ爲シ難ク假令數期間融通ヲナス覺悟ナリト雖モ最初ヨリ其期ノ末ニ至ルマデ貸附ヲナスシテ先ツ短期融通ヲナシ期日ニ於テ當時ノ金利ニヨリ短期繼續貸出ヲナス事ハ銀行經營上必要ナル事ニシテ此點ヨリ觀ルモ不動産擔保ノ貸出ハ證書貸付ノ形式ヲ採ラスシテ寧ロ不動産ヲ見返トシテ手形貸附ノ形式ヲ採ルヲ可トスルナリ此等ノ事情ヨリ證書貸附ハ漸次其口數及金額ヲ減少シツ、アルナリ然レトモ保證ノ意味ヲ以テ手形ニ裏書人ヲ設ケテ手形貸附ヲナシタル時手形法上ノ利益ヲ保全センニハ期日夫々法定ノ手續ヲ要シ少シノ懈怠モ許サ、ルナリ是ヲ以テ此等ノ手續ニ慣レサル者ニ對シ貸出ヲナスニハ不得止證書貸附ノ方法ニ依ルヘキナリ

## 貸附ノ手續

證書貸附ニモ無擔保ト擔保附トアリ又保證人ヲ設ケシムルモノト然ラサルモノトアリ無擔保ノ證書貸附ハ概テ保證人ヲ設ケ擔保附證書貸附ハ保證人ヲ設ケサルモノ屢々アリ債權證書ハ貸出ヲナス銀行ニ於テ定メタル借入金證書ヲ用フルモノアリ又公止證書ヲ用フルモノアリ普通ハ無擔保ノ證書貸附ニハ多クハ執行文ヲ附記スル公正證書ヲ用ヒ擔保附ニハ銀行ニテ定メタル借入金證

書ヲ用フルカ如シ而シテ無擔保證書貸附ノ申込ヲ受タル時ハ手形貸附ト同シク債務者及保證人ノ信用ヲ調査シ安全ト認ムルモノニ限り債務者及保證人ノ印鑑ヲ求メ證書ヲ作ラシメ保證人アルモノハ保證人ニ連署セシメ總テノ調印ヲ印鑑ニ照合シ然ル後傳票ヲ作り證書面ノ金額ヲ本人ニ交付スルモノニシテ之ヲ交付スルニハ成ルヘクハ之ヲ本人ノ當座勘定ニ振替フルヲ可トスルモノヲ爲シ難キ場合ニハ割引ノ場合ニ準シ本人ニ對シ現金支拂ノ手續ヲ履ムモノトス又擔保附證書貸附ニ在テハ證書ニ擔保品ヲ記入セシメ登記ヲ要スルモノハ之ヲ登記シ然ラサルモノハ擔保附手形貸附ニ準シテ擔保品ヲ調査シテ受入レ然ル後無擔保證書貸附ノ手續ニ準シテ貸附金ヲ交付スルノ手續ヲナスモノトス

## 貸附ノ期間

貸附ノ期間ハ無擔保タルト擔保附タルトト問ハス商業銀行ニ在テハ普通ハ三ヶ月以内トナシ(抵當權設定登記ヲナシ長期貸出ヲナスモノハ例外トス)期日回收困難ナルモノハ更ニ三ヶ月以内ノ(長期融通ノ特約アルモノハ其特約ニ依ルモノトス)延期證書ヲ差入レシメテ延期ヲナシ數回ノ延期ニテ記帳ニ困難ナル時ハ更ニ證書ヲ更新シ容易ニ回收シ難キモノハ不得止法律上ノ手續ヲナスモ

貸附金ノ利息

貸附金ノ返済

經濟上ノ利益

27.

ノトス

貸附金利息ハ最初貸出ノ日ヨリ返金ノ日マテヲ計算シ期間延長ノモノハ最初貸出ノ日ヨリ最初ノ期日マデヲ計算シ再度延長ノモノハ最初ノ期日ノ翌日ヨリ再度ノ期日マテヲ計算シ爾後此方法ニ依リ利息ヲ計算シ之ヲ受領シタル後ニ於テ期間延長ノ手續ヲナシ抵當權ノ登記ヲナシタルモノハ期間延長ノ都度其登記ヲナシ然ラサルモノハ延期證書ヲ差入シムルモノトス

貸附金ノ返済ヲ受タル時ハ利息ヲ計算シ元金及利息收納ニ關スル傳票ヲ作り然ル後受入レ證書ハ債務者ニ返附シ擔保品アルモノハ擔保品受取證ト引換ニ之ヲ返附シ登記済ノモノハ債務者ノ請求ニ從ヒ抵當權抹消ニ關スル登記委任狀ニ調印シテ債務者ニ交附スヘシ而シテ擔保品ノ受拂手續ニ付テハ手形貸附ニ準シテ可ナリ

第三節 荷附爲替手形

荷附爲替手形ハ其性質ヨリ觀レハ擔保附他所割引手形ニシテ荷附爲替手形振出人ガ他所ニ在ル宛名人ニ對シ送りタル物品ヲ宛名人ニ引渡前荷物代金ノ一部又ハ全部ヲ受取ルタメ手形ヲ振出シ之ニ擔保物件即有價證券ハ現物ヲ商品ハ輸送ノ證券陸送ニ在テハ貨物引換證船送ニ在テハ船荷證券及必要アラハ保險證券仕切書ヲ之ニ添付シ銀行ニ割引ヲ求メ銀行之ニ應シタル時ハ荷附爲替手形トシテ之ヲ取扱ヒ他所割引手形ト同一ノ手續ニヨリ之ヲ取立テ擔保物件ヲ手形宛名人ニ交附シ此勘定ヲ完結スルモノナレハ荷附爲替手形ノ取組ハ商品ヲ賣リタル者ノ爲ニ金融ヲ圖リ賣渡人ノ爲ニ賣渡品ノ直接又ハ間接ノ保管者トナリ賣買當事者間ノ意思疏通ヲ圖リ且代金取立ヲナシ賣リタル商品ヲ宛名人ニ引渡ス手續ヲナシ賣買當事者間ニ未タ信用取引行ハレス取引圓滑ナラサル場合ニ於テ荷附爲替手形ノ取組ハ賣買當事者間ニ大ナル便利ヲ與ヘ隔地者間ノ商取引ヲ圓滑ニシ之ヲ發達セシムルニ大ナル効益アルモノトス而シテ又之ヲ銀行ノ側ヨリ觀レハ荷附爲替手形ハ主トシテ商品輸送中ノ金融ヲ圖ルニ在ルヲ以テ擔保品タルヘキ商品ハ擔保附手形貸附ノ擔保品ノ如ク靜止ノ狀態ニ在ルニアラスシテ運動ノ狀態ニ在ルモノナレハ輸送途中ノ危險アリ運送業者ニ託シ輸送スルモノニ對シテハ多クハ保險ヲ附スルモ郵便ニ託スルモノニ在テハ之ヲ附セサルヲ普通トス又之ヲ輸送スルニ際シ一々荷物ノ内容ヲ調

投資物件トシテノ觀察

查シ得ヘキモノト然ラサルモノトアリ運送業者ニ託シ輸送スルモノニ在テハ運送業者ト雖モ其内容ヲ知ラサルモノ殆ント全部ニシテ唯出荷主ノ言ヲ信シテ取扱フニ過キサレハ此等ノ運送業者ノ作リタル引換證又ハ船荷證券ハ唯其外觀ニ於テ符合ヲ認ムルノミニシテ内容ニ至テハ更ニ之ヲ知ルコト能ハサルナリ故ニ取組依頼人ノ不正行爲ニヨリ往々損害ヲ被ムルノ危険アリ加之金融緊縮シ貸出ニ付テ警戒ヲ加ヘ稍長期ニ亘ルモノヲ避クル時或ハ株式相場昂騰ノ見込アル時ニ於テ相場ノ思惑ヲ試ミ頭金ナクシテ株式ヲ買附ケ互ニ氣脈ヲ通セル隔地者間ニ荷附爲替手形ノ受渡ヲナシテ一時ヲ凌キ一朝暴落スルコトアレハ累ヲ銀行ニ及ホスモノアリ又之ヲ取立ツルニ際シ出荷主又ハ荷受人ノ惡意又ハ過失ニヨリ或ハ第三者ノ行爲ニヨリ速ニ其運ニ至ラス往復交渉ヲ要スルモノ屢々アリテ煩勞多キ事他ノ貸出ノ比ニアラス尙又仕向地ニヨリテハ爲替取引先ニ對スル危険ナキニシモアラス然レトモ取組依頼人ノ確實信用アルモノニシテ仕向クヘキ爲替取引先ノ安全ナル時ハ前記ノ危険ヲ感スルコト少ク又往復交渉ヲ要スルコトモ少ク且資金ノ回收モ迅速ナルヲ以テ銀行ニ於テハ好個ノ放資物件タルモノトス

## 取組ノ危険ヲ防ク方法

荷附爲替手形ハ前記ノ如ク商取引ノ發達ヲ助長スルニハ必要ナル方法ナリト雖モ取組依頼人ニ於テ不正行爲ヲナス事アラハ其危険測ルヘカラサルモノナレハ取組依頼人ノ信用カ取組依頼額相當以上ナルカ若クハ相當信用アル荷受人ヨリ特ニ依頼アルニアラサレハ妄リニ其依頼ニ應スヘキニアラス即事實擔保品ヲ附屬スルモノト雖モ此依頼ニ應スルニハ無擔保ニテ貸出ヲナスト同様ノ心得ヲ以テナスニアラサレハ後日悔ヲ殘スコトアルヘシ而シテ荷附爲替手形ノ取組依頼ニ對シテハ豫シメ擔保品差入證ヲ差入レシムルカ若クハ擔保品差入證ノ性質ヲ帶タル取組依頼書ヲ取組ノ都度差入レシメ必要ニ際シ擔保品ノ處分ヲナシ得ヘキ權利ヲ銀行ニ保留スヘキナリ又荷附爲替手形ハ假令擔保附ナリト雖モ危険多ク之ヲ取組ムニ就テハ無擔保同様ノ心得ヲ以テ爲スヘキモノナレハ資産信用ノ點ニ於テ第二流以下ニ屬スルモノニ對シテハ此等ノ人ニ對スル無擔保貸出ノ如クニ相當ニ資産信用アル者ヲ保證人トナサシメ其者ノ保證書ヲ差入レシメ尙不渡ノ場合手形法ニヨリ荷附爲替手形ノ取組依頼人カ償還ノ義務ヲ免ル、等ノ事ナカランカ爲メ別ニ取組依頼人又ハ主トシテ信用ヲ置クヘキ者ヨリ約定書ヲ差入シムヘキモノトス



擔保品

荷附爲替手形ノ擔保品ハ動産ナルヘキ事ハ手形ノ性質上明ラカナル所ナリト雖モ如何ナル動産モ隔地者間ノ取引ニ供セラル、モノハ悉ク擔保トナシ得ヘキモノニアラスシテ中ニハ擔保トナスニ適セサルモノアリ例ヘハ輸送途中又ハ保管中危險ヲ生シ易キ爆發物石油其他流動物ノ如キモノ輸送途中變敗ノ恐アル生野菜生果生魚ノ如キモノ又ハ輸送中紛失減損ヲ生シ易キ筏流木ノ如キ是ナリ是等滅失毀損ノ恐多キモノハ所謂荷附爲替手形ノ名ヲ以テ融通ヲナスト雖モ其實擔保ハ單ニ形式ニ止リ無擔保ノ融通ヲナスト同様ノ念ヲ以テスルニアラサレハ此等ニ對シ貸出ヲ行フコト能ハサルナリ此他ノ物件ニ付テハ手形貸附ノ擔保ニ於ケルカ如キ注意ヲ以テセハ過ナキヲ得ヘシト雖モ荷附爲替手形ハ元來取組依頼人ト荷受人トノ間ニ賣買成立シ之ヲ移動スルニ付テ其間ノ融通ヲナスモノナレハ正當ニ賣買成立シ且擔保物件ノ品質數量ニ相違ナクハ荷附爲替手形ハ無事取立ラル、モノナリ(相場下落ノ際ニハ荷受延引スル事アルモ)故ニ信用アル者ノ依頼ニカ、ル荷附爲替手形ニ在テハ擔保物件カ市場狭ク相場ノ高下甚シク之ヲ鑑定スルニ特別ノ技能ヲ要スルモノト雖モ甚シク危險ヲ感セサルナリ殊ニ普通貸出金ノ擔保ト異リ比較的短期間ノ擔保タルモ

商品擔保ノ場合ニ於ケル特別ノ注意

ノナレハ普通ノ擔保品ヲ扱フカ如ク嚴格ニナスヲ要セサルカ如シ、即取組依頼人(時トシテハ手形引受人)ノ選擇宜シキヲ得ハ擔保品種類ノ制限ハ比較的寬ニナスモ可ナリ

然レトモ商品ノ荷附爲替手形ニ於テ擔保タルヘキ商品ノ輸送ニ任スヘキ運送業者若クハ之ヲ取扱フ者ニシテ不確實ノモノナランニハ引換證記載ノ貨物カ満足ニ目的地ニ輸送セラル、ヤ否ヤ明カナラス輸送途中運送業者若クハ運送取扱者ノ責任ニ歸スヘキ事故發生ノ場合能ク之ヲ辨償スルヤ否ヤ明カナラス即出荷人及荷受人共誠實ニ取引ヲナシ又之ヲ受拂スル意思アリト雖モ第三者即擔保品ノ輸送ニ任スル者ニ於テ其責ヲ怠ルカ如キ時ニ於テハ出荷人ハ多少ノ損害ヲ被ムリ銀行亦此餘波ニヨリ損害ヲ被ムル事ナキヲ保セサルナリ是ヲ以テ擔保商品ノ引換證ハ信用アル者ノ發行セシモノニ限ルヲ可トス

手形取組金額

荷附爲替手形ハ取組依頼人ノ信用程度擔保品ノ性質價格等ニヨリ擔保品ノ賣買價格全部ノ金額トスルモノアリ(之ヲ丸爲替トイフ)或ハ相場ノ變動擔保品處分ノ費用等ヲ見込ミ時價ノ七八掛以下ノ金額トスルモノアリ即依頼人(時トシテハ支拂人)ノ信用厚キ者ニ對シテハ丸爲替ヲ取組ム事アルモ然ラサル向ニハ

取組及取立  
ノ手續

手形面金額ハ丸爲替ノ如ク賣買代金ノ全額トナシ恰モ丸爲替ノ如ク荷附爲替料(即割引料)ノ計算ヲナスト雖モ手形殘金中ヨリ前記頭金ヲ保證金トシテ引去リ一時別段預金トナシ殘額ヲ依頼人ノ當座勘定ニ振替ヘ荷附爲替手形取立濟ノ上該手形ノ保證金ヲ拂出シ依頼人ノ當座勘定ニ振替受入ル、カ若クハ豫シメ荷附爲替手形ノ保證トシテ相當物件ノ提供ヲ受ケ之ヲ見返リトシテ若干金額マテ荷附爲替手形ノ丸爲替ヲ取組ムコトアリ

荷附爲替手形取組ノ依頼ヲ受タル時ハ擔保品ノ種類數量ヲ調査シ手形金額カ相當ナルヤ否ヤ引換證發行者カ相當信用アルモノナルヤ否ヤ附屬書類ノ正否及數量等ヲモ調査シ、然ル後他所割引手形割引ノ手續ニ依リ割引ヲナシ擔保品ヲ先方銀行宛ニ送附スルタメ銀行ニ於テ殊ニ費用ヲ要スルモノハ該費用ヲモ依頼人ヨリ受入レ、殘金ハ手形割引ノ例ニ從ヒ處置シ、取立ノ爲手形及擔保品共他所割引手形ノ扱ニ準シ即日爲替取引先ニ送附スヘシ、而シテ取立濟ノ上ハ他所割引手形ノ扱ニ準シテ記帳シ取組ノ際保證金ヲ受入タルモノハ取立濟ノ報ヲ得ルト共ニ差入人ノ當座勘定ニ振替拂出シ還附ノ手續ヲナスモノトス

## 第四節 雜

## 預ケ金

以上三節ニ記シタル割引貸附金荷附爲替手形ノ取扱ハ割引係ノ日常頻繁ニ行フ取引ニシテ此等ノ取扱ヲ熟知セハ割引係ノ事務ヲ概テ處理スルヲ得ヘキモ此他ニ尙割引係ノ事務トシテ預ケ金コ一るろ一ん、こ一るまね一借入金再割引手形等アリ今左ニ大要ヲ記セントス

預ケ金ハ營業ヲ持續スル必要ヨリナスモノト遊金ヲ利用スル爲ニナスモノト貸附金ノ形式ヲ避クル爲ニナスモノトアリテ其由來ヲ異ニスルニ從ヒ取扱ノ方法亦一樣ナラス營業ヲ持續スル必要ヨリ預ケ金ヲナスモノニハ交換所加入銀行ニ於テ交換尻決濟銀行ニ手形交換資金ノ預入ヲナシ組合銀行間ノ規約ニヨリ信認金ノ提供ヲナス時ハ之レカ寄託ノ場所ヘ預ケ金ヲナシ代理店ヲ有スル銀行ニ於テハ營業資金ヲ代理店ヘ預ケ入ル、アリ銀行ノ設置ナキ地方ト爲替資金ノ授受ヲナス爲ニ振替貯金ニ加入シタルモノニ在テハ遞信省ニ其資金ヲ預入ル、カ如シ是等ノ内一度預ケ入ヲナセハ組合ヲ脱スルカ若クハ營業上變化ヲ加ヘシ等ノ爲預ケ金拂戻ヲ受ル迄其儘據置トナルモノアリ又手形交換資

金代理店營業資金ノ如ク日々異動スルモノアリ又信認金手形交換資金振替貯金ノ如ク無擔保ニテ預ケ入ヲナスモノアリ或ハ代理店營業資金ノ如ク擔保ヲ徵シ然ル後預ケ入ヲナスモノアリ(代理店營業資金ノ預ケ入ニ無擔保ノモノモアリ一概ニ云フ得ス)而シテ此種ノ預ケ金ハ其目的ト預ケ先ノ異ルニ從ヒ取扱ノ手續一樣ナラス現金ヲ以テ預入ヲナシ又ハ拂戻ヲ受クルモノハ現金收支ノ傳票ヲ用ヒ振替ニヨリ預ケ金ノ受拂ヲナスモノハ振替傳票ヲ用ヒテ資金ヲ受拂シ其都度證書ノ交付又ハ通帳ノ記入ヲ受ケ或ハ證書ヲ返付シ又ハ通帳ニ其旨記載ヲ受ケ信認金ノ受領證ノ如キハ庶務係ニテ保管シ手形交換資金受拂ノ通帳ノ如キハ割引係ニテ保管シ日々之ニ記入ヲ受ケ當日營業ノ終ニ計算係ニ於テ通帳ニ記載セル受拂及殘高ト自行帳簿トヲ對照シ相違アラハ直ニ照會シ尙對照スヘキ證書アルモノハ計算係又ハ關係ノ係ニ於テ通帳ト對照シ通帳ト自行帳簿トノ符合ヲ得テ後通帳及證書ヲ整理保管スヘシ又擔保品アルモノハ貸出金ノ擔保ニ做ヒ擔保品ヲ選擇シ之ト同様ノ手續ヲ以テ受拂シ領收證ヲ發行スヘキモノハ之ヲ發行シ請取證番號又ハ之ヲ發行セルコトヲ保管品傳票ニ記載シ之ヲ關係ノ係ニ於テ保管シ擔保品ハ保管係ノ保管ニ移スモノトス遊

金ヲ利用スル爲ニ預ケ金ヲナスモノハ預ケ先ヲ信用シテ預ケ金ヲナスモノナレハ預ケ先ニ對シ預ケ金ノ見返トシテ擔保ノ差入ヲ請求セサルコト論ナキナリ而シテ預ケ金受拂ノ都度傳票ヲ作成シ證書又ハ通帳ハ當該係ニ於テ保管スヘキナリ次ニ貸附ノ形式ヲ選クル爲ニ預ケ金ヲナスモノニアリテハ貸出金ヲナスト同様ノ注意ヲ以テ取扱ヒ又多クハ擔保品ヲ徵シテ貸出金ノ擔保品ト同様ノ注意ヲ以テ擔保品ノ選擇ト取扱トヲナシ預リ金證書又ハ通帳ノ交付ヲ受ケ之ニ對シ傳票ヲ作り資金ヲ引渡シ證書又ハ通帳ハ割引係ニテ保管シ擔保品ハ他ノ貸出金同様保管係ニテ保管スルモノトス而シテ回收ノ手續ニ付テハ手形貸附回收手續ニ準シテ取扱フモノトス

こゝろゝ

こゝろゝハ据置期間ヲ定メ或ハ之ヲ定メスシテ貸方又ハ借方或ハ雙方ヨリ返金ノ前日マテニ相手方ニ到達スル様返金ノ旨ヲ申込ミ決濟スル貸金ナリ即借方ノ方面ヨリ觀レハ拂戻ノ日ヲ定メサル通知預金ニシテこゝろゝ(返金又ハ回收ノ旨ヲ相手方ニ通知スル方法ヲイフ)ヲナシテ後初メテ拂戻期日ノ定メラル、モノナリ又之ヲ貸方ノ方面ヨリ觀レハ返金ノ期日ヲ定メサル通知貸金ニシテこゝろゝヲナシテ後初メテ返金ノ期日ヲ定メラル、モノナリ而シテ据置期

間ヲ定ムルモノニ在テハ或ハ何日間或ハ取引セシ當月經過後ト定メ据置期間經過後ハ貸方ハ回收ヲ欲スル前日迄借方ハ返金セントスル前日迄ハ安シテ此資金ヲ利用シ回收又ハ返金ヲ欲スルニ至テ之ヲ相手方ニ通知シ該通知カ相手方ニ到着セシ日ノ翌日以後ニ於テ任意ニ自己ノ希望ヲ達シ得ヘキナリ是即雙方こゝるニシテ貸方又ハ借方ニ對シこゝるスルヲ得サラシムルモノ即片こゝるナリ而シテこゝるハ直接ニ取引ヲ取極ムルモノトびる、ぶろーかノ仲介ニヨリ貸方借方雙方ノ間ニ取引ヲ結フモノトアリ

こゝる、ろーんノ取引ヲ取極タルトキハ直接ノ借方ヨリ一覽後翌日拂ノ手形ヲ差入レシメ擔保附こゝる、ろーんニ在テハ尙擔保品差入證及之ニ記載ノ物件並ニ附屬書類委任狀承諾證ノ類ヲ差入レシメ此外ニ直接ノ取引ニ在テハ借方ヨリ仲介者ヲ用ヒタルモノハ仲介者ヨリこゝるノ條件ヲ記載セル副證ヲ差入レシメ然ル後借方ノ者ノ爲ニこゝる、ろーんとシテ取引スル金額ヲ拂出スモノトス而シテ利息ハ直接取極タルモノト仲介者ヲ經タルモノトニヨリ或ハ貸方ヨリこゝるセルト借方ヨリこゝるセルトノ別ニヨリ計算法ヲ異ニシテ一様ナラスこゝる、ろーんとシテ貸出シタル金ヲ回收セントスル時ハ最初取組タル時ノ條

こゝる、まね

件ニ從ヒ据置期間アルモノハ据置期間經過後ノ某日ニ於テ回收スヘキ事ヲ据置期間ヲ定メサルモノハ某日ニ於テ回收スヘキ事ヲ回收スヘキ日ノ前日迄ニ借方ニ到達スル様貸方ヨリ通知ヲナシ(即こゝるヲナシ)回收ノ期日ニ於テ便宜ノ方法ニヨリ借方ヨリ返済ヲ受ケ利息ハ直接ノ取引ニ在テハ借方ヨリ元金ト共ニ受取り仲介者アルトキハ仲介者ヨリ受取り手形並ニ擔保品及其附屬書類ハ借方ニこゝるノ副證ハ差入人ニ直接返附スルモノトス

こゝる、ろーんハこゝるノ方法ニヨリ貸出スヘキ資金ヲ貸方ノ方面ヨリ觀タル稱ニシテ之ヲ借方ノ方面ヨリ觀タルモノ即こゝる、まねノナリ故ニこゝる、ろーんノ手續ヲ知レハこゝる、まねノ手續ハ自ラ明カニナリ特ニ説明ノ要ヲ見サルモ借方カこゝる、まねトシテ資金ヲ取入ル、ニハ一覽後翌日拂ノ手形ヲ作リ擔保品ニ在テハ之ニ擔保品及附屬書類(擔保品差入證共)ヲ添付シテ貸方銀行ニ提出シこゝるノ條件ヲ記載セル副證ハ貸方トノ直接取引ナル時ハ貸方銀行

ニびるぶろーかーノ仲介ニヨリ取引成立セルモノニ在テハ仲介者ニ差入レ然  
ル後資金ヲ受取ルモノトス而シテ之ヲ返済スルニハ返済セントスル日ノ前日  
マテニ貸方ニ到達スル様返金ノ通知ヲナシ(即こーるヲナシ)然ル後當日返金ヲ  
ナシ貸方トノ直接取引ニ在テハ利金ハ貸方ニ元金ト共ニ直接送付シ仲介者ヲ  
經テ取引ヲナシタルモノニ在テハ仲介者ニ利金ヲ交付シ曩ニ差入タル手形、副  
證、擔保品及附屬書類ヲ各差入先ヨリ返戻ヲ受ケ此取引ヲ決済スルモノトス而  
シテ記帳等ハ總テこーる、ろーんニ準スル事是亦論ナキ所ナリ

借入金

借入金中ニ手形又ハ證書ヲ以テ返済期日ヲ定メテ借入ル、モノアリ又當座勘  
定ヲ以テ借越金ヲナス者アリ而シテ當座勘定ノ借越金ニ付テハ當座預金ヲ引  
出スト同一ノ手續ニヨリ當座小切手ヲ振出スノミニテ一定ノ限度マテ借越金  
ヲナシ得ヘシト雖モ之ニ對シ豫シメ擔保品ヲ差入置タヘキコト論ナキナリ)定  
期借入金ニ在テハ貸方銀行ノ要求ニ從ヒ必要書類ヲ作り之ニ擔保品ヲ添ヘテ  
提出シ貸方銀行ニ於テ夫々ノ手續ヲ經タル後資金ヲ受入ル、モノトス  
會テ自行ニ於テ割引シタル手形ヲ他ノ銀行ニ至リ割引ヲ求ムルヲ再割引トイ  
フ即一度買取リタル手形ヲ更ニ他ニ轉賣スルヲイフナリ是亦再割引ヲナス銀

再割引

行ノ要求ニ從ヒ割引ヲ求ムルコト論ナシト雖モ再割引ヲ求ムル手形ハ一口毎  
ニ記入帳ニ再割引ヲ求メタル事ヲ記入シ手形現在高、再割引依頼殘高、同決済高  
等ヲ日々調査スルノ材料トナスヘシ此他再割引ヲ依頼セン手形ノ記入帳及元  
帳ヲ設ケテ之ヲ整理スヘキ事手形割引ノ取扱ヨリ推究シ得ラル、ナラン

## 第二章 預金係

## 預金ノ種類

預金係ニ於テハ各種預金ノ受拂當座貸越金及保護預ヲ取扱フモノトス  
吾國銀行業務實際ノ便宜上預金ヲ概テ左ノ種類ニ區別ス

一、定期預金 此預金ハ一定ノ期間ヲ定メテ預入レラル、モノニシテ其期日  
至レハ預金者ハ其返済ヲ要求シ得ルモ期限内ハ預金者ノ自由ニ之ヲ引出  
スコト能ハサルモノナリ

此ノ如ク定期預金ハ其期日迄ハ銀行ニ於テ安心シテ他ニ利用スルコトヲ  
得ヘク期日マテハ之ニ對シ毫モ支拂準備金ヲ置クノ必要ナキモノニシテ  
期日至リテ始メテ支拂準備ヲナセハ可ナリ隨テ銀行ハ期限ノ遠キ程多ク  
安心シテ其預金ヲ利用シ得ヘキナリ而シテ預金期間永キ程銀行ノ利益ナ  
レハトテ餘リ久シキニ亘リテ預ル時ハ其間ニ利率變動ノ恐アルヲ以テ普  
通三ヶ月以上一年迄ノ期間ヲ以テ預リ其以上預入ント欲スルモノニハ更  
ニ預繼ノ手續ヲナサシムルヲ普通トス

二、當座預金 此預金ハ出納時ヲ還マス何時ニテモ之ヲ預リ要求次第直ニ拂

出スヘキ預金ナリ從テ又當座貸越ト合シテ之ヲ當座勘定ト稱ス

如此當座預金ハ出納甚自由ナルモノナルカ故ニ此種ノ預金ヲナス者ハ主  
トシテ金錢出納ノ頻繁ナル商人ニシテ銀行ハ一見之ヲ他ニ利用スルコト  
能ハス從テ之ヨリ何等ノ利益ヲ收ムルコト能ハサルカ如シト雖モ其實多  
クノ場合ニ於テハ預入レラレタル預金ハ直ニ其全額ノ拂戻ヲ請求サル、  
モノニアラス經濟界ニ恐慌ノ起ラサル限リ悉ク一時ニ引出サル、モノニ  
アラス普通ノ場合ニ於テハ一方ニ引出サル、トモ他方ニテ預ケ入ラレ極メ  
テ稀ナル場合ヲ除キテハ其預金ハ急激ニ増減スルモノニアラス銀行ハ經  
驗上要求拂ノ當座預金ト雖モ其一部ヲ他ニ利用スルコトヲ得ルモノナリ  
然レトモ元來要求拂ノ預金ナルヲ以テ全ク安心シテ其大部分ヲ利用スル  
コト能ハス他ノ預金ニ於ケルヨリモ一層多クノ支拂準備ヲ要スルナリ而  
シテ當座預金ハ小切手ヲ以テ引出サル、ヲ原則トシテ小切手ノ流通ニヨ  
リ商業上ノ取引ヲ圓滑ニシ金融ヲ疏通スルノ便少カラサルナリ

三、小口當座預金 此預金ハ出納時ヲ還マス何時ニテモ預入レ又ハ引出ノ自  
由ナルコト當座預金ニ異ラサルモ唯其金額ノ小ナルニアリ隨テ一ニ之ヲ

特別當座預金ト稱ス而シ縱令其名稱小口ト稱セラル、モ吾邦ニ於テハ貯蓄銀行條例ニヨリ一口五圓未滿ノ金額ヲ定期預リ又ハ當座預リトスル時ハ之ヲ貯蓄預金ト見做シ貯蓄銀行條例ヲ適用スルノ規定存スルヲ以テ一口五圓未滿ノ金額ハ普通銀行ニ於テ預金トシテ取扱フコトヲ許サレサルナリ而シテ其出納ハ通帳ニヨリテ之ヲ爲サシムルヲ普通トス

四、通知預金 引出ノ前日又ハ數日前豫シメ其旨ヲ銀行ニ通知スル約束ヲ以テ預ル預金ニシテ通知ノ期限ハ其引出スヘキ金額ノ大小金融界若クハ銀行又ハ取引先ノ事情或ハ其他ノ狀況ニヨリ必スシモ一ナラス通常短キハ前日長キモ一週間ヲ出テサルモノトス而シテ銀行ハ預金引出ノ通知ヲ受ケテ始メテ支拂ノ準備ヲナセハ足り當座預金ニ於ケルカ如ク常ニ多クノ準備ヲ蓄フルノ必要ナク預金ノ大部分ハ他ニ利用スルコトヲ得ヘシ

五、別段預金 此預金ハ他種ノ預金中ニ入ル、コト能ハサルモノニシテ銀行事務整理上別ニ別段預金ナル科目ヲ設ケ之ニ種々雜多ナル預金ヲ包括セシムルニ過キサリナリ即當座勘定ヲ有セサル取引先ノ爲ニ臨時ニ手形代金配當金等ヲ取立テ未タ之ヲ取立依頼人ニ支拂ハサルモノ、如キ或ハ臨

時ニ手形支拂資金ヲ預ルカ如キ一ノ特別ナル科目又ハ口座ヲ設クルニ至ラサル預金ヲ處理スルカ爲ニ設ケシモノナリ而シテ此預金中ニハ利子ヲ付スルモノアリ付セサルモノアリ預金證書ヲ發行スルモノアリ發行セサルモノアリ預金ノ種類ノ一定セサルカ如ク此等ノコト亦一定セサルナリ

六、貯蓄預金 此預金ハ比較的財産ナキ社會ノ下層ニ屬スル人ヨリ其勤儉節約ノ結果ヲ預入ル、モノニシテ其金額ハ普通小額ナルヲ常トシ以上記シタル各種預金ハ主トシテ商業資金ナルニ反シ專ラ細民ノ貯蓄ヲ獎勵シ勤儉ノ美風ヲ養成シ之ニヨリ零碎ナル資金ヲ集メ有用ナル大資本ヲ構成セントスルニアリ然レハ貯蓄預金ハ普通ノ預金ト大ニ其性質ヲ異ニシ多少慈善ノ分子ヲ含ムモノト云フヘシ然レハ其取扱上他ノ如何ナル預金ヨリモ安全確實ナルヲ要スルヲ以テ多クノ國ニ於テハ普通銀行ト其性質ヲ異ニスル貯蓄銀行ニ之ヲ取扱ハシメ普通銀行ヨリモ一層嚴重ナル法律ニヨリ之ヲ取締レリ

此他預金手形又ハ振出手形ト稱スル一種ノ預金アリ此手形ハ其本質預金證書ニシテ預ケ主名指人又ハ持參人ニ支拂フコトヲ約シ定期預金證書カ質入讓渡

ヲ一切禁止シ流通性ノモノニアラサルニ反シ預金手形ハ轉々流通スルモノナ  
リ且定期預金證書ハ必ス確定期限付ノモノナレトモ預金手形ハ間々据置期日  
ヲ定ムルモノアルモ多クハ之ニ期限ナク一覽且持參人拂ノモノナルヲ普通ト  
ス

預金ノ利用

又公金預金ト稱スル者アリ國家地方團體若クハ其他ノ公共團體ノ預金ヲ總稱  
セルモノニシテ普通民間ヨリノ預金ト區別セル名稱ニ過キサルナリ  
預金ハ單ニ保管ノタメニ銀行ニ預ケ入レラル、モノニアラスシテ又利殖ノタ  
メニ預ケ入ラル、モノナレハ銀行ハ之ヲ全ク自由ニ利用シ得ヘキモノナリト  
雖モ全然之ヲ銀行ノ自由ニ放任スルトキハ時ニ或ハ資金ノ回收困難ニ陥ル恐  
アリ而シテ預金ハ本來銀行ノ所有ニ屬スル資本主勘定ノ資金ト異リ當座預金  
ノ如キハ何時ニテモ要求次第ニ支拂ハサルヘカラサルモノナレハ銀行ハ此等  
ノ資金ヲ利用スル場合ニハ銀行カ本來所有スル資本主勘定ノ資金ト同様ニ之  
ヲ取扱フヘキモノニアラサルナリ預金ノ利用ニ關シテハ普通銀行ニ對シテハ  
法律上之ヲ制限セスト雖モ銀行ノ經營ニ當ル者ハ之ニ周到ノ注意ヲ拂フヘキ  
ナリ是銀行自身ノ爲ニハ其信用ヲ高メ一般金融界ノ爲ニハ平穩確實ナラシメ

預金利用ニ  
關シ注意ス  
ヘキ事項

經濟社會ニ多大ノ裨益アル所以ナリ

銀行カ預金ノ利用ニ關シ注意スヘキ事項左ノ如シ

- 一、預金ノ返済期限ヲ誤ラサル事 預金ハ期限アル者ハ期限ノ到來シタル時  
然ラサレハ要求次第ニ何時ニテモ之レカ返済ヲナスヲ要スルモノナレハ  
其時銀行ニ於テ萬一支拂ヲナス事能ハサル時ハ是銀行ノ支拂停止ニシテ  
銀行ノ信用ヲ失墜シ延テハ社會ニ甚恐ルヘキ惡影響ヲ及ホスニ至ルモノ  
ナリ特ニ銀行ニ於テハ預金ハ之ヲ預リタル條件通りニ返済スルヲ以テ最  
重要ナル條件トス然レハ最後ノ決算ニ於テ甚シキ損失ヲ生スルコトナク  
預金者ニ損害ヲ及ホスカ如キ事之ナシト云フヲ以テ足レリトナスモノニ  
アラサルカ故ニ銀行ノ預金利用ハ先ツ此點ヲ於テ充分ナル注意ヲナスヲ  
要ス

- 二、確實ニ利用スヘキ事 預金ハ假令右ノ條件ヲ遵守シ之ヲ利用スト雖モ若  
其利用方法安全ナラス確實ヲ缺キ銀行ニ損害ヲ及ホスカ如キ事アラハ銀  
行ハ預金ヲ返済スル事能ハス自ラハ損害ヲ被ムリ社會ハ爲ニ惡影響ヲ受  
ケサルヘカラサル事トナルヘシ



## 預金準備

三、預金者ニ相當ノ利益ヲ與フヘキ事 銀行ハ單ニ預金ヲ保管スルニ止ラス之ヲ他ニ利用シテ利益ヲ收ムルモノナレハ金利ノ非常ニ低落セサル限り銀行ハ競争上其利益ノ一部ヲ預金者ニ與フヘキナリ

何種ノ預金タルヲ問ハス一旦預リタルモノハ何時カハ之ヲ返濟セサルヘカラス例ヘハ定期預金或ハ通知預金ハ其期限ノ到來スル迄或ハ其通知ヲ受クル迄銀行ハ安心シテ之ヲ利用スル事ヲ得ヘキモノナルカ如シト雖モ銀行ニシテ毫モ之カ爲ニ準備ヲ置カサルトキハ時トシテ其支拂ニ困難ヲ感スル事アルヘク當座預金ノ如キ何時ニテモ要求次第之カ支拂ヲナサ、ルヘカラサルモノニ對シテ準備金ヲ置カサル時ハ銀行ハ支拂ノ要求ヲ受タル時ニ直ニ其支拂ヲナス事能ハス時ニハ支拂停止甚シキハ破産ノ悲境ニ沈淪セサルヘカラサルニ至ルヘシ又金融順調ニ在ルノ日ハ一銀行ノ支拂停止又ハ破産モ一般經濟社會ニ恐ルヘキ惡影響ヲ及ホスモノニアラスト雖モ現今ノ如ク信用ノ發達著ルシク其關係密接ニシテ信用機關一部ノ障害モ時ニ其惡影響ヲ全般ニ波及スル事アルヘク特ニ金融甚シク緊縮シ人心多少危惧ノ念ニ襲ハレツ、アルカ如キ際ニ於テハ一銀行ノ支拂停止又ハ破産ハ直ニ金融市場全般ニ其動亂ヲ及ホス事之ナ

預金準備金  
ヲ定ムル標

キニアラス而シテ如此ニ至ル所以ハ平素銀行ニ準備金ヲ蓄フル事少ク一朝取付ニ遭フモ其支拂ヲナス事能ハサルニヨルモノナレハ之ヲ蓄フル事ノ必要ニシテ且重大ナル關係ヲ有スルモノナル事之ヲ疑フノ餘地ナキナリ

然ラハ準備金額ハ如何ニシテ定ムヘキカ惟フニ種々ノ事情ト時トニヨリ一定不變ノ標準ヲ定ムル事到底能ハサルモノニシテ一方ニハ預金ノ支拂ニ毫モ差支ヲ生セサル事ト他方ニハ銀行ノ利益ヲ可成大ナラシムル事トノ兩端極ノ中間ニ於テ定ムルノ外ナカルヘシ即預金準備金ノ額ハ銀行ノ利益ヲ甚シク減少セサル程度ニ於テ可成大ナルヘキ事又ハ銀行カ預金ノ支拂ニ困難ヲ感セサル程度ニ於テ可成小ナルヘキ事ト云フノ外ナカルヘシ而シテ一層具體的ニ之レカ標準ヲ擧クレハ左ノ如シ

- 一、信用發達ノ程度 信用大ニ發達スレハ社會ノ銀行ヲ信用スル事厚ク些細ナル出來事ノ發生ニヨリテ直ニ預金ノ取付ヲ受クルカ如キ事ナカルヘク之ニ反シ信用未タ充分ニ發達セサル社會ニ於テハ一小事件ノ發生アルモ直ニ社會全般ニ不安危惧ノ念ヲ懷キ預金ノ取付ヲ惹起シ易キモノトス
- 二、政治上ノ狀態 國際間ノ關係ニシテ危急ヲ告ケ戰端將ニ開カレントスル

ニ至レハ人心動搖シテ不安ヲ生シ銀行ニ對シ取付ヲナスニ至ルヘク政治上ノ状態單ニ國內ニ現ハル、モノニアリテモ其状態甚險惡ニシテ人心ヲ攪亂セシムルカ如キ程度ノモノナランニハ是亦銀行ニ其影響ヲ及ホスヘシ之ヲ以テ人心多少ナリトモ動搖シ銀行ニ取付ヲナスカ如キ事情起ルニ至ラハ銀行ハ之ニ對シ必ス相當ノ準備ヲナスヲ要ス

三、交通機關ノ發達 交通機關ノ發達ハ距離ヲ短縮シ併セテ各地間ニ於ケル交通ヲ頻繁ナラシムルモノナリ之ヲ以テ交通機關發達スル時ハ他地方ニ於ケル銀行ト密接ナル關係ヲ結ヒ一朝金融界動亂シテ銀行ニ取付起ルモ直ニ其援助ヲ他地方ニ求メ以テ急ヲ免ル、ヲ得ヘシ之ニ反シテ若交通機關ノ設備未タ不充分ナル時ハ一地方ノ銀行ハ他地方ノ銀行ニ其援助ヲ求メント欲スルモ距離遠ク若クハ頻繁ニ往復スル能ハサル等ノ事情ヨリ其目的ヲ達スル事困難ナルヘシ是ヲ以テ銀行ハ交通機關發達スルニ至ラハ之ナキ時ヨリモ他ノ銀行ノ援助ニ依頼シ得ルタケ夫レタケ小ナル預金準備ヲ以テ足ル事トナルヘシ

四、一般金融市場ノ狀況 一般金融市場ノ狀況ニシテ逼迫ヲ告ケ資金ノ需要

甚多ケレハ其需要ニ應スルカタメニ銀行預金ヲ引出スニ至ルヘク又此際ニハ總テノ銀行其資金缺乏ヲ感スルノ時ナルヲ以テ銀行ハ他ノ銀行ヨリノ融通ニ依頼シ難ク從テ大ナル警戒ヲ要スルナリ之ニ反シ金融緩漫資金潤澤ナルニ於テハ銀行預金ノ増加スルカ上ニ此際ニハ各銀行共容易ニ他ノ銀行ヨリ資金ノ融通ヲ仰キ得ヘキヲ以テ深ク警戒ヲ加フルノ必要ナカルヘシ是ヲ以テ前者ノ場合ニ於テハ銀行ハ各自其預金準備ニ注意シ其増加ヲ計ラサルヘカラサルモノナレトモ後ノ場合ニ於テハ他ニ特別ナル事情ナキ限り預金準備ノ増加ニ深ク注意スルノ要ナシ又金融界ノ狀況甚險惡ニシテ恐慌ヲ生スルニ至ランカ信用地ヲ拂フテ行ハレス人皆貨幣ヲ要求スルニ至ルヲ以テ此際ニハ能ク限リノ力ヲ盡シテ大ニ其準備ヲ増加スルニ努力スルヲ要ス

尙金融市場ニハ規則的ニ起リ來ルヘキ金融季節アリ即商品仕入期農產物出廻り期納稅期年二回ノ決算期等ナリ此ル季節ニハ資金ノ需要一時ニ増加スヘキモノナルヲ以テ銀行ハ金融季節近キ來ル時ハ其準備金ヲ増加スルニ注意セサルヘカラス

五、手形交換所ノ有無 手形交換所ハ現今多額ノ手形等ヲ交換シ一々現金ヲ使用スル事ナクシテ巨額ノ取引ヲ決済スルモノナレハ交換所々在地ニ於ケル銀行ハ之カ存在セサル地ニ於ケル銀行ヨリモ比較的少額ノ準備金ニテ足ルモノナリ

六、支店數 支店ノ數少キ時ハ縱令一地方ニ於ケル支店ノ準備金ニ缺乏ヲ感スル事アルモ直ニ他ノ支店若クハ本店ヨリ之ヲ補充スル事ヲ得ヘク預金準備金ハ比較的少額ナルモ可ナリ然レトモ支店多數ナル時ハ少クトモ本店ハ支店ヨリ資金ノ要求アル場合ニ何時ニテモ之ヲ送付シ得ル準備ヲナシ置クヲ要スヘシ又一地方ニ於ケル支店ノ困難甚シキ時ハ其支拂停止ハ直ニ本店並ニ他ノ支店ニ影響スヘク銀行ハ此ル場合ニ應スルカタメ却テ比較的多クノ準備金ヲ有セサルヘカラサルナリ

七、預金ノ種類 即定期預金通知預金ノ如キ期限付預金比較的重キヲナス銀行ニ在テハ預金ノ期日至ルニ及ヒテ初メテ其支拂準備ヲナセハ可ナルヲ以テ平素多クノ準備金ヲ蓄フルノ要ナシ之ニ反シ當座預金ノ如キ要求拂ノ預金重キヲナスモノナランニハ其準備金ハ相當ニ多額ナラサルヘカラ

サルナリ

八、取引先ノ種類 取引先ノ種類ハ總テ預金ノ種類ヲ定ムルモノナリト云フ事ヲ得サルニアラサルモ同種ノ預金ニ在リテモ其取引先ノ種類必スシモ相同シカラス即同シ當座預金ヲナス人ニアリテモ製糸家アルヘク酒造家アルヘク或ハ海産肥料ヲ扱フ者アルヘク又毛皮ヲ扱フ者モアルヘシ而シテ製糸家又ハ海産肥料商ハ夏期ニ於テ資金繁忙ナルモ酒造家又ハ毛皮商ハ冬季ニ於テ資金繁忙ニシテ資金需要ノ期節何レモ相同シカラス之ヲ以テ銀行ハ取引先ノ種類ノ異ルニ應シテ其準備ヲ加減セサルヘカラサルナリ而シテ此理ヲ更ニ押廣メテ考フル時ハ銀行カ妄リニ取引先ヲ或種ノ特別ナル階級若クハ商人ニ限ルハ決シテ利益ナル方法ニアラス何トナレハ若銀行ニシテ其取引先ノ種類ヲ餘リニ小ナル範圍ニ限ル時ハ資金ヲ必要トセサル時ニ於テ銀行ハ多クノ遊資ヲ擁シ資金需要期ニ至レハ一時ニ多クノ資金ヲ引出サレ銀行ハ之カタメニ時トシテ困難ニ陥ルノ恐アレハナリ故ニ銀行ハ取引先ノ種類ヲ可成多クシ資金ニ對スル需要供給ヲ一方ニ偏セシメス之ヲ平均セシムル方法ヲ講スヘキナリ

九業務ノ種類 銀行ノ業務ノ種類即銀行カ資金ヲ利用スルノ方法如何ハ預金準備ノ金額ニ對シ極メテ重要ナル關係ヲ有ス若銀行ノ資金ヲ不動產抵當貸付若クハ其他資金ヲ固定スル方面ニ利用セシ時ハ銀行カ一時ニ預金ノ取付ニ遭フモ貸出金ヲ急ニ回收スル事能ハス又貸出ノ擔保品タ他ニ擔保ニ供シテ之ニヨリ融通ヲ受ケン事固ヨリ容易ナラス不得止多クノ準備金ヲ備フルノ外良法ナシ然ルニ之ヲ商業手形ノ割引コトニシテ之ヲ若クハ其他ノ短期貸付ニ利用セシ時ハ銀行ハ預金ノ取付ニ遇フモ左マテ之ヲ苦痛トセス預金準備金ハ比較的少額ニナシ得ヘキナリ

十、銀行ノ信用程度 銀行ノ信用厚ケレハ金融界多少動搖スルモ之カタメニ直ニ取付ヲ受クルカ如キコトナク縱令一般ニ取付起ルモ此場合却テ他行ノ預金減少セシタケ自行ノ預金増加スルコトアリ之ニ反シ信用薄弱ナル銀行ハ其現象右ト全ク相反シ預金減少シ又時トシテハ他ノ銀行ニ取付起ルモ直ニ其餘波ヲ受クルコトアリ之ヲ以テ前者ニ於テハ後者ニ於ケルヨリモ比較的少額ノ準備金ニテ足ルヘシ

預金受拂ノ形式

預金ニ證書ヲ以テ受拂スルモノト通帳ヲ以テ受拂スルモノト其他ノモノヲ以

テ受拂スルモノトアリ證書ヲ以テ受拂スルモノハ定期預金預金手形ノ如キモノニシテ之ヲ受入タル時證書ヲ發行シ之ヲ支拂フニハ證書ヲ返付セシムルモノナリ通帳ヲ以テ受拂スルモノハ當座預金小口當座預金ノ如キモノニシテ預金者ハ通帳ノ交附ヲ受ケ預入ノ時又ハ其後任意ノ時通帳ヲ提出シテ預入タル金ヲ口毎ニ記載ヲ受ケ引出ノ時ハ通帳ヲ提出シ之ニ拂出額ノ記載ヲ受ケテ預金ノ拂戻ヲ受クルモノト小切手ナル流通性ノ證券ヲ發行シテ拂戻ヲ受ケ後日通帳ニ拂戻金額ノ記載ヲ受クルモノトアリ其他ノモノヲ以テ受拂スル預金ハ別段預金ノ如キモノニシテ受入支拂共傳票ヲ作製シ之ヲ以テ受拂スルモノナリ而シテ預金受拂ノ手續ニ付テハ後ニ記スヘキモノ之レニ先チ小切手ノ事ヲ左ニ記セントス

當座小切手

小切手ハ預金者カ取引銀行ニ對シ要求次第一定ノ金額ヲ記名人指圖人若クハ持參人ニ支拂フヘキ事ヲ命令スル證券ナリ即小切手ハ支拂ヲナサントスル者カ銀行ヲシテ自己ニ代リ支拂ハシムルモノナレハ其支拂ニ充ツヘキ資金ハ豫シメ銀行ニ有セサルヘカラス故ニ小切手ノ振出人ハ銀行ノ預金者ニシテ宛名ハ銀行ナラサルヘカラス又小切手ハ支拂證券ニシテ固ヨリ支拂ノ約束チナス

モノニアラス又支拂ノ引受ヲナスモノニモアラス且其支拂ハ現金拂ト同様振  
出後可成速ニ其支拂ヲ受クヘキモノニシテ銀行紙幣又ハ手形ノ如ク流通ヲ主  
トスル信用證券ト其性質ヲ異ニセリ

小切手受取人記載ノ有無ニヨリ記名式指圖式無記名式ノ三種ニ分チ形式ノ上  
ヨリ普通小切手横線小切手及保證小切手ノ三種ニ區別ス

一、記名式小切手 此小切手ハ受取人ノ氏名又ハ商號ヲ記載シ此者ニ支拂フ  
ヘキ事ヲ指定セルモノナリ即受取人ノ特定セルモノナリ例ヘハ「右金額  
甲殿へ御拂渡被成度候也」ト記載スルモノ、如シ而シテ此小切手ト雖モ  
裏書ヲナシ他ニ讓渡スル事ヲ妨ケサルナリ

二、指圖式小切手 此小切手ハ受取人ノ氏名ヲ記載シ同時ニ又其指圖人ニモ  
支拂フヘキ旨ヲ記載セルモノナリ例ヘハ「右金額甲殿又ハ其指圖人ニ御  
拂渡被成度候也」ト記載セルモノ、如シ

三、無記名式小切手 是持參人拂ノモノニシテ小切手面ニハ單ニ小切手持參  
人ニ支拂フ爲スヘキ旨ヲ記載セルモノナリ而シテ無記名式小切手ト稱セ  
ラル、モノニ純粹ナル無記名式ト記名持參人拂式トノ二種アリ前者ハ例

ヘハ「右金此小切手持參人へ御拂渡被成度候也」ト記載スルカ如ク後者ハ「右  
金額甲殿又ハ持參人へ御拂渡被成度候也」ト受取人ノ氏名ヲモ記載スルカ  
如シ

四、普通小切手 手形法ニ定メラレタル要項ヲ記載シタル(此外手形法ニ規定  
ナキ事項ヲ記載スルコト差支ナキモ手形上ノ効力ハ生セサルナリ)小切手  
ニシテ小切手ノ表面ニ二條ノ平行線又ハ支拂保證ノ文言ヲ有セサルモノ  
ナリ

五、横線小切手 小切手流通ノ確實ヲ圖ルカタメ小切手面ニ二條ノ平行線ヲ  
引キ線内ニ銀行又ハ之ト同意義ノ文字ヲ記載スルカ又ハ特定セル銀行ノ  
商號ヲ記載シ以テ支拂先ヲ特定セルモノナリ而シテ横線小切手ハ單ニ小  
切手ノ振出人ノミナラス其所持人モ亦普通小切手ヲ何時ニテモ横線小切  
手トナス事ヲ得

六、保證小切手 小切手ノ支拂ヲナスヘキ銀行カ該小切手ノ支拂ヲ保證セル  
モノナリ換言スレハ支拂ヲナスヘキ銀行カ小切手支拂ニ充ツヘキ預金ノ  
確カニ存在スル事ヲ證明シ小切手支拂ノ約束ヲナスモノナリ而シテ其證

明方法ハ普通ハ小切手ニ銀行名及代表者ノ署名押印ヲナシ之ニ支拂保證ノ意味アル印ヲ押シ保證シタル金額ハ恰モ其當時現實ニ支拂ヲナシタルカ如ク之ヲ振出人ノ預金中ヨリ拂出シ別ニ振替置クモノナリ然レトモ我商法ニ於テハ小切手ノ引受ヲ認メス從テ其保證モ亦之ヲ認メサルヲ以テ小切手ノ保證ハ手形法上ノ効力ヲ生スルモノニアラサルナリ

預金事務取扱ノ方法

預金事務取扱ノ方法ハ預金ノ種類ノ異ルニ從ヒ同シカラス左ニ種類ヲ分チ記スヘシ

甲、入金ノ場合

- 一、當座預金及小口當座預金ハ受付ニテ收納傳票ヲ作成シ客ヲシテ現金ト共ニ收納方ニ持參セシメ通帳ハ客ヨリ受取記帳方ニ廻シ收納係ヨリ收納傳票ニ收納濟印ヲ押シ預金係ニ廻セハ記帳方ハ之ニヨリ元帳及通帳ニ記入シ預金係主任ニ廻シ同主任ハ傳票ト通帳トヲ對照シ通帳及傳票ニ捺印シ通帳ハ客ニ返シ傳票ハ順序ヲ經テ計算係ニ廻スヘシ
- 二、定期預金及預金手形ハ受付ニテ收納傳票ヲ作成シ客ヲシテ現金ト共ニ收納係ニ持參セシメ之ト同時ニ番號簿ニ要項ヲ記入シ之ニヨリ證書ヲ作成スヘシ

シ主任ニ廻ハセハ主任ハ收納係ヨリ回付シ來レル收納濟傳票ニ對照シ之ニ捺印ノ上部長ノ捺印ヲ得テ調査部ニ廻シ頭取印行印ノ捺捺ヲ得テ後客ニ證書ヲ交付シ傳票ハ記帳方ニ廻シテ記帳セシメ然ル後計算係ニ回付スヘシ

乙、支拂ノ場合

- 一、當座勘定ハ受付ニテ小切手ト引換ニ番號札ヲ客ニ渡シ札番號ヲ小切手面ニ鉛筆ニテ記シ受付判ヲ押シ印鑑ニ照合シテ印鑑ニ捺印シ記帳方ニ廻ハシ元帳ニ記入シ小切手ニ貸借印及捺印ヲ押シ預金係主任ニ廻セハ預金係主任ハ其小切手ヲ支拂フヘキモノト認メタル時之ニ認印ヲナシ金高多額ノモノハ部長ノ閱覽ヲ經然ラサルモノハ直ニ支拂方ニ廻ス支拂方ハ部長又ハ預金係主任ノ認印ヲ得タル上手控ニ科目金額氏名ヲ記入シ小切手ニ支拂濟印ヲ押シ番號札ト引換ニ客ニ支拂ヒ後小切手ヲ計算係ニ廻ス
- 二、小口當座預金ハ受付ニテ通帳及署名捺印アル受取證ト引換ニ客ニ番號札ヲ渡シ札番號ヲ受取證ニ鉛筆ニテ記シ受取證ニ捺捺セル印影ヲ印鑑ニ照合シ符合セルモノハ印鑑欄ニ認印シ記帳方ニ廻シ通帳及元帳ニ記入ノ後

預金係主任ニ廻セハ預金係主任ハ通帳變造ノ疑ナキヤ否ヤ利息元加其他通帳記入未済ノモノナキヤ否ヤヲ檢シ通帳及受取證ヲ對照シ受取證及通帳ニ檢印シ通帳及受取證共支拂係ニ廻シ當座勘定ト全様ノ手續ニヨリ現金ノ支拂ヲナスモノトス而シテ解約全額支拂又ハ大口ノ支拂ハ部長ノ閱覽ヲ經テ支拂方ニ廻セハ支拂方ハ前同様ノ手續ニヨリ支拂ヒ受領證ヲ計算係ニ廻付ス

三、定期預金及預金手形ノ支拂ハ受付ニテ預金證書ト引換ニ番號札ヲ客ニ渡シ札番號ヲ證書面ニ鉛筆ニテ記シ受付判ヲ押シ印鑑ニ照合シテ印鑑欄ニ捺印シ次ニ利息ヲ算出シテ支拂傳票ヲ作成シ證書ト共ニ檢算者ニ廻シ檢算ノ上證書及支拂傳票ヲ記帳方ニ廻ハシテ記帳セシメ然ル後預金係主任ニ廻セハ預金係主任ハ兩者ニ檢印ノ上部長ノ檢閱ヲ經テ支拂方ニ廻ス支拂方ハ前同様ノ手續ニヨリ支拂ヒ證書及傳票ヲ計算係ニ廻付ス

丙、振替ノ場合

一、預金係事務ニ於テ他係ノ事務ニ關聯スルト否トヲ問ハス預金係ハ振替傳票ヲ作成スヘキ場合ニハ前記收納及支拂ノ各場合ニ準シ取扱フモノトス

而シテ振替ノ場合ニアリテハ小切手小口當座預金受取證及預金證書等ハ支拂代用傳票ニアラスシテ單ニ證書タルニ止マルモノナレハ此等ノ證券ニハ振替支拂濟ノ印ヲ明瞭ニ押捺スヘシ

二、振替傳票ニヨル取引中現金收支ヲ伴フ場合アリ現金支拂ノ場合ハニ受付ハ乙ノ場合ニ於ケル取扱ニ準シテ支拂フヘキ勘定ヲ取扱ヒ甲ノ場合ニ於ケル取扱ニ準シテ受入ルヘキ勘定ノ振替傳票ヲ作り舊證券ニ振替支拂濟印ヲ押シ兩者ヲ綴リ受入ルベキ勘定ノ手續ヲ全部終了シタル後之ヲ支拂方ニ廻シテ差額ノ支拂ヲナスベク之ニ反シ振替差額ヲ現金ニテ受入ノ場合ハ現金受入ノ場合ニ準シ振替傳票ヲ作り之ヲ收納係ニ廻付シテ差額收納ノ手續ヲナサシメ然ル後受入勘定ノ手續ヲ完了スルモノトス

當座貸越

當座勘定ニハ前既ニ記セシガ如ク當座預金ノ外ニ當座貸越ナルモノアリ當座貸越トハ銀行ニ當座勘定ヲ有スル者ガ銀行ト特別ノ契約ヲ結ビ擔保根抵當ヲ提供シ或ハ之ヲ提供セズシテ預金ノ外或協定セル金額ノ範圍内ニ於テ恰モ當座預金ニ於ケルガ如ク自由ニ資金ヲ引出シ又預入ル、コトヲ得ルモノヲ云フ

當座貸越ハ協定セル金額ノ範圍内ニ於テ債務者ノ要スル時何時ニテモ金員ヲ引出スコトヲ得又何時ニテモ之ヲ返済スル事ヲ得ルガ故ニ普通ノ擔保附貸付ノ如ク或金額ヲ借入タル時ハ假令其期日前ニ金員不用トナルモ隨時之ヲ返済スルコト能ハズ隨テ無益ニ利子ヲ支拂フガ如キ不利ナク又資金ヲ要スル都度之ヲ銀行ニ申込ミ其許諾ヲ受クル必要モナク商人ニ取リ頗ル便利ナル方法ナリトス然レドモ銀行側ヨリ之ヲ觀ルトキハ金融逼迫ノ際ニハ協定額ノ限度迄引出サルベキ事アルニヨリ貸越ノ口數多ク協定額大ナル時ハ之ガタメニ手元窮迫スルコトナキヲ保セザルナリ故ニ銀行營業ノ立場ヨリハ貸越ノ口數少ク協定額小ナルダケ經營容易ナルヲ以テ貸越契約ハ極メテ短期間ノ融通ヲ要スルモノニ對シテ行ヒ長期融通ヲ要スルモノハ貸付ノ方法ニ依ラシメ且貸越限度ハ可成小ク協定スルヲ可トス而シテ貸越金ニ對スル利率ハ貸付ヨリモ若干高率ナルヲ常トス

貸付金ノ擔保品ハ最初貸出ノ際ニ於テ品種及擔保價格ヲ調査シ爾後期日延期又ハ繼續ノ場合ニハ概ネ當時ノ時價ニヨリ擔保價格ヲ調査スルヲ以テ擔保品ノ價格ニ急激ノ變化ナキ限リハ擔保價格ノ不足スルガ如キ事概シテ少ク又好

マシカラザル擔保品ハ其都度除去スルノ機會アルヲ以テ時トシテハ短時日ノ融通ノ爲ニ第二流以下ノ擔保品ヲ割高ノ擔保價格ヲ以テ擔保トスル事ナキニシモアラズ然レドモ當座貸越ニ在テハ定期ニ擔保品ノ時價ヲ調査スルニアラザレバ往々半年又ハ一年時トシテハ數年間擔保品ノ時價ヲ調査セザル事アリテ不知不識放漫ノ貸出ヲナシ又貸出利子ハ前拂ニアラズシテ後拂ナルヲ以テ多額ノ貸越ヲ永ク放置スル事アラハ直ニ貸越限度ヲ超過シ如何ニモ整理シ難キ場合ニ陥ルコトナシトセズ故ニ當座貸越ノ擔保品ハ何レノ地ニテモ容易ニ處分シ得ベク且價格ノ變動少キ確實ナル第一流證券ヲ選擇シ擔保價格ヲ低ク見積ルベシ擔保品ヲ差入レシムルニ付テ要スル所ノ擔保品付屬書類ハ貸付ノ場合ニ同シ

當座貸越ニハ擔保品ヲ差入レシムルヲ原則トスト雖モ信用充實セル取引先ニ對シテハ或限度迄無擔保ノ貸越ヲ承諾スル事アリ

當座貸越ハ擔保ノ有無ニ拘ハラズ貸越ヲ契約スル時ハ借越契約者ヨリ約定書ヲ差入レシメ相當ノ者ヲ保證人トナシ該約定書ニ連署セシムルヲ普通トス契約ノ期限ハ之ヲ定ムルモノアリ定メザルモノアリ之ヲ定ムルモノト雖モ二ヶ



年ヲ最長トシ之ヲ超ユルモノハ稀ナルガ如シ  
 當座貸越ノ取扱ハ當座預金ト全シク唯傳票又ハ小切手ニ殘高ノ貸借ヲ一見判別シ得ルタメニ押捺スル貸借ノ印ヲ全額貸越ノ時ニハ借ノ印ヲ押シ一部貸越ノ時ニハ預リノ金額ニ貸又ハ預リノ印ヲ貸越ノ金額ニ借ノ印ヲ押スヲ異リトス

### 預金利息計算法

預金ノ利息ハ特約アルモノ、外ハ預金ノ當日ヨリ拂戻ノ前日迄ヲ年利率又ハ日歩ニヨリ計算スルヲ普通トスト雖モ貯蓄預金ノ如ク年利率ニヨリ利息計算ヲナス零細ナル當座預金ニ有テハ預入又ハ拂戻ノ當該月又ハ當該半月ヲ除キタル中間ノ月又ハ半月ニ對シ利息ノ計算ヲナスヲ普通トス  
 定期預金又ハ別段預金ノ如ク一口毎ニ別個ノ預金トシテ取扱フ預金ニ在テハ一口毎ニ利息計算ヲナスヲ以テ利ヲ付スル金額ハ常ニ一定セリ然レドモ當座預金ノ如ク一口座ノ内ニ於テ預金ト拂戻トヲ混同記入セルモノニ在テハ一日ノ内ニ於テ殘高ノ移動多ク從テ何レノ殘高ニヨリ利息ヲ計算スベキヤ當日ノ最高殘高ニ對シ利息計算ヲナス時ハ毎日早朝多額ノ預金ヲ受入レ過剩ノ資金ヲ夫々處置セル後ニ至リ突然多額ノ拂戻ヲ請求セラル、ガ如キ事ヲ生シ該資

金ヲ毫モ利用セズシテ多額ノ利息ヲ仕拂フガ如キ不條理ヲ生ズベシ故ニ最高殘高ニヨリ利息ヲ計算スル事預金ニ於テハ殆ンド絶無ニシテ概ネ最終殘高若クハ最低殘高ニヨリ利息ヲ計算セリ  
 最終殘高ニヨリ利息ヲ計算スル方法ハ日々ノ終ニ於ケル預金殘高ニヨリ計算スル方法ナリ即一日間ニ如何ニ多クノ受拂アリト雖モ當日ノ終ニ於ケル預金殘高ニヨリ計算スルヲ以テ當日預金ナカリシニ拘ハラズ營業ヲ終ル頃ニ至リ若干ノ預金ヲ生セバ該金額ヲ最終殘高トナスニヨリ之レヨリ利息ヲ計算スベキナリ又最低殘高ニヨリ利息ヲ計算スル方法ハ當日銀行ガ利用セシ預金ノ最高額ニ對シ計算スルモノニシテ換言スレバ預入ノ翌日ヨリ拂出ノ前日迄ヲ計算スル方法ナリ此方法ハ預金ノ受拂度數ヲ減少シ預金ヲ一日間ニ多額拂戻スコトヲ避ケ可成數日ニ分割シテ拂戻ノ請求ヲナサシメ又日々營業ノ初ニ於テ多額ノ拂戻ヲ請求セラレ當日ノ終ニ於テ多額ノ預入ヲ受ケ當日若干ノ金ヲ無利息ニテ預金者ニ融通シ銀行ハ之ガ爲メ多額ノ支拂準備ヲ要スルガ如キ最高殘高計算法ノ缺點ヲ除クヲ得ルモノニシテ銀行ニ有利ノ計算法ナリ今各種預金ニ付計算法ヲ説明スレバ左ノ如シ

一、定期預金ハ普通年利ヲ以テ利率ヲ定メ預入ノ日ヨリ期日ノ前日迄利子ヲ計算シ期內拂戻ノ場合又ハ期日後ノ日數ニ對シテハ利子ヲ支拂ハザルコトアルベキ事ヲ豫約スルヲ普通トス而シテ期間ヲ年數又ハ月數ヲ以テ定メタルモノハ年利ヲ以テ計算シ日數ヲ以テ定メタルモノハ日歩ヲ以テ計算スト雖モ期內拂戻又ハ期日經過ノ分ニ對シ利息ヲ支拂フ場合ニハ總テ日歩ヲ以テ計算ス此場合ノ日歩ハ特約アルモノ、外ハ金額ノ多少預リタル日數ノ長短預金當時契約ノ利率其後ノ金利繼續預入又ハ拂戻等ノ如何ニヨリ預入當時ノ契約利率ヲ超過セザル範圍ニ於テ部長又ハ主任ニ於テ決定スルモノトス而シテ預金後數日ヲ經過セズシテ拂戻スモノニ在テハ概シテ利息ヲ支拂ハズ

二、當座預金ハ普通ハ日歩ヲ以テ利率ヲ定メ預入ノ日ヨリ拂戻ノ前日迄ノ最終殘高ニヨリ計算セル銀行多シト雖モ又組合銀行申合セニヨリ日々ノ最低殘高ニヨリ計算セル地方アリ而シテ當座預金ハ特種ノモノ、外預金ノ期限ヲ定メザルニヨリ毎年一定ノ時期ニ於テ利息ヲ計算スルモノトス即例ヘハ某銀行ニ於テハ二月五月八月十一月ノ各下旬ニ於テ各其前句迄ノ

利息ヲ計算シ其句ニ於テ之ヲ元加セリ而シテ又當座勘定ハ利息決算期ニ於テ當座勘定決算書ヲ作り之ニ決算期末日ノ殘高及當該期間ノ利息ヲ記載シ預金者ノ計算ト對照セシムルヲ普通トス

三、小口當座預金ハ普通ハ日歩ヲ以テ利率ヲ定メ預入ノ日ヨリ拂戻ノ前日迄日々ノ最終殘高ニヨリ計算ス而シテ小口當座預金ハ當座預金同様預金ノ期限ヲ定メザルニヨリ毎年一定ノ時期ニ於テ利息ヲ計算スルモノトス例ヘバ六月十二月ニ於テ前六ヶ月分ノ利息ヲ計算シ當該月ノ初句ニ於テ之ヲ元加スルガ如シ而シテ當座勘定決算書ハ作成セズ

四、別段預金ハ利付ノモノアリ無利子ノモノアリ利付ノモノト雖モ預金ノ性質ノ異ルニ從ヒ利息ノ計算法亦一樣ナラス而シテ此種ノ預金ハ概シテ期日ヲ定メザレバ預入ノ日ヨリ拂戻ノ前日迄日歩ヲ以テ計算シ年利ヲ以テ定メタルモノハ預金日數ニ依リ年利又ハ日歩(年利ヲ日歩ニ直シタル)ニテ計算ス又預金ノ性質ニヨリテハ預入ノ日ヨリ拂戻ノ日迄利息ヲ計算スル事アリ

又當座貸越ニ在テハ貸出金爲替貸ヲ除クノ利息計算法ニ據リ貸出ノ日ヨリ返

金ノ日マデ日々ノ最終殘高ニ對シ利息ヲ計算ス例ヘバ千圓ノ預金殘高アリシ者ニ昨日預金全額ヲ拂出シ尙千圓ノ貸越ヲ生シ昨日ノ終ニ於テ五百圓入金シ本日更ニ八百圓入金シタル時ハ昨日ノ最終貸越殘高五百圓ニ對シ一日分ノ積數五百圓ト昨日及本日ノ返金高各五百圓トヲ合シタル千五百圓ハ所謂貸越積數ニシテ之ニ對シ貸越利子ヲ計算スヘキナリ而シテ貸越金額カ一旦返金済トナリタル當日再ヒ貸越トナリタル時ハ前日ヨリ繰越ノ貸越殘高ハ一旦返金ニヨリ消滅ニ歸シタルヲ以テ返金高ヲ貸越積數ニ加算シ更ニ貸越ヲ生シタルニヨリ該貸越ノ當日ノ最終殘高ニヨリ次ニ異動ノアル前日マテノ積數ヲ算出シ尙引續キ此方法ニヨリ貸越積數ヲ求メ之ニ返金額ヲ加算シテ貸越利子ヲ計算スルモノトス故ニ一日ノ中ニ貸越ト返金ト幾回モ反覆スルカ如キコトアラハ貸越積數ハ甚シク膨脹シ借越者ノ不利著ルシキナリ

### 預金取扱ニ 關スル注意

預金ハ銀行収益ノ源泉タルモノナレハ之カ取扱ニ關シテハ深ク注意スヘキナリ今其要點ヲ左ニ列記スヘシ

一、預金ハ銀行ノ貸出資金即營利資金トナルヘキモノナレハ銀行ノ面目ヲ損シ或ハ危險ヲ冒シ或ハ營利ノ目的ニ反スル等ノ事ナキ程度ニ於テ努メテ

多額ノ預金ヲ得ル事ヲ肝要トス而シテ預金者ハ兎角強硬不遜ノ態度ヲ以テ種々ノ難題ヲ持込ムモノナリト雖モ銀行ハ町重ニ之ヲ遇シ預金者ノ感情ヲ良好ニ保チツ、銀行ノ希望ヲ貫徹スル事ニ努ムヘキナリ

二、利率低ク且支拂準備ヲ要スル事少キ種類ノ預金ヲ成ルヘク多ク且永ク得ルヲ緊要トス利率低カラサレハ収益少ク支拂準備ヲ要スル事多ケレハ資金ノ死藏多クシテ利益ヲ減殺セラル、ナリ又之ヲ利用スルノ期間短カラシニハ之ニヨリ利益ヲ舉グル事或ハ困難ナルヘシ而シテ少額ノ預金ニ在テハ損益ノ額少キモ多額ノ預金ニ在テハ利率、支拂準備、期間ノ三者ヲ考量シ然ル後之レカ引受ノ可否ヲ決セサレハ金融事情ヲ除外スルモ尙損失ヲ免レサル事アリ

三、預金者又ハ借越契約者カ死亡セルニモ拘ハラス恰モ生存セルモノ、如ク裝ヒ遺族又ハ親戚等ニ於テ小切手ヲ振出シ或ハ預金ノ拂戻ヲ請求スル事アリ是等ハ遺産相續人ノ特ニ定マレルモノ、外家督相續人ノ相續スヘキモノニシテ他ノ者カ妄リニ本人ノ預金ヲ引出ス事ヲ得サルモノナレハ預金者ノ死亡セル事ヲ知リシ後ハ預金ノ拂戻ニ付テハ正當ノ相續人タル事

ヲ認タル後ニアラサレハ容易ニ支拂フヘカラサルナリ又此ノ場合ニ印章  
又ハ通帳ノ紛失盜難ニ罹ル事往々アルニヨリ預金ノ支拂ニハ印章ノ外通  
帳又ハ證書ノ提出ヲ求メ或ハ銀行所定ノ小切手用紙ヲ用フルヲ要件トセ  
リ從テ此等ニ關シ事故ノ發生シタル時ニハ正當預金者若クハ正當相續人  
ノ利益ヲ保護スル必要上是等ノ者ヨリ其旨直ニ届出テシムヘシ

四、印鑑ハ預金者ノ正否ヲ鑑別スル重要ナル材料ナレハ取引ノ當初ニ於テ預  
金者又ハ借越契約者ヨリ之ヲ取り嚴重ニ保管シ紛失盜難等ニ罹ラサル事  
ニ注意シ尙印鑑ノ整理方法ニ深ク意ヲ用ヒ速ニ所要ノ印鑑ヲ索出シ得ヘ  
ク又甲ノ位置ヨリ乙ノ位置ニ移シ易ク且改印等ノ場合ニ直ニ取扱ヒ得ヘ  
キ方法ニテ整理シ不用ノ印鑑ハ後日ノ索出ニ便ナル様保存スヘシ面シテ  
預金又ハ貸越金ノ支拂ニ方テハ充分入念ニ支拂證書ノ印影ヲ印鑑ニ照  
合スヘシ

五、銀行ノ發行スル證書及通帳ニ記入スル文字及數字ハ總テ鮮明ニ記載シ誤  
字脱漏ナカルヘキハ勿論成ルヘク町重ニ認メ妄リニ畧字ヲ用ヒ又ハ記入  
ヲ省略スル等ノ事ナキヲ勉ムヘシ又通帳及證書ニ記載スヘキ數字ハ總テ

#### 繁書ノモノヲ用フヘシ

六、當座取引先ニハ小切手用紙ヲ交附スルヲ以テ信用ナキ者ニ之ヲ交附シ小  
切手ノ呈示ヲ受タル節支拂難キ場合ニハ單ニ振出人ノ信用ヲ失フノミナ  
ラス之ト取引スル銀行ノ當座取引先ノ内ニハ之ト同様ノモノ他ニモアル  
ヘキカノ如ク一般ヨリ見做サレ他ノ信用アル取引先ノ振出シタル小切手  
ト雖モ銀行ニ殘高ノ有無ヲ問合ハシタル後ニアラサレハ受取ラサルカ如  
キ事トナリ信用アル取引先ノ迷惑多ク遂ニハ此ル銀行ト取引スルヲ好マ  
サルニ至ルヘク又他ヨリハ該銀行ノ營業振放漫ニシテ堅實ヲ缺クカ如ク  
思ハレ其信用ヲ傷ツタル事尠カラス之ニ反シ銀行ニ於テ取引先ヲ選擇シ  
信用アル者ノミヲ以テ當座取引先トナセハ此ル者ノ振出シタル小切手ハ  
些シノ支障ナク轉帳流通シ取引先ノ便宜少カラサルナリ且此ノ如クニ至  
レハ此ノ如キ良取引先ノミヲ有スル銀行ト取引スル事カ取引先ノ誇トス  
ルニ至ルヘキヲ以テ良好ナル取引先ヲ自然ニ引寄せ銀行繁榮ノ基礎トナ  
ルニ至ルヘキナリ是ヲ以テ當座取引先ハ充分ニ選擇スヘキナリ

#### 保護預

保護預リハ所有者又ハ管理者ノ依頼ニヨリ此等ノ人ニ代リ有價證券又ハ其他ノ物件ノ預託ヲ受ケ之ヲ管理スルヲイフ即或物品ノ所有者又ハ管理者ハ之ヲ自己ノ手許ニ保管スルノ危険ヲ防キ又利札ノ附屬スルモノニ在テハ利渡期ニ利金ノ受入ヲナスコトヲ忘レサラン事ト之ヲ受入ル、ノ手數トヲ省カンカタメニ銀行ニ保護預ヲ依頼スルモノニシテ銀行ハ受託ノ趣旨ニ基キ誠實ニ之ヲ手許ニ保管シ決シテ他ニ之ヲ使用スヘキモノニアラサルナリ

保護預リハ之ヲ大規模ニ營ムト極メテ小規模ニ營ムトニヨリ設備ニ大ナル相違アリ大規模ニ營ムモノニアリテハ之カ爲ニ特ニ堅牢ナル建物ヲ設ケ此内ニ數多ノ保護預リ箱ヲ設ケ之ヲ依頼者ニ貸與シテ收利ヲ圖ルモノアルモ之ヲ小規模ニ營ム者ニ在テハ預金又ハ貸出ノ取引先ノタメニ金庫ノ一部ヲ割キ之ニ保護預リトシテ預託ヲ受タル物件ヲ保管スルモノアリ又之ヲ大規模ニ營ム者ニ在テハ保護預リノ手數料一定セルモ小規模ニ營ム者ニ在テハ強チ一定ノ手數料ヲ徴スルニアラス取引先トノ取引關係ニヨリテハ之ヲ免除スルモノアリテ一概ニ說クコト能ハサルナリ

保護預リノ申込ヲ受タル時ハ預ケ主ヨリ保護預依頼書及印鑑ヲ徴シ依頼書ヲ

保護預品ニ照合シ手數料ヲ收受スヘキモノハ之ヲ收納スル手續ヲナシ保護預品ニ保護預證書ヲ添ヘテ保管係ニ引渡セハ該係ハ物件ト證書トヲ照查シ證書ヲ支配人ニ提出シテ認印ヲ受ケ保護預品ハ保管係ニ留置キ證書ヲ預金係ニ廻セハ同係ハ證書ノ記入事項及捺印等ヲ調査シ尙手數料ノ收納済トナリシヤ否ヤヲ取調タル後證書ヲ預ケ主ニ交付スルモノトス而シテ預金係ハ保護預依頼書ニヨリ保管品ノ傳票ヲ作り簿記方ヲシテ保護預ノ帳簿ニ記入セシメ次テ保管品傳票ニ依頼書ヲ添ヘテ支配人ノ認印ヲ受ケ依頼書ハ係ニ留置キ保管品傳票ヲ保管係ニ送附セハ同係ハ彙ニ預金係ヨリ預リタル保護預品ニ照合シテ保管品傳票ニ捺印シ預金係ニ送附スレハ同係ハ之ヲ番號順ニ整理保存スルモノトス

保護預リ品ノ内渡又ハ増入ハ保護預品内渡依頼書又ハ増入依頼書ニ記名調印セシメ彙ニ交付シタル保護預證書(裏面受取欄ニ署名調印シタルモノ)ヲ添ヘ提出セシムヘシ係員ハ預ケ主ノ印鑑ニ照合シ相違ナキ時ハ保管品傳票ニ交換拂出濟印ヲ押シテ一旦拂出ノ手續ヲナシ今後預ルヘキ物品ニ對シテハ新ニ預入ノ事ニナシ前記ノ手續ニ準シ交換受入濟ノ印ヲ押シ取扱フモノトス故ニ拂出

スヘキ物件ノ數量ト受入ルヘキ物件ノ數量トノ差ハ内出又ハ増入トナルヘキモノニテ此數量ヲ現物ヲ以テ受拂ヲ要スルモノトス  
保護預品ノ拂戻ハ保護預證書裏面受取欄ニ預ク主署名捺印ヲナシ提出セハ預ケ主ノ印鑑ニ照合シ保管品傳票ニ拂出濟印ヲ押シ主任之ニ押印シテ簿記方ニ廻シ帳簿ニ拂出事項ヲ記入セシメタル上支配人ニ提出シ認印ヲ得テ保管係ニ送付スレハ同係ハ之ヲ拂出シ預金係ニ交付シ預金係ヨリ預ケ主ニ返戻スルモノトス

### 第三章 爲替係

爲替ノ意義

爲替トハ隔地者間ニ現金ヲ送附スルコトナクシテ債權債務ヲ決済スル方法ヲ謂フ

爲替ノ區別  
一、關係スル國ノ上ヨリ

爲替ハ其關係スル國ノ上ヨリ之ヲ内國爲替ト外國爲替ト又國際爲替トニ區別スルコトヲ得ヘシ即手形關係人カ總テ同一國內ニ在ル時ハ之ヲ内國爲替ト謂ヒ手形支拂人ト其他ノ關係人トカ互ニ國ヲ異ニシテ存在スルトキハ之ヲ外國爲替ト謂フ而シテ本章ニ於テハ内國爲替ニ付説明スヘシ

二、記帳ノ上ヨリ

兩銀行間ノ爲替取引ハ相互ノ間ニ當座勘定ノ取引ヲ行フニ在ルナリ即貸越契約アルモノニ在テハ互ニ預金及貸越ノ取引ヲ行ヒ貸越契約ナキモノニ在テハ單ニ預金取引ノミヲ行フナリ而シテ甲銀行カ乙銀行ニ有スル當座勘定ト甲銀行ニ於テ乙銀行ノ爲ニ設クル當座勘定トハ明カナル區別ヲ設クルニアラサレハ甲銀行ハ乙銀行トノ取引ニヨリ受拂セシ金額ヲ混亂シ決算ニ際シ困難スルコト少カラス例ヘハ第三者タル丙ヨリ甲銀行分トシテ乙銀行ニ千圓ヲ振込タルトキ甲銀行ハ之ヲ以テ自行カ乙銀行ニ預金セシモノトシテ帳合スヘキカ又

ハ乙銀行ヨリノ預金ヲ拂戻シタルモノトシテ帳合スヘキカハ明カナル標準ノ設ケラレサル限リハ疑ヲ生スヘク乙銀行ニ於テモ丙ヨリ甲銀行分トシテノ振込金ハ之ヲ甲銀行ヨリノ預金トスヘキモノナルカ將タ乙銀行ヨリ甲銀行ヘ預金セシ金ヲ回收セシモノトシテ帳合スヘキカニ付疑ヲ生スヘシ而シテ兩銀行ノ帳合幸ニ一致スレハ可ナルモ若一兩銀行各解釋ヲ異ニシ帳合ノ一致ヲ缺タル場合ニハ取引ヲ重ヌルニ從ヒ整理益困難トナルヘク又此困難ヲ除カンカ爲ニ取引毎ニ一々雙方打合ヲナシ記帳スルカ如キコトハ迂ノ極ニシテ行ヒ得ヘキモノニアラス茲ニ於テ爲替勘定ヲ當方口先方口ノ二ニ分チ總テノ爲替取引ヲ此二種ノ内孰レカニ屬セシムルコト、セラル、ニ至レリ

當方口トハ當行カ先方銀行ニ對シ取引ヲ仕向クルヨリ起ル勘定ヲ謂フ送金爲替又ハ他所代金取立手形ノ取引ヨリ起ル勘定、當行爲替取引先ニ於テ當行ニ在ル取引先ノ勘定ニ振込ヲ受タルヨリ起ル勘定ハ皆當方口ヲ以テ處理ス

之ニ反シ先方口トハ先方銀行ヨリ當行ニ對シ取引ヲ仕向ラレタルヨリ起ル勘定ヲ謂フ送金爲替ノ支拂、當所代金取立手形ノ取立ヨリ起ル勘定又ハ先方銀行ノ取引先ノ勘定ニ振込ヲ受タルヨリ起ル勘定等ハ皆先方口ヲ以テ處理ス(取引

三、事務ノ上ヨリ

先ノ勘定ヘノ振込金ノ整理ニ關シテハ之ト反對ノ方法ヲ探ルモノアリ本章第三節振込金ノ受拂ニ於テ説明スヘシ

爲替勘定口座ノ區別ハ如此明ニ區別シ得ルカ如キモ之ヲ實際ニ照セハ區別明カナラサルモノアリテ取引銀行間ニ往々爭議ヲ生スルコトアリ此ル場合ニハ能ク其初ニ遡リ該勘定カ當行ノ利益ノ爲ニ生セシヤ將又先方ノ利益ノ爲ニ生セシヤヲ探究シ然ル後口座ヲ定ムルヲ可トス又此ル爭議ヲ避ケルタメ豫シメ取扱口座ヲ協定スルコトアリ

爲替ハ又事務取扱ノ上ヨリ普通之ヲ左ノ五ニ區別ス

一、爲替ノ受拂 先方銀行ニテ支拂ハシムルタメ當方ニテ爲替資金ノ受入ヲナシ又ハ先方銀行ニテ受入タル爲替資金ヲ當方ニテ正當受取人ニ支拂フコト

二、代金取立 他所ニテ支拂ハル、手形證書等ヲ所持スル者ノ委託ヲ受ケ先方銀行ヲシテ此等手形證書ノ代リ金ヲ取立シメ又ハ先方銀行ノ委託ニヨリ當所ニテ支拂ハル、手形證書等ノ代リ金ヲ取立ツルコト

三、振込金ノ受拂 先方銀行又ハ先方銀行取引先ノ勘定ヘノ振込金ヲ受入レ

又ハ先方銀行ニテ受入レタル當行又ハ當行取引先ノ勘定ヘノ振込金ヲ拂出スコト

四、付替 當方ト先方銀行ト第三者タル銀行トノ間ニ預ケ替、借替等ヲナスコト又預リ替、貸替等ヲセラル、コト

五、雜 爲替利息又ハ立替金ノ受拂其他前記孰レニモ屬セサル爲替事務ニシテ普通ニ前記振込金ノ受拂ト合シテ之ヲ雜勘定ト稱ス

爲替取引ハ同業者間ノ取引ナルヲ以テ預金又ハ割引ニ於テ普通ノ顧客ニ對シテ行フ所ノ取引ト其趣ヲ異ニスル所ナキニアラス即左ノ如シ而シテ是等ノ點ハ爲替事務ニ限り存在スルモノニアラスト雖モ現今ノ事務取扱上爲替事務ニ普通存在スルモノトシテ列舉セントス

一、取引開始前雙方ノ間ニ豫シメ書面契約ヲ要スルコト

二、爲替尻受拂ノ都度報告ヲ作り先方銀行ノ書面承認ヲ求メ尙或期間中ノ先方口勘定書ヲ作り其都度先方銀行ノ書面承認ヲ求ムルコト

三、要求拂ナルコト

四、資金ノ受拂ハ取引者一方ノ意思ニテ任意ニ處理シ得ラル、コト

爲替事務ニ  
特殊ノ点

爲替取引ノ  
開始

五、資金ノ授受ニ第三者ヲ利用シ得ルコト

六、起算日制度ナルコト即爲替尻利息ヲ附スルハ受拂ノ勘定ヲ起ス日附ニヨリ計算シ記帳日ニヨラサルモノトス

七、爲替尻利息ハ日々ノ最終殘高ニヨルコト

八、爲替尻利息割合ハ雙方ノ協定ニヨルコト

某地ニ對スル爲替事務ヲ處理スルニハ該地ニ在ル銀行ト爲替取引ヲ契約シ然ル後取引ヲ開始スヘキモノトス該地ニ當行ト取引シ得ヘキ相當信用アル銀行店舗ノ設ナキ時ハ該地附近ノ地ニ在ル相當信用アル銀行又ハ其地ト取引アル他ノ相當信用アル銀行ト爲替取引ヲ契約スヘキナリ而シテ爲替取引ノ契約ハ銀行代表者及監督ノ關係ヨリ主トシテ本店ニ於テ行フモノナレハ取引ノ開始ヲ必要トスル店ハ先ツ之ヲ本店ニ申出テ本店ヨリ先方銀行ノ本店ニ取引締約ノ申込ヲナシ承諾ヲ得テ契約書ノ取替セラナシ後本店ヨリ關係店ヘ締約濟ノ通知ヲナセハ取引店相互ノ間ニ印鑑署名鑑及送金手形見本ノ取替セラナシ然ル後取引ヲ開始スルモノトス而シテ一旦取引ヲ開始シタルトキハ互ニ信用ヲ重シ之ヲ傷タルカ如キコトナキ様注意シ萬一取引上ノ危險ヲ感スルカ如キコ



トアラハ或ハ取引ヲ一時中止シ甚シキハ契約ヲ解除スヘキナリ

### 第一節 爲替ノ受拂

送金爲替ノ  
意義

爲替ハ隔地者間ノ貸借ニ現金ヲ輸送セス手形ヲ送附シ之ニヨリ貸借ヲ決済スル方法ニシテ爲替ノ受入ハ送金依頼人ヨリ爲替資金ヲ受入レ送金手形現今ハ概チ小切手ヲ用フヲ發行シテ依頼人ニ交付スル事ヲ謂ヒ爲替ノ支拂トハ送金手形ヲ名指人又ハ持參人ニ支拂フコトヲ謂フ而シテ電信爲替トハ送金手形ノ發行ニ代ユルニ電信ヲ以テ支拂銀行ニ取組金額受取人等ヲ通知シ支拂銀行ハ送金手形ノ代リニ案内電報ヲ證トシテ支拂フモノナリ而シテ送金爲替ハ普通ト電信トヲ問ハス爲替資金ノ現存スル程度ニ於テ支拂ハル、モノナリ

爲替資金

凡爲替資金ハ或銀行ト爲替取引ヲ繼續スル間該銀行ニ向ヒ何時送金取組ノ依頼ヲ受クルモ能ク之ニ應センカタメニ先方銀行ニ存置スヘキ資金ナリ然レトモ爲替資金ハ現實ニ先方銀行ニ預託ヲ要スルモノニアラス必要ニ際シ何時ニテモ所要額ヲ補充シ得ル方法ヲニ備ラハ恰モ爲替資金ヲ先方銀行ニ預託セルト同一ノ効果ヲ得ヘシ即爲替資金ハ

一、先方銀行ヘノ爲替預金

二、爲替借越極度額

三、先方銀行ニ取立ヲ託シタル手形ニシテ當日取立済トナルヘキ金額

ヨリ成立ツヲ以テ平素取引ノ繁閑多少ヲ顧慮シ適宜ニ資金ヲ接排スヘキナリ而シテ先方銀行ノ本支店又ハ其他ヨリ付替又ハ振込ノ金額ハ該銀行ヘノ爲替預金ノ増加又ハ爲替借越金ノ返済トナリ隨テ爲替資金ノ一部ヲ構成スルニ至ルヘキナリ

爲替資金ヲ取引先毎ニ或ハ地方毎ニ分置スル時ハ之ニ要スル爲替資金ハ著ルシク多額ニ上ルヘシ又之ヲ節約セハ資金ハ極テ少額ノモノトナルヘシ資金少ケレハ稍多額ノ送金ニモ直ニ資金ノ送附ヲ要シ資金多ケレハ死藏多クシテ利ヲ得ルコト少シ之ヲ以テ多クハ金融系統ノ中樞タル若干ノ大銀行ニ資金ヲ分置シ必要ニ應シ何時ニテモ資金ノ分割ヲナシ得ル様ニナシ努メテ爲替資金ノ節約ヲ圖レリ而シテ支店制度ヲ採用スル銀行ニ於テ爲替尻ヲ數個ノ大銀行ニ集中セントスル時ハ此爲替尻集中店ハ特殊ノ事情ノ存在セサル限り本支店共同一ノ銀行ナルヲ可トス是爲替尻集中ノ効果ヲ最大ナラシムルモノナルヲ以

テナリ

普通送金

普通送金ハ急速ニ資金ノ送附ヲ要セサルカ或ハ急速ヲ要スルモ支拂地ニ向ケ  
電信送金取組ノ便ヲ缺クカ若クハ取組困難ナル場合ニ送金依頼人ノ依頼ニ原  
ツキ送金用ノ爲替手形又ハ小切手以下單ニ送金手形又ハ手形ト記スヲ取組銀  
行ニ於テ發行シ送金依頼人ヨリ送金受取人ニ該手形ヲ送附シ手形ニ記載セル  
宛名銀行ハ之ヲ證トシテ受取人ニ手形面金額ヲ支拂ヒ之ニヨリ土地ヲ異ニス  
ル甲乙兩者間ノ貸借ヲ決済スル方法ナリ

送金取組ノ依頼ヲ受タルトキハ送金ヲ要スル地ニ爲替取引先ノ有無及送金取  
組限度等ヲ調査シ然ル後依頼ニ應シ手形ヲ發行スルモノトス之ヲ發行スルニ  
ハ受付ニテ送金依頼人ヨリ送金ニ關スル要項即送り先金額受取人ヲ(持參人拂  
記名式等ノ形式ヲモ共ニ)聽取り尙銀行渡リ指定ノ要否ヲモ糺シ之ヲ送金依頼  
紙ニ記入シ之ニヨリ收納傳票他ノ勘定ト振替トナルヘキモノハ振替傳票ヲ作  
リ依頼人ヲシテ收納方ニ送金資金(手數料ヲ要スルモノハ之モ共ニ)ヲ振込マシ  
ムヘシ面シテ收納方ヨリ收納傳票ニ收納濟印ヲ押捺シテ爲替係受付ニ廻付サ

取組

ル、マテニ受付ハ送金手形ヲ作成シ傳票ト共ニ部長ニ示シテ手形ニ署名捺印  
ヲ受ケ係主任ハ手形ノ形式等ヲ充分調査シ受付ヲ經テ送金依頼人ニ手形ヲ交  
付スルモノトス

送金爲替ノ取組ヲナシタル時ハ當日支拂銀行ニ向ケ取組案内ヲ發スヘキモノ  
トナセリ然レトモ少額ノ送金爲替ハ先方ニテ之ヲ支拂フモ手許準備金ニ變動  
ヲ生スルコト少キニヨリ取組案内發送ノ手續ト費用トヲ節約スルタメ近來取  
組案内ノ發送ヲ省略スルモノ多シ從テ此ル送金手形ヲ支拂フニハ單ニ手形其  
者ニ就キ正否ヲ檢シ不都合ナキ時ハ爲替資金ヲ超過セサル限度ニ於テ支拂フ  
ノ外ナキナリ然レトモ之ト反對ニ多額ノ送金爲替ハ先方ニテ手許準備金ニ變  
動ヲ與ヘ其額ニヨリテハ一時支拂不能ノ如キ醜態ヲ生シ支拂銀行ノ迷惑少カ  
ラサルヲ以テ金額ノ大ナルモノハ電信又ハ電話ヲ以テ支拂銀行ニ取組案内ヲ  
ナスヘシ(電信又ハ電話ニテ取組案内セシモノト雖モ尙爲念書面ヲ以テ案内ス  
ヘキモノトス)此ノ如クスレハ支拂銀行ニ迷惑ヲ及ホスコト少ク且不正手形ノ  
危険ヲ若干豫防シ得ヘキナリ取組案内ノ記載例左ノ如シ

例一、大正六年六月三十日中京銀行ニ於テ勝野一太郎ヲ受取人トシ大阪銀行

ニ宛テ送金小切手第六七四號金八萬圓ヲ發行ス

爲替勘定受拂報告書

大阪銀行御中

6.6.30.

中京銀行

額	要	起算日	借	方	貸	方
送金 674	勝野一太郎	參	着		80,000.00	

説明 此場合大阪銀行ニ宛テ發行後直ニ八萬圓送金取組ンダ支拂頼ム資金ハ日本銀行當座勘定付替ニテ送附セリトイフカ如キ電報ヲ發スルヲ可トス而シテ尙大阪銀行ニ對シ爲替勘定受拂報告書ヲ以テ右送金取組ノ案内ヲ發スヘシ此案内ニハ振出日付送金手形番號及金額ヲ必ス記載シ受取人ヲ特定セルモノハ特定受取人ヲ支拂期日ヲ確定セルモノハ支拂期日ヲモ右ノ案内ニ記載スヘシ(支拂期日ヲ確定セルモノハ小切手ノ代リニ爲替手形ヲ發行スヘシ)即振出日付ハ報告書ノ日附ニヨリ金額ハ貸方ニ記入シ特定受取人ナキトキハ受取人氏名ヲ記載スルヲ要セサルモ特參人ト記入スルハ妨ナシ支拂期日ヲ定タルモノハ起算日欄ニ支拂期日ヲ記入シ(實際ノ支拂ヲナスハ該期日若クハ其後ナルヲ以テ支拂セシ後ニアラナレハ起算

日確定セス隨ツテ支拂期日ヲ記入スルニハ墨書セスシテ朱書スルヲ可トス(參着拂ノモノハ起算日欄ニ參着ト記入スルカ若クハ斜線ヲ引キ或ハ何等記入セスシテ可ナリ)

注意 爲替勘定受拂報告書ニハ總テ先方銀行ニ通知セル社印略印又ハ代表者ノ認印ヲ押捺シテ發送スルヲ要ス是報告書ヲ以テ受拂ノ證據書トナスカ故ナリ又報告書ニ欄ヲ設ケ貸方借方ト記セルモノハ報告ヲ受クル者ヲ主トシテ區別セルナリ即借方トハ報告ヲ受クル銀行カ借トナル勘定貸方トハ報告ヲ受クル銀行カ貸トナル勘定ナリ

例二以下ノ記載例ニ於テハ爲替勘定報告書トイフ文字及各欄ノ表題ヲ記載セス隨テ罫線ノ一部ヲ省略スルモ各欄ノ順序ハ之ヲ變更セス

送金手數料ハ現今各銀行共概シテ之ヲ要求セスト雖モ僻遠ノ地又ハ爲替出合ノ困難ナル地ヘノ送金ニハ普通若干ノ手數料ヲ求ムルモノアルカ如シ是等ノ手數料ハ全部取組銀行ノ所得ニ歸スルモノアリ或ハ爲替料トシテ先方銀行ニ支拂フモノアリ而シテ取扱上一日又ハ數日ノ爲替借越利息ノ支拂ヲ要スルカ如キ地方又ハ取組金額ニ應シ先方へ電報又ハ其他ノ方法ヲ以テ取組案内ノ至

## 支拂

急發送ヲ要スルカ如キ地方ヘノ送金ニハ先方銀行ヘ支拂フ爲替料ノ外ニ金額又ハ口數ニ應シ手数料ヲ要求スルコトアリ

爲替ヲ支拂フニハ先ツ手形ノ宛名カ正シキヤ否ヤ又記名式ナルヤ無記名式ナルヤ記名式ナルトキハ手形所持人ハ正當受取人ナルヤ否ヤ或ハ又手形形式ノ完備セルヤ否ヤ等ヲ取調ヘ且手形ノ眞僞爲替資金ノ有無取組案内アルモノハ手形ノ要項カ案内ト符合スルヤ否ヤ等ヲ調査シタル後支拂フヘキモノト認タルトキハ部長ノ認印ヲ得テ爲替係ヨリ出納係ニ廻付シ現金ノ支拂ヲナサシメ他ノ勘定ト振替トナルモノハ振替傳票又ハ收納傳票ヲ作り振替ノ手續ヲナシ後記帳ヲナシ支拂濟手形ハ當日ノ分ヲ一括シ支拂證憑書之ヲ他ニ代用シタル時ハ該代用物件トシテ商法規定ノ期間保存スルモノトス

手形ノ眞僞鑑定ニ最重要ナル材料ハ印鑑(署名鑑ヲ含ム)及手形見本トス印鑑ハ爲替取引先ニ於テ係員ノ移動印章變更等ノ都度送付シ來ルモノナレハ少シタ之カ整理ヲ放置セハ殆ント收拾スヘカラサルモノトナリ手形ノ正否判別ニ甚シキ困難ヲ生スヘシ殊ニ印鑑一部ノ變更ニシテ全部ノ印鑑送附ナキトキハ之カ整理ハ一層困難トナルヘシ是ヲ以テ印鑑ハ當方所定ノ用紙ニヨリ最初一回

各取引先ヨリ之ヲ求メ爾後修正加除ヲ要スルトキハ其都度當方所定ノ印鑑用紙ニ全部書替記入セシメ之ヲ保管セハ印鑑ハ常ニ見易ク整然保存セラレ屢々大整理ヲ行フノ要ナク勞力ヲ省キ危險ヲ減スル利益大ナリ

手形見本ハ印鑑ト異リ一部分ノ修正加除ト雖モ手形全體ヲ改刷シタル見本ヲ受クルヲ以テ其都度之ヲ相當欄ニ貼付シ業務ノ餘暇ヲ以テ舊手形用紙ヲ除去シ之ヲ別ニ整理保存スヘシ又手形ニ表示スル事項中支拂銀行ヲシテ一々對照セシムヘキ事項又ハ支拂ニ付テ參照スヘキ事項ハ之ヲ手形見本ニ表示シ或ハ記入セシムヘシ

送金手形ヲ支拂タル時ハ其支拂カ正當ナリシヤ否ヤ即僞造又ハ變造ノ手形ヲ支拂シ事ナキヤ又ハ他銀行宛ノ手形ヲ支拂シ事ナキヤ否ヤ等ヲ確メ且取組銀行ヲシテ送金手形ノ決濟如何ヲ知ラシムルタメ支拂銀行ヨリ取組銀行ニ向ケ支拂ノ當日又ハ其後若干日ノ間ニ支拂濟報告ヲ發送スルモノトス而シテ又場合ニ依リテハ支拂濟報告ニ代ユルニ毎月先方口爲替勘定書ヲ作成シ取組銀行ニ送附スルモノモアリ即是等ハ雙方ノ申合セニヨリ適宜定ムヘキモノニシテ取引ノ繁閑帳簿ノ組織等ニヨリ一樣ナラサルナリ

例二、大正六年七月一日大阪銀行ニ於テ前例ノ送金小切手ヲ支拂フ

中京銀行御中 67.1. 大阪銀行

支手 674. 7 1 80,000

説明 送金手形支拂ノ場合ニハ手形番號支拂日付金額ヲ記載スルヲ要シ受取人ハ記載スルヲ要セス支拂タル金額ハ借方ニ記入スヘシ

未拂ノ整理

送金取組ヲナシタル後數年ヲ經ルモ支拂銀行ニ對シ支拂ヲ求メサルモノアリ是等ハ爲替勘定突合セノ際該金額ヲ控除スルニアラサレハ當方ノ記帳ト合致セサルヲ以テ事故記入帳ノ中ニ一口座ヲ設ケ毎半期之ヲ取調ヘ此内ニ記入シ其後支拂濟トナルカ或ハ組戻トナルカ又ハ他ノ勘定ニ振替タル時於テ該口座ニ其顛末ヲ記入シ整理濟ノモノト然ラサルモノトヲ一見區別シ得ラル、如クスヘシ

此ノ如ク事故記入帳ニ未拂爲替ヲ記入シ置クト雖モ爲替尻ノ整理ニ於テハ常ニ該金額ヲ斟酌セサルヘカラス又事故記入帳ニ記入後久シキ間未整理ノマ、ニ存スルトキハ一時之ヲ別段預金勘定ニ移シ整理スルヲ可トス

例三、同日中京銀行ニ於テ例一ノ送金ヲ依頼人ノ請求ニヨリ組戻ヲナス

大阪銀行御中 67.1. 中京銀行

送金 674 組戻 80,000

説明 一旦取組タル送金モ俄ニ送金ヲ要セサルニ至ルカ或ハ送金額ヲ變更スルカ或ハ受取人カ居所ヲ移シタル等諸種ノ事情ニヨリ送金ノ組戻ヲナスコトアリ然レトモ送金ノ組戻ハ最初取組ノ依頼ヲナシタル本人ノ請求ニヨリ行フモノニシテ手形所持人ノ依頼ニヨリ組戻ヲナスハ例外トス此例外ノ場合ニハ手形所持人カ送金依頼人ヨリ正當ノ順序ヲ經テ該送金手形ヲ所持スルニ至リシ事ノ明カナルニアラサレハ妄リニ組戻ニ應セサルモノトス而シテ組戻ハ必ス送金手形ト引換ニ行フヘキモノニシテ手形ヲ銀行ノ手中ニ收メスシテ組戻ヲナスハ如何ナル場合ニテモ危險且誤謬ヲ生スヘシ之ヲ組戻手續ハ振替傳票ノ貸方又ハ支拂傳票ニ彙ニ取組タル時ト同一勘定ヲ以テ同一ノ記入ヲナシ送金依頼人以外ノ者ニ支拂ヲナス時ハ取組依頼人ノ名ニ代ユルニ組戻依頼人ノ名ヲ記スルコト之ニ組戻ノコトヲ附記シ且組戻スヘキ送金手形ニ組戻ノ日附及組戻ノコトヲ見易ク記入シ手形ニ消印ヲ施シ右傳票ニ添へ部長ニ示シ雙方ニ認印ヲ受ケ傳票

ハ關係々ヲシテ拂出ノ手續ヲナサシメ組戻濟手形ハ係ニ於テ日附順ニ綴  
込保存スルモノトス而シテ報告ニハ組戻ヲナシタル送金手形番號及組戻  
ノコトヲ摘要ニ金額ヲ借方欄ニ記入シ起算日ヲ記入セスシテ組戻日付ヲ  
付シ送金ヲ宛タル銀行ニ向ケ發送スルモノトス(送金案内ヲ發セザリシモ  
ノニハ組戻案内ヲ要セス)

電信送金

一般ノ説明

電信送金ハ普通ノ送金手形ノ發行ニ代ヘ支拂銀行ニ向ケ金額及受取人等ヲ電  
報シ支拂銀行ニ於テハ送金取組銀行即發信者ヨリノ電文ニ記載セル暗號ニヨ  
リ正當受取人ニ送金額ヲ支拂フモノナリ而シテ雙方銀行間ニ爲替取引開始ス  
ト雖モ之ト同時ニ電信送金ノ取扱ヲ開始スルモノニアラスシテ多クハ更ニ相  
方ノ協議ヲ經タル後取扱ヲ開始スルモノトス  
元來電信送金ハ雙方銀行間ニ取替ハセル暗號ニヨリ金額及受取人ヲ知り送金  
依頼人ヨリ受取人ニ宛タル電報又ハ文書ニヨリ正當受取人ヲ認定シ之ニ該金  
額ヲ支拂フ者ナレハ暗號ヲ嚴重ニ保管シ之ヲ他ニ洩ラサマルコト必要ナリ若  
之ヲ怠リ他ノ者ニヨリ盜用サルコトアラハ其危險測ルヘカラサルナリ

取組

電信送金ハ假字ヲ以テ記載セル電文ニヨリ送金依頼人及受取人ノ氏名ヲ支拂  
銀行ニ通知スルモノナレハ(多クハ受取人ノ氏名ノミヲ通知ス)送金依頼ヲ受ク  
ル時ニ於テ依頼人及受取人ノ氏名ノ正當ナル讀方ヲ聽取置キナシ得レハ送金  
依頼書ニ依頼人ヲシテ讀方ヲ傍記セシムルヲ可トス

又電信送金ハ詐偽ニ罹リ易ク危險多キモノナレハ支拂銀行ニ於テ受取人ニ爲  
替金ヲ支拂フニ際シ相當ノ保證人ヲ要求スルコトアルヘク萬一相當保證人ナ  
キ時ハ支拂ヲ拒絕スルヤモ計リ難キヲ以テ之ニ對シ異議ヲ唱ヘサルヘキコト  
ヲ豫シメ依頼人ニ通シ置クヲ可トス

電信送金ハ手續ノ相違電文ノ誤謬又ハ誤譯等ニヨリ照會往復ヲ要スルコト屢  
アリ危險亦之ニ伴フヲ以テ取組銀行及支拂銀行共爲替尻整理上好都合ナル時  
ノ外概シテ之レカ取組ヲ欲セサルモノトス故ニ多クハ必要ナル電報料ノ外ニ  
若干ノ手数料ヲ徴シ照會電報料、金利等ノ損失ヲ補ハントセリ

電信送金取組ノ依頼ヲ受タル時ハ取組先ノ有無及電信送金ニ關シ特約アルモ  
ノハ該特約ヲ調査シ然後取組ノ依頼ニ應シ依頼紙ニ必要事項ノ記入ヲ請ヒ  
之ニヨリ送金額及手数料ノ入金傳票又ハ振替傳票ヲ作り收納手續ヲナシ且此

間ニ電信送金取組證ヲ作り傳票ト共ニ部長ノ認印ヲ受ケ依頼人ニ交付シ更ニ  
 依頼紙ニヨリ電信送金取組帳ニ取組先番號金額依頼人受取人等ノ記入ヲナシ  
 之ニ爲替係主任及部長ノ認印ヲ得テ依頼紙ト共ニ庶務係ニ示シ取組先銀行ニ  
 對スル案内電報ノ發送ヲ求メ庶務係ハ豫テ取組先銀行ト取替ハセル暗號ニヨ  
 リ取組案内電報(誤謬脱漏ヲ防クタメ照校電報ヲ以テスルヲ可トス)ヲ發送シ之  
 カ手續濟ノ印トシテ同帳ニ庶務係主任者ノ認印ヲナシ送金依頼紙ト共ニ爲替  
 係ニ返附スヘシ爲替係ハ之ニヨリ取組先ヘ向ケ更ニ報告書ヲ以テ取組案内ヲ  
 作り然ル後關係帳簿ニ記入スルモノトス支拂銀行ニ向ケ發送スル受拂報告書  
 ノ記載例左ノ如シ

例四、大正六年八月三日中京銀行ニ於テ加藤三次郎ノ依頼ニヨリ勝野市太郎  
 ヲ受取人トシ大阪銀行ニ宛テ第一回第一號金貳千圓ノ電信送金ヲ取組ム

大阪銀行御中

683.

中京銀行

電信送金 1/1 勝野市太郎 參 着

2,000-

説明 此場合ニハ取組日付電信送金ナルコト、回數番號、受取人氏名及金額ヲ  
 記載シ取組銀行ヨリ支拂銀行ニ報告スルモノトス取組日付ハ報告ノ日付

支 拂

ニ據リ受取人氏名ハ往々電文ニ用タル假字ヲ記スル向アルモ正當ノ文字  
 ヲ記載スル方誤謬ヲ發見フルコト多シ電信暗號使用中時トシテ取組依  
 頼人ノ氏名ヲモ電報スベキコトヲ定タルモノアリ此ル向ニ對シテハ受拂  
 報告ニモ取組依頼人ノ氏名ヲ本字ヲ以テ依頼人某受取人某ト區別シテ記  
 載スヘシ起算日欄及金額欄ノ記入方普通送金ニ同シ又此場合ノ受拂報告  
 ハ封書ヲ以テ發送スル方暗號漏洩又ハ詐偽等ノ危險少シ  
 電信送金取組案内電報ノ譯文ヲ庶務係ヨリ爲替係主任ニ送附シ來リタルトキ  
 ハ該譯文カ偽造ニアラスシテ正當ニ作成セラレシモノナルヤ否ヤヲ調査シ主  
 任ハ譯文ニ記載セル電信送金ノ回數番號カ前回ニ引續キ順ヲ逐ヘルヤ否ヤ又  
 支拂資金ノ有無ヲモ取調ヘ回數番號ニ相違アルトキ又ハ支拂資金不足ニシテ  
 支拂難キ時ハ先方銀行ニ對シ直ニ電報ニテ照會シ案内電報譯文ハ主任ノ手許  
 ニ嚴重ニ保管シ當務者以外ノ者ヲシテ妄リニ閱覽セシメザラシムヘシ而シテ  
 先方ノ回答ヲ得テ支拂ヲナシ得ルニ至レハ受取人ヨリ請求アリ次第送金依頼  
 人ヨリ受取人ニ宛タル案内電報ヲ領收證ニ添ヘテ受取人ヨリ差出サシメ支拂  
 銀行ハ左ノ事項ヲ調査スルモノトス

一、受取人へノ案内電報ト支拂銀行へノ案内電報トニ於テ送金依頼人受取人及金額ノ一致スルヤ否ヤ

二、受取人へノ案内電報發局受付時刻ト支拂銀行へノ案内電報發局受付時刻ト略ホ一致スルヤ否ヤ(受取人へノ案内電報ハ支拂銀行へノ案内電報ニ示ス電信送金ニ對スル案内ナルヤ將又他ノ口ノ案内電報ナルヤヲ確ムルタメナルト他ニ不正手段ノ行ハレ居ルニアラサルカヲ確ムルタメ)

右取調ノ後支拂請求ノ者ヲ以テ正當受取人ト認タルトキハ受取人カ當行ト取引アルヤ否ヤ假令取引アリト雖モ身元不確實ニシテ保證人ヲ要スルモノナルトキハ保證人ノ身元ノ確否ヲ調査シ又取引ナキ者ニ支拂ヲ要スル時ニ在テハ受取人又ハ保證人ノ身元確實ナルヤ否ヤヲ調査シ不確實ノ者ニ對シテハ爲シ得ルタケ保證人ヲ設ケシメ又場合ニ依リテハ數人ノ保證人ヲ設ケシメ然ル後傳票ヲ作り或ハ電信送金領收證ヲ以テ傳票ニ代用シ先方口爲替尻ヨリ支拂フモノトス而シテ電信送金ハ前既ニ記スルカ如ク錯誤等生シ易キヲ以テ後日ノ争ト危險トヲ防クカタメニ電信送金トシテ支拂フ金ハ一旦預金勘定ニ振替ヘ然ル後支拂フヲ可トス

支拂濟ノ電信送金領收證受取人へ到着シタル案内電報及取組銀行ヨリ發シタル案内電報ノ譯文ハ之ヲ一綴トナシ前記ノ如ク或ハ之ヲ傳票代用トシ然ラサレハ之ヲ支拂證憑書トシテ保存スルコト各銀行夫々規定スル所アルカ如シ他店ヨリ仕向ラレタル電信送金ヲ支拂タル時ハ金額ノ多少ニ拘ハラズ即日取組銀行ニ向ケ受拂報告ヲ發送シ支拂濟ノコトヲ報告スルト共ニ過誤アラハ速ニ其旨通知ヲ受クヘキモノトス報告ノ記載例左ノ如シ

例五、同日大阪銀行ニ於テ勝野市太郎ニ例四ノ電信送金ヲ支拂フ

中京銀行御中

6.8.3.

大阪銀行

支拂電信送金 1/1 勝野市太郎

8

3

2,000

說明 此報告ニハ支拂電信送金ノ回数番號受取人支拂日即起算日支拂金額ヲ記載シ支拂銀行ヨリ取組銀行ニ宛テ發送スルモノトス受取人ノ名ハ本字ヲ以テ記載シ先方ニ於ケル記帳ト照合セシムヘシ其他ハ普通送金ニ同シ

電信送金取組依頼人ヨリ曾テ取組タル電信送金ノ組戻ヲ請求セラル、トキハ支拂銀行ニ向ケ暗號ヲ以テ支拂濟ナルヤ否ヤ若支拂未濟ナルトキハ支拂停止



又ハ組戻ヲ請求シ先方ヨリ承諾ノ返電ヲ得タル後曩ニ取組ノ際依頼人ニ交付シタル電信送金取組證ニ取組依頼人即領收證宛名人ノ裏書ヲナサシメ組戻ノ金額(電信爲替手数料及電報料ハ拂戻ヲ要セス)ヲ拂戻シ別ニ支拂銀行ニ向ケ報告書ヲ以テ組戻ノ報告ヲナシ先方ヨリ組戻承諾ノ答報ヲ得テ其手續ヲ終ルモノトス報告ノ記載例左ノ如シ

例六、大正六年八月四日例四ノ電信送金組戻ノコトヲ當日ノ依頼人加藤三太郎ヨリ中京銀行ニ申込アリ依テ同行ヨリ大阪銀行ニ電報ヲ以テ支拂濟ナルヤ否ヤヲ照會セシニ支拂未濟ニテ支拂停止承諾ノ旨返電アリシニ付曩ニ加藤三太郎ニ交付シタル電信送金取組證ニ裏書ヲナサシメタル上返附ヲ受ケ組戻ノ手續ヲナシタリ

大阪銀行御中

6.8.4.

中京銀行

電信送金 1/1 組戻

2,000-

説明 此報告ハ組戻日付電信送金ノ回数番號金額及組戻ノコトヲ記載シ電信送金取組銀行ヨリ支拂銀行ニ宛テ發送スルモノニシテ記載ノ方法總テ普通送金ニ同シ

例七、同年八月五日大阪銀行ニ於テハ例六ノ組戻ヲ承諾セリ

中京銀行御中

6.8.5.

大阪銀行

支拂電信送金 1/1 組戻 答報

2,000-

説明 此報告ニハ報告作成日付支拂電信送金ノ回数番號金額(貸方欄ニ)組戻ノコト及答報ナル旨ヲ記載シ取組銀行ニ宛テ發送スルモノトス

電信送金暗號

電信送金暗號ハ電信送金ノ取組及支拂ニハ最重要ナルモノニシテ之ニ示ス暗號ニヨリ回数番號及金額ノ通知ヲ受ケ且取組銀行ヨリ確實ニ發信セラレタルモノナルコトヲ認ムルモノナルヲ以テ取組銀行及支拂銀行共最嚴重ニ之ヲ保管シ暗號ノ漏洩又ハ盜用ヲ防止セサルヘカラス故ニ多クハ各店ノ主任者ニ於テ之ヲ保管シ主任者事故アル時次席者ニ於テ保管スル者トセリ而シテ如此重要ナルモノナルヲ以テ平素之ヲ堅固ナル鎖鑰ノ設アル場所ニ納メ寸時ト雖モ散亂セシメ又ハ外部ニ放置スヘカラサルナリ然ルニ保管者取扱上ノ疎漏ヨリ往々保管者以外ノ者ニ洩ル、コトナシトセス又電報頼信紙ヲ常ニ同一ノ者ニ託シ發送セシムルタメニ使者ノ周到ナル觀察ニヨリ暗號ヲ知ラル、コトナシトセサルニヨリ時々暗號ヲ取換ヘ此等ノ危險ヲ防クヲ可トス又電信送金暗號

ハ發送先毎ニ暗號ヲ異ニスルヲ可トス而シテ暗號ヲ作成シタルトキハ一々發送先ヲ記録シタル後先方銀行ノ主任者支配人若クハ此レカ代理人ニ宛テ親展書トナシ書留郵便ヲ以テ送附シ暗號一通毎ニ領收證又ハ預リ證ヲ求メ置キ後日暗號ノ返送ヲ受タル時該領收證又ハ預リ證ヲ返附スルモノトス  
爲替取引ヲ解約セシカ又ハ電信送金ノ取扱ヲ廢シタル時或ハ暗號ヲ更新シタル時ハ從來保管ノ暗號又ハ舊暗號ハ作製シタル銀行ニ速ニ返附シ曩ニ差出シタル預リ證又ハ領收證ノ返戻ヲ受クルカ或ハ返リ證ノ送附ヲ受クルモノトス

### 第二節 代金取立

#### 一般ノ説明

手形債權證書利賦札等ノ金額ヲ債權者又ハ所持人ノ委任ニヨリ債務者ヨリ取立ツルヲ代金取立ト謂ヒ之ニ用フル手形債權證書等ヲ總稱シテ代金取立手形又ハ略シテ代手ト稱ス

#### 代手ノ區別

支拂地ニヨリ代金取立手形ヲ當所代金取立手形及他所代金取立手形ノ二ニ分ツ當所代金取立手形ハ爲替取引先ヨリ取立ヲ託セラレタル代手及銀行所在地又ハ其附近ヲ支拂地トシ取立ノタメ他ニ送附ヲ要セザルモノニシテ當座取引

先又ハ普通顧客ヨリ取立ヲ託セラレタル手形ヲ謂フ他所代金取立手形ハ普通顧客又ハ爲替取引先ヨリノ依頼ニヨリ他ノ爲替取引先ヲシテ直接又ハ間接ニ代手ノ取立ヲナサシムルモノニシテ取立ノ爲手形ヲ爲替取引先ニ送附スルヲ要スル手形ヲ謂フ

爲替取引先ヨリ取立ヲ託セラレタル手形ニシテ他ノ銀行ニ轉送取立ヲ要スルモノハ先ツ之ヲ當所代手トシテ整理シ他ニ轉送スルニ際シ更ニ之ヲ他所代手トシテ整理スヘシ

取立ヲ託スル者ノ種類ニヨリ代手ヲ取組代金取立手形ト取立代金取立手形トノ二種ニ區別ス取組代金取立手形ハ當座取引先其他普通ノ顧客ヨリ取立ヲ託セラレタル代手ニシテ取立代金取立手形ハ爲替取引先ヨリ取立ヲ託セラレタル代手ナリ即此區別ハ普通顧客ヨリ取立ヲ託セラレタルト爲替取引先ヨリ取立ヲ託セラレタルトノ相違アルノミニテ各々當所拂ノモノト他所拂ノモノトヲ生シ取立代手ニシテ他所拂ノモノハ先ツ之ヲ取立代手トシテ整理シ之ヲ他ニ轉送スルニ際シ更ニ之ヲ取組代手トシテ整理スヘキナリ  
他所代金取立手形

他所代手ハ普通顧客ヨリノ依頼タルト一般銀行ヨリノ依頼タルトヲ問ハス取立委任ヲ受タル手形ハ一度之ヲ支拂地又ハ其附近ノ爲替取引先ニ送附シ取立ヲ委任スヘキモノナリ即自己ノ手ヲ以テ直接取立ツルニアラスシテ爲替取引先ノ手ニヨリ間接ニ取立ヲナスモノナリ之カタメ他所代手ハ支拂期日順ニ整理シ期日ノ接近スルニ從ヒ爲替取引先へ順次取立委任ヲナスヘキカ將タ受付當日直ニ爲替取引先へ取立委任ヲナスヘキカハ各銀行ノ事情ニヨリ一概ニ定メ難キモ經費之ヲ許セハ依頼ヲ受タル當日取立委任ヲナスヲ可トス

自行ニテ割引シタル他所割引手形ハ總テ他所代手ニ準シ取立ツルモノトス唯普通ノ代手ト異リ手形金不渡ノ場合ニ償還請求ノ手續ヲ履行スルノ必要上法定ノ手續ニヨルト否トヲ問ハス或種ノ手形ニ對シ先方銀行ニ或ハ拒絕證書ノ作成ヲ或ハ不渡ノ場合直ニ電信ノ通知ヲ依頼スル等ノコトアルヲ異リトス然レトモ他所割引手形ノ取立ニハ必ス前記ノ手續ヲ要スルモノニモアラス又他所代手ノ取立ニハ毫モ前記ノ手續ヲ要セサルニモアラス割引依頼人ヨリ何時ニテモ容易ニ償還ヲ受ケ得ラル、ニ於テハ此ル手數ヲ煩ハスヲ要セス又取立依頼人ヨリ特ニ依頼アルモノハ之ニ應シテ其手續ヲナセハ可ナルヲ以テ取立

ニ關シ特ニ先方銀行ニ依頼スヘキ事項アルトキハ引受又ハ支拂ノ拒絕ノ場合ニハ拒絕證書ヲ作成スルコト若クハ電報ニテ通知ノコト或ハ手形到着後直ニ引受ヲ求ムヘキコト等依頼スヘキ事項ノ要點ヲ認タル紙片ヲ手形ニ添付シ或ハ別ニ書面ヲ以テ依頼シ取立ニ關シ特別事項ノ依頼ナキ手形ト共ニ手形送附票ヲ添付シ普通ノ書留郵便又ハ配達證明郵便ヲ以テ先方銀行ニ向ケ發送シ取立ヲ託スヘキモノトス而シテ多額ノ手形割引手形代金取立手形ヲ問ハスヲ遠地ニ取立委任ヲナス時ハ取立依頼人ヨリ特別ノ依頼ヲ受ケサル時ト雖モ特ニ左ノ事項ヲモ併セテ依頼シ爲替資金整理ノ便ニ供スルヲ可トス

一、取立濟ノ上ハ直ニ電信ニテ通知アリタキ事

二、引受拒絕又ハ不渡ノ節ハ直ニ電信ニテ通知アリタキ事

代手ハ期日アルモノハ期日ニ參着拂ノモノハ參着ノ日ニ於テ取立濟ニナルヘキモノナリト雖モ實際ハ小切手又ハ銀行ヲ支拂場所ニ指定セル約束手形ノ外ハ期日取立濟トナルモノ少シ隨テ先方ヨリ取立濟報告ヲ受クルマテハ幾何ノ手形カ取立濟トナリタルヤヲ確知シ難ク先方ニ對シ大ナル爲替預ケヲ生セサルカ如クニ整理スルコト困難ナリ故ニ代手ハ特別ノ事情アルモノ、外ハ爲替

資金ヲ置クヘキ店ニ取立ヲ託スルヲ可トス然ルトキハ取立済ノ金員ハ爲替資金トナリ自然ニ該資金ノ調節ヲナシ得ラル、ノミナラス資金保管上安心シ得ラル、ナリ

然レトモ一地方ニ數個又ハ多數ノ爲替取引先アリテ此内信用スヘキ爲替取引先亦多ク是等ニ對シ常ニ親密ナル取引ヲ希望セル時ニ在テハ他所代手ハ是等ノ取引先ノ間ニ分チテ取立ヲ託スルヲ可トス即支拂場所ヲ指定セルモノハ該指定銀行ノ本店又ハ支店ニ送附シ或ハ支拂人ト親密ニ取引スル銀行ニ送附スヘシ此クスル時ハ取立ヲ託セラレタル銀行ノ感情ヲ融和シ且代手カ期日ノ手形交換時間後ニ支拂銀行ニ到着スル場合ト雖モ取立ヲ受クルコトヲ得テ取立依頼人ノ爲ニモ大ナル便利ヲ得ヘシ而シテ親密ナル取引ヲ希望セサル銀行ニ支拂場所ヲ指定セル手形其他手形交換所ヲ經由セスシテ取立ツヘキ手形等ハ總テ爲替資金ヲ存置スヘキ銀行ニ向ケ取立ヲ託スルヲ可トス

他所代手ノ取立委託ヲ受クルトキ之ヲ取立ノタメ爲替取引先ニ送附スルニハ相當ノ郵税ヲ要シ先方ニ着シタル後更ニ取立料ノ支拂ヲ要スルモノアリ又取立ニ關シ文書又ハ電報ヲ以テ往復照會ヲ要スルモノアリ加之取立済後爲替尻

### 取立後ノ注意

整理ノ爲ニ又多少ノ費用ヲ要スルヲ以テ係員ヲ置クニ要スル費用又ハ是等ノ取扱ニ伴フ危險ヲ除算スルモ相當ノ手数料ヲ受クルニアラサレハ爲シ能ハサルナリ是ヲ以テ一般的ノ定トシテハ取立手数料ヲ徴シ預金又ハ貸出ノ取引先ニ限り之ヲ免除スルモノ多シ

他所代手ノ取立済金額ハ特別ノ依頼アルモノ、外ハ依頼人ノ當座勘定又ハ他ノ預金勘定ニ振替入金スルヲ可トス何レノ勘定ニモ振替入金セサルモノハ現金ヲ以テ支拂フノ外ナキナリ此時ハ代手ノ受取證ニ裏書受取ヲナサシムルカ又ハ別ニ領收證ヲ徴スヘキモノナリト雖モ可成ハ代手ノ受取證ニ裏書セシメテ現金ノ支拂ヲナス方後日ノ行違ヲ防クニハ便宜多カルヘシ

他所代手ニ記セル受取人ノ氏名ト取立依頼人若クハ振替受入ルヘキ口座ノ氏名ト相違セルコト往々アリ此ノ如キ代手ハ取立委託ヲ受クル際受付ニテ取立依頼人若クハ振替受入ルヘキ口座ノ氏名ヲ代手ニ裏書又ハ捺印セシメ或ハ代手ノ一隅ニ鉛筆ニテ記入シ置クヲ可トス然ラサレハ後日取立済ノ上振替入金スヘキ口座ヲ誤リ又ハ之ヲ受入ルヘキ口座ナク或ハ現金ノ支拂ヲナスニモ差支ヘ處置ニ窮スルコトアルヘシ而シテ如此振替受入ルヘキ口座ナキモノ取立

依頼ノ不明ナルモノ又ハ現金ニテ支拂フヘキ取立金ハ一時之ヲ別段預金ニ振替整理スヘシ

多數他所代手ノ内ニハ支拂期日ヲ經過スルコト久シキニ抱ラス取立未済ノモ  
ノアリ又既ニ取立済ナルニモ拘ラス受入手續未済ノモノアリ又先方ニテ取立  
濟報告ヲ洩ラセルモノアリ此等ヲ遺漏ナク整理スルニハ毎週又ハ毎旬定期ニ  
記入帳又ハ取立票ヲ取調ヘ前記ノモノアルトキハ取立委託先ニ照會シ其都度  
記入帳又ハ取立票ニ顛未ヲ記シ延滞セルモノハ督促シ近日入金見込ナキモノ  
ハ代手ノ返却ヲ先方銀行ニ申送ルヘシ尤モ取立依頼人ニ向テ顛未ヲ簡易ニ報  
告スル方法アラハ一應之ヲ通知シ其指圖ヲ得タル後先方銀行ニ申送ルニ於テ  
ハ圓滑ニ之ヲ處理シ得ラルヘシ又一覽拂ノ手形小切手ニシテ取立未済ノモノ  
アルトキハ多クハ取立ノ記帳洩又ハ報告洩ナルヲ以テ先方銀行ヘ照會前當方  
ノ關係帳簿ヲ取調ヘ萬一支拂延滞ノ場合ニハ容赦ナク手形ノ返却ヲ請求シ相  
當ノ處置ヲ執ルニアラサレハ不測ノ損害ヲ被ムルコトナシトセス

他所代手ヲ先方ニ送附シ取立ヲ依頼シタル後ニ至リ取立金額ヲ減スヘキ事ヲ  
依頼人ヨリ申出ツルコトアリ此場合ニハ直ニ代手送附先ニ減額取立ノ事ヲ通

### 取扱手續

知シ且代手記入帳又ハ取立票ノ備考欄ニ此旨記入シ置クヘシ  
他所代手ノ附屬書類ヲ代手ヨリ引離シ之ヲ代手支拂人ニ引渡スヘキコトヲ往  
々依頼人ヨリ申出ツルコトアリ此際ニハ取立依頼人ヨリ依頼書又ハ承諾書  
ヲ差入レシメタル上ニテ取計ラヒ單ニ電話等ノ依頼ニヨリ取計ハサルヲ可ト  
ス是詐偽又ハ錯誤ヲ防クタメナリ  
他所代手ノ取立ヲ託セラレタルトキハ手形ノ形式割引手形ノ如ク嚴重ニ形式  
ヲ調査セサルモ金額期日振出日付振出人宛名人及裏書ノ有無等(附屬書類ノ有  
無及數量等ヲ調査シ代手通帳又ハ受取書ニ記入シ取扱者及係主任之ニ押印ノ  
上依頼人ニ交付スヘシ而シテ係員ハ取立委任ヲ受タル手形ニヨリ代手記入帳  
(取組)又ハ取立票ニ記入シ當日爲替取引先ニ向ケ取立ヲ託スヘキモノハ直ニ裏書  
ノ手續ヲナシ部長ノ認印ヲ受ケ發送先毎ニ送附票ヲ作りテ之ニ添附シ爲替係  
ヨリ庶務係ニ引渡シ(此時兩係間ノ授受ヲ明ニナシ置クヲ可トス)同係ヨリ發送  
セシムヘシ又當日取引先ニ向ケ發送セサル手形ハ期日順ニ整頓シ期日ノ數日  
前ニ於テ前記手續ニヨリ發送スヘシ而シテ取立ノタメ他所ニ發送セシ手形ノ  
取立報告爲替取引先ヨリ到着シタル時ハ該報告ヲ代手記入帳又ハ取立票ニ照

合シ振替フヘキ勘定科目及口座名ヲ該報告ノ餘白ニ控ヘ記入帳又ハ取立票ニ取立日付及振替日付ヲ記入シ振替傳票ヲ作り其後係主任ニ於テ報告ト傳票トノ對照ヲ終レハ直ニ關係々ニ廻付シテ夫々處理セシムルコトヲ得ルナリ而シテ又當日取組タル他所代手ト取立ノタメ爲替取引先へ發送セシモノト取立濟トナリタルモノトノ口數及金額ヲ日々調査シ現在手元ニ保管中ノ他所代手ト他所ニ存在セル代手ノ口數及金額トヲ一見明瞭ニ知り得ル如ク代手記入帳ヲ設ケ日々之ヲ整理スヘシ

#### 當所代金取立手形

當所代手ハ爲替取引先ヨリ當店ニ向ケ取立ヲ託セラレタル手形又ハ當座取引先ヨリ取立ヲ託セラレタル當所拂手形ヲ謂フ而シテ此手形ハ當店ノ加入セル手形交換所ヲ經由シ若クハ直接ニ取立ヲナスモノナリ

當所代手ノ支拂地ハ概テ自行所在地及其附近ナリト雖モ當所以外ノ地ヲ支拂地トスル手形ノ取立ヲ爲替取引先ヨリ託セラル、コト少カラス即爲替取引先ヨリ爲替尻ニ入金ノ目的ヲ以テ取立ヲ託セラル、トキハ等シク之ヲ當所代手トシテ取扱ヒ此内他所ヲ支拂地トスル手形ハ其附近ノ爲替取引先ニ他所代手

### 概 說

#### 轉送取立

トシテ取立ヲ託シ取立ヲ託スヘキ恰好ノ取引先ナキ時ハ手形到着ノ案内狀ヲ以テ支拂人ニ手形及附屬物件ノ要點ヲ通知シ期口出頭支拂アリ度旨通知スルモノトス

前ノ場合ニ於テ當所代手ヲ他所代手トシテ更ニ他ニ轉送スル場合ニハ取立依頼ヲナシ來リタル爲替取引先ヲ他所代手ノ取立依頼人トナシ該取引先ノ代手番號ヲ備考ニ記入シ受入濟ノ上ハ當所代手ト振替ヲナシ得易カラシメ他方ニハ當所代手ノ記入帳又ハ取立票ニ轉送先及代手番號ヲ記入シ置クヘシ

當所代手ヲ他所ニ轉送セシモノ取立濟トナリタル時ハ他所ニテ取立濟トナリタル日ヲ起算日トシテ取立委託ヲナシ來リタル銀行ニ報告スヘキモノトフ總テ爲替勘定ニ於テハ支拂人ヨリ受取リタル日又ハ受取人ニ支拂タル日ヲ以テ起算日トナスモノトス

#### 取立ノ準備

當所代手ノ内當所ニテ取立ツヘキモノハ手形ノ到着スルニ從ヒ速ニ引受ノ呈示ヲナシ引受濟ノモノト引受呈示ヲ要セサルモノトハ合シテ之ヲ期日順ニ整理シ期日ノ到來ニ從ヒ取立人ヲシテ取立シムルモノトス  
引受ナキ爲替手形ノ取立ヲ託セラレタル時ハ手形ニ支拂引受ヲナシムルハ

正式ニシテ引受ナキ總テノ爲替手形ニ之ヲ實行セシコト望マシキ所ナリト雖モ實際ノ取扱ニ於テハ強テ之ヲ行ヒ難キモノアリ故ニ是等ニ對シテハ正式ノ引受呈示ヲ省キ之ニ代フルニ到着シタル手形及附帶物件ノ要點ヲ舉示シ期日自行ニ支拂アリタク之ニ異議アラハ速ニ申出アリタキ旨通知スヘシ又之ト異リ何時ニテモ呈示シ得ヘキニ拘ハラズ呈示ノ手數ト費用トヲ節約スルタメ或ハ宛名人ノ依頼ニヨリ單ニ電話ニテ到着ヲ通知スルコトアリ此ル取扱ニ若シ行違ヲ生セハ甚シク迷惑ヲ蒙ルモノナレハ爲シ得ルタケ正式ノ引受ヲ求メ不得止場合ニハ宛名人ト契約シテ引受呈示ノ代リニ手形到着通知狀ヲ以テスルコトニスヘシ

引受ノ形式ハ法律ノ定ムル所ニヨルヘキハ勿論ナルモ多年ノ惡習慣ニヨリ遠式ノ引受ヲナスモノ少カラズ是等ハ引受人ノ信用程度等ヲ顧慮シ臨機ノ處置ヲ執ルノ外ナキナリ

## 取立手續

小切手、約束手形、引受濟爲替手形、領收證等ニシテ手形交換所組合銀行ヲ支拂場所ニ指定セルモノハ支拂期日ニ於テ入金傳票ヲ作り代手ト共ニ出納係ニ交附シテ入金ノ手續ヲナサシメ當座取引先ヨリノ依頼ニシテ直ニ當座勘定ニ入帳

スヘキモノハ同係ヨリ直ニ預金係ニ傳票ヲ回附セシメ爲替取引先ヨリノ依頼ニカ、ルモノハ同係ヨリ收納濟入金傳票ノ返附ヲ得タル後傳票ニヨリ記帳及報告ノ手續ヲナスモノトス而シテ手形交換所ヲ經由セスシテ直接手形金ノ取立ヲナスニハ當日入金傳票及取立票ニ手形ヲ添ヘ之ヲ部長ノ手許ニ提出シ部長ハ傳票ト手形トヲ對照シ手形ニ領收印ヲ押捺シ傳票ヲ自己又ハ係主任ノ手許ニ留置キ手形及取立票ヲ取立人ニ交附シ準備整ヒ次第速ニ取立セシムルモノトス而シテ取立票帳簿代用ノ取立票ニアラスシテ取立人ノ手控トナスモノヲ指ス)ニハ少クモ取立依頼銀行、支拂人、及金額ヲ記シ之ニ支拂人ノ信用程度ヲ附記スルモノトス而シテ取立票ニ支拂人ノ信用程度ヲ附記スルコトハ支拂人ノ振出シタル小切手ニテ手形ノ支拂ヲ受クル時信用程度ニ應シ本人振出小切手ニテ支拂ヲ受クルコトヲ拒ムカ又ハ本人振出小切手ハ受取次第直ニ支拂銀行ニ就キ支拂保證ヲ求ムル等ノ手續ヲ要スルコトヲ指示スルヲ以テ足レリトス

手形ノ取立ヲ終リタル時ハ爲替係ハ當日取立依頼銀行ニ取立濟ノ報告ヲナスヘシ報告記載ノ方法左ノ如シ

## 報 告

例八、大正六年八月十一日 名古屋中京銀行ニ於テ大阪、大阪銀行代手五〇號  
金參千圓本日取立ヲ了ス支拂人村周商店

大阪銀行御中

6.8.11

中京銀行

代手 50

村周商店

8 11

3,000-

説明 此報告ニハ科目(代手)割手、荷手、雜勘定等ノ番號、金額、起算日ヲ記シ取立  
ヲ託シ來リタル銀行ニ向ケ發送スルモノトス時トシテ支拂人ヲ記スルコ  
トアルモ必要事項ニアラス又報告ハ取立濟當日發送シ當日營業終了後入  
金トナリタルモノハ爲シ得ルタケ報告シ其他ハ臨機ノ處置ヲ執ルヘシ取  
立ノタメ他ニ轉送セシモノ轉送先ヨリ取立濟報告着シタル時ハ取立委託  
ヲナシ來リタル銀行ニ向ケ當日報告スヘシ  
代手金額ノ取立ト共ニ延利ヲ取立タル時又ハ取立濟等ノコトヲ電報スル  
爲ニ用ヰル電報料、他ヘ轉送セシ爲ニ要セシ郵稅等ヲ取立ヲ委託シ來リタ  
ル銀行ノ勘定ニテ受拂スル時ノ報告記載方ハ雜勘定報告ノ記載例(例三十  
五)ニ於テ説明スヘシ

不渡ノ時ノ

當所代手ヲ屢々支拂人ニ呈示シテ支拂ヲ求ムルモ言ヲ左右ニ託シ延引ニ延引

處置

ヲ重テ容易ニ取立ノ見込ナキ時ハ時日ノ餘リ經過セサル間ニ不渡トシテ先方  
銀行ニ返付スヘシ又近日支拂ヲ得ヘキ見込アルモノハ支拂期日又ハ延期日ニ  
支拂ナカリシ事情ヲ先方銀行ニ通知シ之カ處置ニ付指揮ヲ乞フヘシ尙又手形  
交換所ヲ經由シテ取立タル手形ニシテ支拂銀行ヨリ不渡トシテ交換所規約ニ  
ヨリ返付セラレタルモノハ其手續ノ正當ナルヤ否ヤ等ヲ檢シタル後當日ノ入  
金ヲ取消シ取立濟報告ノ既ニ記載セラレタルモノハ之ヲ抹消シ又先方ニ對シ  
報告濟ノモノハ電報又ハ文書ヲ以テ直ニ受入取消ヲ請求シ返付セラレタル不  
渡代手ハ取立ヲ委託シ來リタル爲替取引先ニ返付スヘシ而シテ代手ヲ先方銀  
行ニ返却スルニハ支拂人ヨリ相當付箋ヲ求メ當所代手記入帳又ハ取立記入票  
ノ取立日付欄ニ返却日付ヲ朱書シ尙備考欄ニ不渡事由ヲ抄記シ然ル後不渡代  
手送付票(特別ニ作成セルモノ又ハ普通ノ送付票ニ朱書セルモノ)ヲ添ヘ庶務係  
ヲ經テ(庶務係トノ手形ノ授受ヲ明カニナシ置クヲ可トス)發送スヘシ又不渡ト  
スヘキモノ、内交換所ヲ經由シタルモノハ交換所規約ニヨリ不渡ノ事ヲ交換  
所ニ届出ツヘシ

代手ノ出入

當所代手ノ出入ハ日々頻繁ナルヲ以テ其殘高ヲ調査スルニ多クノ手數ヲ要シ



一度之カ出入取締ヲ忽ニセハ不正手段ヲ弄セラル、モ容易ニ發見シ難シ故ニ簡便確實ノ方法ヲ以テ受入及拂出ヲ取調ヘ必要ノ時ニハ直ニ現在ノ手形ヲ以テ枚數及金額ヲ帳簿ト照合シ得ル様取締ノ方法ヲ設クヘキナリ

第三節 振込金ノ受拂

振込金ノ種類

振込金ニ當座振込金ト爲替尻振込金トノ二種アリ  
當座振込金ハ當店ノ爲替取引先ト取引スル者ノ當座勘定ヘ入金ノ目的ヲ以テ當店ニ振込ムカ或ハ之ト反對ニ當店ト取引スル者ノ當座勘定ヘ入金スル目的ヲ以テ他店ニ振込ムヲ謂ヒ爲替尻振込トハ先方銀行又ハ之ト取引關係アル者ニ渡スタメニ當店ニ振込ムカ又ハ之ト反對ニ當店又ハ之ト取引關係アル者ニ渡スタメ先方銀行ニ振込ムヲ謂フ  
當座振込金

當座振込金ノ説明

他店ニ取引アル者ノ當座勘定ヘトシテ當店ニ於ケル他店ノ爲替尻ニ振込ヲ受クルヲ當座振込金ノ受入ト謂ヒ之ト反對ニ當店ニ取引アル者ノ當座勘定ヘトシテ他店ニ於ケル當店ノ爲替尻ニ振込ヲ受ケ之ヲ當店ニ於ケル取引先ノ當座

振込金取扱ノ得失及口座

勘定ヘ振替受入ノタメ爲替尻ヨリ拂出スヲ當座振込金ノ拂出ト謂フ  
當座振込金ノ受入ハ特約アルモノ、外ハ被仕向口ニテ處理スルヲ普通トス而シテ之ヲ取扱フニ付テノ得失左ノ如シ

利トスル點

- 一、振込金ノ受入ヲナス店ニ於テハ先方口ヲ以テ受入ル、ヲ以テ爲替資金ヲ要セスシテ送金ヲナシ得ルノミナラス一時低利ノ資金ヲ預ルコトヲ得ルナリ(當方口ヲ以テ受入ヲナス銀行ハ除外トス)
- 二、送金手形作成ノ費用及之ヲ郵送スル費用ヲ節約ス
- 三、個人カ手形ヲ以テ送金ヲ受タル時之ヲ銀行ニ持參スルニアラサレハ自己ノ當座勘定ニ振込ムコト能ハサルモ當座振込金ハ先方ヨリ報告ノ着スルヤ間モナク自己ノ當座勘定ニ振替記帳ヲ受クルヲ以テ送金手形ヲ受クルヨリモ安全且迅速ニ振込ヲナスコトヲ得ルナリ
- 四、送金手形ハ發行後支拂ヲ受クルマテ滅失毀損又ハ盜難等ノ危険多ク萬一此等ノ危険ニ遭遇セハ手形受取人ハ該手形ノ發見サル、カ又ハ代リ手形ノ發行セラル、ニアラサレハ自己ノ當座勘定ニ之ヲ振込ミ一ノ資金トシ

テ使用スルコト能ハサルモ當座振込金ニハ此等ノ危険ナク萬一振込人ヨリ被振込人ヘノ通知書滅失毀損等ノ事故ニヨリ發見セザルトモ振込金ノ受入ヲナシタル銀行ヨリ振込金ノ拂出ヲナス銀行ヘノ通知ニヨリ被振込人ノ當座勘定ヘ振替入金シ得ルノ利益アリ

失トスル點

一、振込金拂出銀行ニ於テハ豫期セサル時豫期セサル爲替取引先ニ多額ノ爲替預ケヲ生シ先方口ニテ整理スルモノハ例外ノ危険多キト資金ノ繰廻シニ困難ヲ生スルコト

二、振込金拂出銀行ニ於テ同名ノ者二人以上ト取引アル場合又ハ紛レ易キ名ノ者ト取引アル場合或ハ同一ノ人ニシテ肩書ノ有無又ハ其他ノ方法ニヨリ數口座ヲ有スルモノアルトキハ往々正當口座以外ニ誤テ振替受入ノ記帳ヲナシ時トシテ意外ノ損失ヲ蒙ルコトアルヘキコト

三、振込金受入銀行ヨリ送り來レル當座振込金ノ受入報告ニハ姓名又ハ金額ノ誤記往々アリ其都度先方銀行ニ照會ヲ要シ不便且手數多シ

四、當座振込金拂出ノ證憑トスヘキ先方銀行ヨリノ受入報告ハ手形等ト異リ

兎角散逸シ易ク後日取調上困難多キコト

五、先方ヨリノ當座振込金受入報告書ハ多クハ郵便端書ナルヲ以テ之ヲ手ニスル者ニ在テ何時ニテモ改竄シ得ラルヘク又該報告書ヲ封書ニテ先方銀行ヨリ送付ヲ受クルト雖モ之ヲ開封セシ後容易ニ改竄ヲ施シ得ヘク且又報告書ヲ偽造シ易ク手形ニ比シ甚危険ナリ

右得失ヲ比較セハ振込金ノ拂出ヲナス銀行ハ利益トスルヨリモ危険トスル點遙ニ多キニヨリ可成ハ之カ取扱ナキコトヲ希望スト雖モ一般取引先ノ便宜ヲ全然顧サルコト爲シ能ハサルニヨリ茲ニ折衷的方法ヲ採リ當座振込金ノ取扱ハ一般爲替取引先ニ對シテハ承諾セザルモ一部ノ爲替取引先ニハ承諾スルモノト何レノ爲替取引先ニ對シテモ其取扱ヲ承諾スルモ被振込人ハ豫シメ通知セシモノカ又ハ照會ニ對シ承諾シタル人ニ限ルコト、セルモノト又此兩者ヲ混同セルモノトアリ或ハ又受入銀行ニ對シ拂出銀行ノ口座ヲ以テ振込金ノ受入取扱ヲ拒絶スルモノアリ是等ハ爲替取引先平素ノ取扱又ハ信用ノ厚薄等ニヨリ自然ニ如上ノ差異ヲ來スモノニシテ自衛上亦止ムヲ得サル所ナリ

當座振込金ヲ先方口ニテ受入タル時ハ先方トノ勘定起算日ハ受入當日ナラサ

ルヘカラス是當日先方銀行ヨリ振込金ヲ預リタル勘定トナルヲ以テナリ然レトモ營業時間後ニ振込金ヲ受入ル、時ハ店トシテハ何等ノ必要ナク之ヲ謝絶スヘキ處ナルモ振込人ノ便宜ヲ主トシテ受入ル、モノナルヲ以テ起算日ハ殊ニ次ノ營業日トナスコトアリ又實務上ヨリ考フルモ營業時間後ノ受入金ハ如何ニスルモ當日利用ノ途ナク空シク庫中ニ藏シ危險ヲ増スノ不利アルノミニテ何等利スル所ナキヲ以テ翌日起算ニテ爲替預リヲナスニアラサレハ徒ニ損失ヲ招クニ至ルヘシ

當座振込金ヲ先方口ニテ受入ル、コトヲ拒絶スル銀行ヘノ振込金ヲ受入ル、ニハ當方口ニテ受入サルヘカラス然ルトキハ起算日ハ參着ニシテ送金手形ヲ仕向タル時ト同シク先方ニテ當座勘定ニ振替タル日ヲ起算日トスヘキナリ即此場合ニ於テハ普通送金ト同シク其異ル所ハ手形ヲ作成スルトセサルトノ別アルノミナリ

### 受入手續

當座振込金受入ノ申込アリタル時ハ先方銀行ニテ振込ヲ承諾スルヤ否ヤ又制限的承諾ヲナス時ニハ其制限ヲ超ユルコトナキヤ否ヤ又被振込人ハ先方銀行ニ當座勘定ヲ有スルヤ否ヤヲ篤ト取調ヘ然ル後受入ヲナスヘシ之ヲ受入ル、

### 受入報告

ニハ當座振込依頼書ニ振込人、被振込人、被振込銀行及金額ヲ記シ之ニヨリ入金傳票又ハ振替傳票借方ニ記入ノコトヲ作り受入ノ手續ヲナシ又依頼書ニヨリ爲替尻入金副通知書ニ振込日付、被振込銀行即副通知書宛名、振込人、被振込人及金額ヲ記シ係員金額ノ起端又ハ適當ノ處ニ認印シ之ヲ部長ノ許ニ出セハ部長ハ傳票ト副通知書トヲ照會シ双方ニ捺印ヲナシ係ニ廻セハ係主任ハ尙相違等ナキヤ否ヤヲ調査シ然ル後副通知書ハ振込依頼人ニ交付シ傳票ハ簿記方ニ廻シテ記帳セシムルモノトス

當座振込金ヲ受入タル時ハ之ヲ先方銀行ニ報告セサルヘカラス其記載例左ノ如シ

例九、大正六年八月十八日 中京銀行ニ於テ大阪銀行半田三郎當座口へ金五百圓ヲ受入ル(振込人今井大吉)

大阪銀行御中	6,818	中京銀行
半田三郎當座口へ	貴行口	818
振込人	今井大吉	500-

説明 右ハ中京銀行ニ於テ先方口ニテ受入タル時ノ報告ノ記載ヲ示セルモ

ノナリ振込金受入ノ報告ニハ宛名口座先方口座ノ區別ニシテ此場合ニハ先方口座即貴方口座書クコト被振込人起算日金額ヲ必ス記載シ振込人氏名ハ可成之ヲ記載スルヲ可トス起算日ハ振込金ヲ受入タル日ヲ記入スヘキモノナリト雖モ營業時間後受入タルモノニ於テ振込人ノ承諾ヲ得テ次ノ營業日ヲ起算日トスルモノアリ金額ハ貸方ニ記入シ被振込人氏名ノ他ト紛レ易キモノハ可成住所及氏名ヲ細密ニ記スヘシ單ニ加藤商店ト報告スルトキハ何レノ加藤ナルヤ不明ニシテ拂出銀行ニ於テ振替フルコト能ハサルコトアリ故ニ此等ハ振込金受入ノ當初ニ於テ充分聞取シ取扱フヘシ

例十、同上

大阪銀行御中

6.8.18

中京銀行

半田三郎當座口へ	當行口	參	着	500-
振込人	今井大吉			

説明 右ハ愛知銀行ニ於テ當方口座ニテ受入ヲナシタル時ノ報告ノ記載ヲ示セルモノナリ記載スヘキ事項ハ前ト異ルコトナキモ口座ハ當方口座ト記シ

支拂

起算日ヲ參着トスヘシ

當座振込金受入ノ報告他店ヨリ到着シ之ヲ被振込人ニ支拂フニハ種々ノ危険ニ接スルコトナシトセス故ニ之ヲ支拂フニハ左ノ注意ヲ加フヘシ

一、振込金ハ當座勘定ニ振替フヘキコト 當座取引アル者ノ當座口へ振込アリタル時ハ當座勘定へ振替入金スヘシ又當座取引ナキ者へノ振込金ニ在テハ振込金ヲ受取ラントスル人物ヲ熟知スル時ニ限り受取證及振込人ヨリ被振込人ニ送付シ來レル爲替尻受入副報告書ヲ提出セシメテ支拂ヒ其他ニ對シテハ現金ノ支拂ヲ一切避クヘシ

二、振込金ノ拂出ヲナス時ハ爲替尻受入副報告書ヲ被振込人ヨリ差出サシムルコト 同名異人ノ口座へ振替入金ノ有無ヲ檢シ又先方銀行ヨリ報告洩又ハ報告ノ相違ヲ調査スルコトヲ得ルヲ以テ之ヲ提出セシムルヲ可トス殊ニ通稱ヲ以テ振込アリタル時之ヲ本人ノ當座勘定ニ振替フルニハ副通知書ヲ徴スルコト肝要ナリ

當座振込金ヲ振替拂出シタル時ハ即日受入銀行ニ向ケ答報ヲ發セサルヘカラス其記載方法左ノ如シ

答報

例十一、大正六年八月十九日 例九ノ報告ニ對シ大阪銀行ヨリ中京銀行ニ向ケ答報ヲ發ス

中京銀行御中

6.8.19

大阪銀行

半田三郎當座口ノ當行口答報

8 | 18

500 |

説明 右ハ大阪銀行ニ於テ當方口ニテ拂出ヲナシタル時ノ記載ヲ示セルモノナリ振込金受入ノ答報ニハ宛名、口座(本例ノ場合ニハ當行口ト記スルコト)被振込人、起算日、金額及答報ナルコトヲ記載スルモノニシテ起算日ハ先方ニテ取扱タル日即報告ニ示セル日ヲ記シ金額ハ借方ニ記載スヘシ答報ニ記載スヘキ被振込人氏名ハ正當名義ヲ用フヘク若一先方ノ報告ニ誤アリシ節ハ其由答報ニ附記シ答報名義ノ當座口ニ受入ノ可否ヲ確ムルコトニナスヘシ又時トシテ通稱ヲ以テ當座振込アリタル時當店ニ於ケル本人名義ノ當座勘定ニ振替タル節ハ前同様答報ニ當店ニ於ケル口座名義ヲ記シ先方ノ報告ト名義相違ノ事ヲ附記スルヲ可トス  
例十二、大正六年八月十九日 例十ノ報告ニ對シ大阪銀行ヨリ中京銀行ニ向ケ答報ヲ發ス

中京銀行御中

6.8.19

大阪銀行

半田三郎當座口ノ當行口答報

8 | 19

500 |

振替ノ手續

被振込人名義ノナキモ及相違

説明 右ハ大阪銀行ニ於テ先方口ニテ等出シタル時ノ記載ヲ示セルモノナリ記載スヘキ事項ハ前ニ同シキモ口座ヲ先方口ト記シ大阪銀行ニテ振替拂出ヲナシタル日ヲ起算日トナスヲ異リトス  
受入銀行ヨリ報告シ來レル當座振込金ノ被振込人ノ名義ト當店ニ在ル當座勘定名義トハ同一ノ家ニ屬スルモノト雖モ相違セルモノアリ此等ハ一應受入銀行又ハ被振込人ニ照會ノ後處理スルヲ可トス漫然之ヲ當店ニ在ル當座勘定ニ振替拂出ヲナシ後日整理ニ迷惑スルコトナキ様注意スヘシ  
從來當座取引ナキモ他店ヨリ當座拂込金アリシヲ機トシ取引開始ヲナスモノアリト雖モ此種以外ノ取引ナキ者ヘノ振込金ハ取引無之旨ヲ記シ速ニ先方銀行ニ該報告ヲ返付シ取消ヲ求ムヘシ振込金ノ受入ヲナシタル銀行ニ向テ何等ノ通知ヲナスコトナク數日間被振込人ノ來店ヲ待ち其上ニテ受入諾否ノ回答ヲ發スルカ如キハ避クヘキコト、ス  
當座振込金受入ノ報告ヲ受タル時ハ爲替係員ハ受入ヲナシタル銀行ヲ貸方ニ

受入ルヘキ當座勘定ヲ借方ニナシテ振替傳票ヲ作り貸方爲替勘定ノ處ニ口座及起算日ヲ記入シ受入銀行ヨリノ正報告書ニ振替濟ノ記號ヲナシテ係主任ニ出シ係主任ハ報告ト傳票トテ照合シテ雙方ニ認印ヲナシ傳票ヲ預金係ニ廻付スヘシ預金係ハ口座ノ有無ヲ調ヘ口座ナリ且新ニ取引ヲ開始セサルモノハ速ニ傳票ヲ爲替係ニ返付シ振替ヲ取消サシムヘシ而シテ振替入金濟ノモノハ其旨直ニ被振込人ニ便宜ノ方法ヲ以テ通知スルヲ可トス

爲替尻振込金

爲替尻ノ振込トハ甲銀行ニ在ル乙銀行ノ爲替尻ニ或者ヨリ振込ヲナスコトヲ謂ヒ爲替尻振込ヲナス者ハ前記ノ場合ニ於テ甲銀行ナルコトアリ或ハ乙銀行ナルコトアリ又當事者以外ノ第三者丙ヨリ振込ムコトアリ而シテ振込人ハ如此一様ナラスト雖モ振込金ヲ受入ル、口座ハ振込人ヨリ特ニ申出ナキ時ハ全部被仕向口ニ受入ル・モノトス

受入手續

爲替尻振込金受入ノ申込アリタル時ハ先方銀行トノ間ニ爲替取引アルヤ否ヤヲ取調ヘ然ル後受入ルハシ之ヲ受入ル、ニハ爲替尻振込依頼書ニ振込人振込銀行及金額ヲ記シ之ニヨリ入金傳票又ハ振替傳票(借方ニ記入ノコト)ヲ作

說明

報告

リ受入ノ手續ヲナシ又依頼書ニヨリ爲替尻入金副通知書ニ振込日付被振込銀行即通知書宛名振込人及金額ヲ記入シ係員金額ノ起端又ハ適當ノ處ニ押印シ之ヲ部長ノ許ニ出セハ部長ハ傳票ト副通知書トヲ照合シ雙方ニ捺印ヲナシ係ニ廻セハ係主任ハ尙相違等ナキヤ否ヤヲ調査シ然ル後振込依頼人ニ副通知書ヲ交付シ傳票ハ簿記方ニ廻シテ記帳セシムルモノトス

振込金ノ受入ニ對シテハ入金通知書ヲ發行スルヲ正當トス然レトモ之ニ要スル印紙稅等ノ關係ヨリ爲替尻入金副通知書ヲ發行シテ入金通知書ニ代用スルヲ普通トス又自己所在地ノ諸銀行ニ屢振込ヲナス銀行ニ在テハ多クノ判取帳ヲ設ケ右入金通知書ノ代リニ判取帳ニ振込金受入ノ印ヲ求ムルモノアリ振込金ノ受入ヲ取扱タル時ハ即日之ヲ先方銀行ニ報告セサルヘカラス報告記載ノ方法左ノ如シ

例十三、大正六年九月八日 中京銀行ニ於テ東都銀行爲替尻ハ浪越銀行ヨリ

五千圓ノ振込ヲ受ク

東都銀行御中

6,988

中京銀行

浪越ヨリ振込 貴行口

6 8

5,000-

説明 此報告ニハ振込人、口座、貴行口當行口ノ別ニシテ特ニ當行口爲替尻ニ  
受入ヲ依頼サル、時ノ外總テ先方口ヲ以テ報告ス、起算日、金額ヲ記シ被振  
込銀行即宛名銀行ニ報告スヘシ振込人銀行ナルトキハ多クハ銀行ナル文  
字ヲ略シテ報告シ金額ハ貸方ニ記載スルモノトス

振込金受入ノ報告ヲ先方銀行ヨリ受ケ之ヲ承諾シタル時ハ即日先方銀行ニ向  
テ答報ヲ發スヘシ又振込人ニ對シテハ振込金受取ノ通知ヲ發セサルヘカラス  
而シテ振込人カ爲替取引先ナルトキハ下ニ記スル方法ニヨリ報告スルモノト  
ス

例十四、大正六年九月九日 例十三ノ報告ニ對シ東都銀行ヨリ中京銀行ニ答  
報ヲ發セリ

中京銀行御中

6.9.9

東都銀行

浪越ヨリ振込

當行口 答報

9

8

5,000

—

説明 答報ニハ振込人、口座、起算日、金額及答報ナルコトヲ記シ受入ノ取扱ヲ  
ナシタル銀行ニ向ケ發送スヘシ金額ハ借方ニ記スルモノトス

例十五、同日 例十三ノ報告ニヨリ東都銀行ヨリ浪越銀行ニ受入報ヲ發送セ

リ

浪越銀行御中

6.9.9

東都銀行

中京ノ御振込

貴行口

9

8

5,000

—

説明 此受入報ニハ振込金ヲ受込タル銀行、口座、起算日、金額ヲ記シ振込ヲナ  
シタル銀行ニ宛テ發送スヘシ金額ハ貸方ニ記スヘキモノトス而シテ爲替  
取引先カ他行ニ爲替尻ノ振込ヲナスニハ該振込金ノ受入勘定ヲナス銀行  
(本例ニ於テハ東都銀行)ニ向ケ振込ヲナス銀行ヨリ口座、金額、振込先即振込  
金ノ受入ヲナス銀行ヲ記シ又爲シ得レハ其月日ヲモ起算日欄ニ記シテ(可  
成ハ朱記スルコト)豫報スルモノトス又起算日欄ニ振込ノ日ヲ豫報セサル  
モノハ同欄ニ「豫報」ト記シテ報告スルモノトス豫報ノ記載方法ハ例三十二  
ニ於テ説明ス

爲替尻振込金受入ノ報告ヲ受タル時ハ振込金ノ受入ヲ取扱タル銀行ヲ貸記シ  
之ニ振込人、起算日、口座ヲ附記シ振替傳票ノ借方ニ記載スヘキ勘定科目即入金  
科目ハ左ノ如ク異ニスヘシ

一、爲替取引アル振込人ヨリ特ニ通知アルモノ又ハ當方ヨリ特ニ依頼セシモ

拂出手續

ノ又ハ特約アルモノ、外ハ悉ク振込人ノ被仕向口ニ受入ル、モノトス即振替傳票ノ借方ニ受入ルヘキ爲替勘定ヲ記シ之ニ何々銀行へ振込ノ旨ヲ記シ口座及起算日ヲ記入スヘシ

二、爲替取引アル振込人ヨリ前項以外ノ勘定へ振込ヲナシタル時又ハ爲替取引ナキ者ヨリ振込ヲナシタル時ハ相當科目ニ之ヲ受入ルヘシ即振替傳票ノ借方ニ該科目ヲ記シ之ニ相當ノ摘要ヲ記シ且金額ヲ記入スヘシ而シテ借方ニ受入ルヘキ金額ハ一口ナルコトアリ數口ナルコトアリ數口ノ場合ニ於テ同一勘定科目ナルコトアリ或ハ數科目ナルコトアリ

三、爲替取引ナキ者ヨリ他店ニ在ル當行ノ爲替尻ニ振込ヲナシ之ヲ受入ルヘキ勘定科目ハ判明セサルモ振込人ヨリ通知ナキカ又ハ或事情ニヨリ將來相當ノ科目ニ受入ヲナス見込アルモノハ一時之ヲ別段預金ニ受入レ振込金ノ受入ヲ取扱タル銀行ニ對シ答報ヲ發スヘシ又振込金ヲ受入ルヘキ勘定科目判明セス且將來ニ於テモ之ヲ受入レサルトキハ振込金受入銀行ニ向ケ可成速ニ受入拒絶ノ通知ヲナシ同時ニ之ニ該當スル受拂報告書ヲ先方銀行ニ返却スヘシ

說明

如此ニシテ振替傳票ノ作成ヲ終ヘタル時ハ關係々々ニ廻付シテ夫々記帳又ハ處理ヲナサシムヘシ

第四節 附 替

付替ヲナスニハ通常三個ノ關係店ヲ要ス付替ヲ起算スル店(甲)ト之カ相手タルヘキ二個ノ店(乙丙)ニシテ付替ハ甲店カ乙店ニ預金又ハ借入セルモノヲ現金ヲ移動セシムルコトナク單ニ帳合ノミヲ以テ丙店ニ預替スルカ又ハ借替スル爲ニ此三個ノ關係店ノ間ニ勘定ヲ起スヲ謂ヒ仕向口及被仕向口雙方ノ借又ハ預リ殘高ヲ相殺スル爲ニ行フ所謂双方付替(双方口座付替)ニ限リ關係店ハ付替ヲ起ス店及之レカ相手方タル店トノ二店ノミナリ而シテ付替ハ前記ノ如キ場合ニ生スト雖モ尙之ヲ詳記セハ左ノ如シ

- 一、甲店カ乙店ニ爲替預金ヲ生シ之ヲ丙店ニ預替スルトキ
- 二、甲店カ丙店ニ爲替借ヲ生シ之ヲ乙店ヘノ爲替預ケ金ヲ以テ返済スルトキ
- 三、甲店カ丙店ニ爲替借ヲ生シ之ヲ乙店ト借替スルトキ
- 四、甲店カ乙店ヨリ爲替借ヲナシ之ヲ丙店ヘ爲替預ケトナストキ



便益

付替ヲ起シ得ル條件

五、爲替貸ヲ爲替預ケニ振替スルトキ

六、爲替預リト爲替預ケ又ハ爲替貸ト爲替借トヲ相殺スルトキ

爲替尻付替ハ甲乙兩地間資金ノ輸送ヲ省略スル利益ト指定ノ日付替ヲ起シタル時ヨリ短時日ノ後ニ於テ甲地ノ資金ヲ乙地ニ移スコトヲ得ルノ利益トヲ併セテ收ムルコトヲ得ルナリ即普通爲替ノ方法ニ依ルトキハ甲地宛ノ爲替手形ヲ振出シ之ヲ乙地ニ送付シ乙地ヨリ更ニ之ヲ甲地ニ送り取立濟ノ後初メテ右資金ヲ乙地ニ移スモノニシテ之カタメ多クノ日數ト手數ト費用トヲ要シ且郵送途中ニ於ケル手形紛失等ノ危険ヲモ顧慮セサルヘカラサルニ付替ノ方法ニ依ル時ハ此等ノ不利不便ヲ省キ迅速安全且些少ノ費用ヲ以テ資金ヲ一方ヨリ他方ニ移動シ得ラル、利益アリ

付替ハ左ノ條件ヲ有スルニアラサレハ之ヲ起ス能ハサルナリ

一、相殺ノ場合ノ外付替關係店ハ三店ナルヘキ事前既ニ之ヲ説ケリ

二、付替資金ヲ有スヘキコト 甲店カ資金ヲ乙店ヨリ引出シ丙店ニ差入ル、ニハ付替起算日即資金ノ授受ヲナス日付ノ日ニ於テ甲店ハ乙店ニ付替資金ヲ有セサルヘカラス而シテ此資金ハ左ノ各種ヨリ成立ツモノトス

A、爲替預ケ金

B、爲替尻借越極度額

C、乙店ニ對シ爲替貸越極度額ヲ超ヘテ貸越ヲナシタル時ハ該超過額即甲店乙店カ相互ニ爲替預金ヲ有スル場合以下此場合ヲ單ニ預ケ預リト稱スニハ付替資金ハA及Bノ合計額トシ甲店カ乙店ニ對シ貸越極度外ニ貸越ヲナシタル時ハABCノ合計額(即Aト乙店ニ對スル現貸越額トノ合計額)ヲ以テ付替資金トス

三、付替ノ起算日ヲ定ムルノ外付替ニ付テハ總テ無條件タルヘキコト 乙店ニ取立ヲ託シ置タル手形取立未濟ナル時ハ付替ハ取消ストノ條件ヲ附シ或ハ前記代手取立濟トナリタル時ハ付替ヲ取消ス等ノ條件ヲ附スル能ハサルナリ即付替ハ他ノ勘定ニヨリ生シタル爲替尻ヲ整理スル爲ニ行フ方法ナリト雖モ既ニ之ヲ行タル以上ハ他ノ勘定ノ成行如何ニ關係ナク獨立ニ行フモノトス故ニ他ノ勘定ノ成行ニヨリ付替資金ナキカ若クハ付替ニヨリ不利ヲ招クカ如キコトアラハ該付替ノ取消ヲ先方ニ依頼シ其承諾ヲ得テ付替ヲ取消スヘキモノニシテ先方ノ承諾ナキ時ニハ不利ノ付替モ自

ヲ招キタル損失トシテ甘スルノ外ナシ

四、付替起算日ハ起店ニ於テ付替ノ手續ヲナス日以後ノ日付タルヘキ事 八月一日甲店カ乙店ニ千圓ノ爲替預ケ金ヲ生シタルニ付之ヲ丙店ニ付替フル手續ヲ同月二日行ヒタル時ニ付替起算日ハ八月二日若クハ其以後ナラサルヘカラス然ルニ日ヲ遡リテ起算日ヲ八月一日ニナスコト能ハス是萬一之ヲ許ス時ハ爲替尻ハ何時ニ至ルモ整理スルコト能ハサルノミナラス一方爲替預金トナリ他方ニ爲替借トナルヲ巧ニ平均シ又低利ノ預ケ金ヲ高利ノ處ヘ付替ヘ或ハ危険ナル爲替取引先ヘノ預ケ金ヲ安全ナル爲替取引先ヘ付替フル等付替起算店ニハ甚好都合ナルモ之カ相手方ニハ非常ノ迷惑ヲ蒙ルヲ以テナリ

五、付替關係店ハ相互ニ爲替取引ヲ有スヘキ事 一ノ説明ニヨリ自明ノ理ナリ而シテ同一地ニ在ル銀行間ニ爲替取引ヲナスコトナキヲ以テ(大都市ノ銀行ニ在リテハ全部ノ取立事務ヲ自己ノミニテ行フコト不可能ナルヲ以テ同一都市内ニ在リト雖モ自己ノ店ヨリ稍距リタル地ニ在ル銀行ト爲替取引ヲナスコトアルヘケンモ如此ハ例外ト見ルヲ可トス)付替關係店ハ相

起店ノ區別

互ニ異ル地ニ在ル銀行ナリトス

付替ハ前記ノ條件ニ適合スレハ相手方ニ對シ獨立シテ計算ヲナス店ニ在テハ何レノ店ニ於テモ起スコトヲ得ルナリ而シテ起店ノ異ルニ從ヒ通信報告上ノ用語ニ左ノ區別アリ

甲店ニ於テ甲店自ラ起算スル付替ヲ當方起(相手方ニ對シ弊方起ト稱スル向アリ又略シテ當起トイフ)

甲店起ノ付替ニ付乙店ニテハ甲店ニ對シ貴方起ト稱シ(報告面ニハ略シテ貴起又ハ答報ト記ス)第三者タル丙店ニ對シテハ先方起又ハ略シテ先起ト稱ス當方起ノ付替ハ前記付替ノ條件ニ適合セサルヘカラス而シテ既ニ付替ヲ起シタル時ハ當方起ナル文字ヲ附シテ關係店ニ報告シ其答報ヲ得サレハ付替ノ手續ハ終ラサルナリ故ニ答報ノ着セサル時ハ猶豫ナク催促スヘキナリ

爲替勘定ハ相互ニ相手方銀行ニ預金スルカ如キモノニシテ仕向口ハ當店カ先方銀行ニ預金スル勘定ニシテ被仕向口ハ先方銀行カ當店ニ預金スル勘定ナリ而シテ當店カ他店ニ預金シタルモノハ當店ノ都合ニ依リ自由ニ受拂シ得ラル、モ他店ヨリ當店ニ預ケ入レラレタルモノハ當店ニテ任意ニ其預リ金ヲ受拂

仕向口被口ノ扱方

シ得サルト同一ノ理ニヨリ仕向口勘定ハ當店ニテ任意ニ付替ヲ起シ得ヘキモ被仕向口勘定ハ當店ニテ任意ニ付替ヲ起シ得ヘキモノニアラス即當行カ爲替預リ金ヲ欲セサル際ニ先方ヨリ多額ノ金ヲ預ケ入レラレ又ハ先方ニ對シ爲替貸ヲ欲セサルニ先方ニ對シ貸越極度マテ貸越ヲ生シ而シテ預リ金ノ拂戻又ハ貸越金ノ回收ナキタメ當店ニ於テ迷惑ヲ感シ之ヲ他ニ付替ヘ預金ノ拂戻又ハ貸越金ノ回收ヲナサントスルコトハ爲シ能ハサル所ナリ尤モ先方ヨリノ依頼ニヨリ被仕向口ヲ付替スル時ハ此例外ナリト雖モ若先方ノ依頼ナクシテ無斷ニ之ヲ行フコトアラハ相手方銀行ハ恐クハ其取計ヲヒノ可否ヲ問ハスシテ直ニ之ヲ拒絕シ來ルヘシ故ニ付替ニヨリ預リ金ノ拂戻又ハ貸越金ノ回收ヲナサントスル時ハ後ニ記スル方法ニヨルノ外ナカヘシ

甲銀行ニ於テ乙銀行ヨリ多數ノ手形金取立ノ委託ヲ受ケ取立濟ノ上ハ該金額ヲ直ニ丙銀行ニ付替方依頼サレタル時ハ前記ノ例ト異リ甲銀行ニ於テハ乙銀行ニ對シ被仕向口ヲ以テ整理スルモノトス而シテ此ル事ハ多クハ甲銀行ト丙銀行間若クハ乙銀行ト丙銀行トノ間ニ本支店ノ關係アルカ又ハ乙銀行ニ於テ丙銀行ヲ爲替尻集中店トナスモノニジテ甲銀行ニ於テ取立タル乙銀行代手ヲ

先方起付替  
ノ扱方

乙銀行ニ向ケ取立濟ノ旨直接ニ報告ヲナシ乙銀行ニ於テ該報告ニ依リ甲銀行ニ在ル資金ヲ丙銀行ニ付替スル時ハ甲銀行ニ數日間空シク多額ノ資金ヲ預ケ入レ置クヘキコト、ナルヲ以テ資金ヲ速ニ回收スルノ便宜ヲ得ル爲ニ甲銀行ニ付替起算ヲ委託セシモノナリ而シテ甲銀行ト丙銀行トノ間又ハ乙銀行ト丙銀行トノ間ニ本支店ノ關係ナキニ拘ハラズ甲銀行ニ生セシ資金ヲ丙銀行ニ付替起算ヲ委託セントスル時ハ豫シメ甲銀行ニ協議スルヲ要ス然ラスシテ突然甲銀行ニ向ケ此ル事ヲ依頼ストモ甲銀行ニ於テ丙銀行ニ對スル爲替出合ノ都合悪シキ時ハ之ヲ謝絶スルハ勿論ニシテ殊ニ金額多キトキハ出合益困難トナルヘキヲ以テ乙銀行ノ希望ヲ達スルコト殆ント困難ナルヘシ故ニ仕向口ノ付替ヲ先方銀行ニ託スルハ多クハ相手方銀行間ニ本支店ノ關係アルモノトス

乙銀行ニ於テ甲銀行起シノ他店付替ヲ處理スルニハ左ノ區別ニ從フモノトス

一付替關係店(甲銀行ト丙銀行)ノ間ニ本支店ノ關係ナキトキ 甲店ニ對シテハ受拂共被仕向口ニテ處理シ丙店ニ對シテハ當店ヨリ拂出ス場合ニハ仕向口ニテ當店ニテ受入ルヘキ場合ニハ被仕向口ニテ處理スヘシ例之ハ甲銀行ニテ乙銀行ヘノ爲替預ケ金ヲ丙銀行ニ付替シタル時乙銀行ニテハ甲

銀行ノ口座ヨリ或金額ヲ拂出シ此額ヲ丙銀行ノ口座ニ受入ルヘキヲ以テ丙銀行ニ對シテハ被仕向口ニテ處理スヘシ之ニ反シ甲銀行ニテ丙銀行ヘノ爲替預ケ金ヲ乙銀行ニ付替シタルトキ乙銀行ニテハ丙銀行ノ口座ヨリ或金額ヲ拂出シ此額ヲ甲銀行ノ口座ニ受入ルヘキヲ以テ丙銀行ニ對シテハ仕向口ニテ處理スヘシ乙銀行ト丙銀行間ニテハ互ニ預ケ預リトナルヘキ様付替ヲナスヘキモノトス

都會ノ銀行ハ地方銀行ノ準備金保管ノ場所トモナリ又爲替資金集中店トモナルヲ以テ地方銀行ニ於テハ爲替尻ノ受拂ハ自己ノ主トシテ取引セル都會銀行ニテ全部ノ受拂ヲナスヲ得ハ至極便利ナルヘク假令自己ノ主トシテ取引銀行ニアラスト雖モ自己ノ主トシテ取引セル銀行所在地ノ都會キナリ之ニ反シ都會ノ銀行ニ在テハ數多ノ地方銀行ト取引ヲ有スト雖モ一地方ニ數個ノ取引銀行ヲ有スルコト少ク又之ヲ有スト雖モ爲替尻ノ回收又ハ返金ニハ單ニ一通ノ郵便ノミヲ以テ直ニ決濟シ難ク返金ヲナスニハ先方ノ銀行ト取引アル銀行ニ振込ヲナセハ可ナルモ爲替尻回收ハ如此

容易ニ行フ能ハス手形ヲ作り手数料ヲ支拂ヒ他店ニ取立ヲ託スルカ若クハ先方銀行ニ返金ヲ依頼セサルヘカラス先方銀行ニ返金ヲ依頼シタル場合ニ於テ速ニ其取計ヲヒヲ得レハ好都合ナルヘキモ若先方ノ都合惡シク速ニ其取計ヲヒヲ得サルトキハ多額ノ資金ヲ數日間空シク放置スルカ如キ不利ヲ生スヘシ即都會銀行ハ地方銀行ニ對シ爲替尻回收ノ便宜少ク資金ノ運轉敏活ヲ缺ク失アリ之ヲ以テ都會銀行ハ地方銀行ニ對シテハ前記ノ處理法ニ反シ他店即第三者起付替ハ受拂共全部ヲ地方銀行口即被仕向口ヲ以テ處理スルコトノ特約ヲナスモノアリ例ヘハ甲銀行カ乙銀行(都會銀行)ト丙銀行(地方銀行)トノ間ニ付替ヲ起ス時ハ乙銀行ハ丙銀行ニ對シ貸借執レトモ總テ被仕向口ニテ處理スルカ如キ是ナリ如此付替ハ丙銀行ニ於テ承諾スレハ滯リナク決濟ヲ終ルモ若丙銀行ニ於テ異議ヲ唱フレハ乙銀行カ之ヲ承諾セサル限リハ甲銀行起ノ付替ハ取消スルノ外途ナキナリ

二付替關係店(甲店ト丙店)ノ間ニ本支店ノ關係アルモノ 甲店ニ對シテハ受拂共被仕向口ニテ處理シ丙店ニ對シテハ甲店ト同口座ヲ以テ即總テ被仕向口ヲ以テ處理スヘキナリ是甲店ト丙店トハ店舗ヲ異ニスト雖モ權利義務